

第六十九回帝國議會
衆議院

米穀自治管理法案外二件委員會會議錄(速)第三回

付託議案

米穀自治管理法案(政府提出)
米穀統制法中改正法律案(政府提出)
米穀統制法中改正法律案(政府提出)
米穀統制法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和十一年五月十三日(水曜日)午前九時十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事松村 謙三君 理事川崎末五郎君

理事角 源泉君 理事石坂 養平君

理事三善 信房君

高橋 守平君 岡田 春夫君

澤田 利吉君 中村 梅吉君

池本甚四郎君 長井 源君

岡田喜久治君 服部 崎市君

山森 利一君 渡邊 鏡藏君

木村 淺七君 喜多壯一郎君

胎中楠右衛門君 中田 儀直君

國光 五郎君 牧野 良三君

田村 實君 小笠原八十美君

沖 藏君 上田 孝吉君

立川 太郎君 平野 力三君

北 勝太郎君 森 肇君

永山 忠則君 三宅 正一君

富吉 榮二君 野口 徹也君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 島田 俊雄君

拓務大臣 永田秀次郎君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 田邊 七六君

農林參與官 小林 絹治君

農林省米穀局長 荷見 安君

農林省經濟更生部長 小平 權一君

農林書記官 周東 英雄君

農林書記官 三浦 一雄君

拓務政務次官男爵 稻田 昌植君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

臺灣總督府技師 安藤 泰夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀自治管理法案(政府提出)

米穀統制法中改正法律案(政府提出)

米穀統制法中改正法律案(政府提出)

○東委員長 是ヨリ開會致シマス、農林大臣ハモウ直グ出席スルト思ヒマスルガ、拓務大臣ノ御出席ヲ願フテ居リマスカラ、拓務省關係ノ方面ニ於テ質問ガアリマスレバ、

順序ナシニ御質問シテモ差支ナイト思ヒマスルガ、三宅サントウデス、アナタノ質問ニ拓務省關係ノ質問ハアリマセヌカ

○三宅委員 アリマセヌケレドモ、今戴キマシタ資料デ二、三、一寸御聽キシタイノ

デスガ——一寸政府委員ノ方ニ御伺致シマスガ、今戴キマシタ資料ノ小作料ノ全國平均ト府縣別平均ト云フモノガ金デ出テ居リ

マスガ、是ハ一町デスカ、何十圓ト云フ金デ出テ居ルノデスガ、是ハ反當リ小作料ト

云ッテ御願シタノデス、註釋ガ付イテ居ラヌノデスガ、ドウ云フ意味デスカ

○荷見政府委員 一町歩ノコト、考ヘテ居リマス

○三宅委員 一町歩ノ米ノ値段ニ換算致シマシタ小作料デスネ

○荷見政府委員 サウデアルト思ヒマスガ、私ノ方ニ調査ガゴザイマセヌデシタノ

デ、勸業銀行ノ調査ヲ此處ニ持ッテ參リマシタ譯デアリマス

○三宅委員 サウスルト全國平均四百十五圓トナッテ居リマスガ、一段ニスルト四十

一圓五十錢ト云フコトニナル、サウスルト

昭和十年デスネ、一石五、六斗ト云フ勘定ニ見テ宜シウゴザイマスカ

○荷見政府委員 此點ハ急イデ作ッテ貰ッタノヲ差上ゲタノデスガ、能ク調べテ申上

ゲマス

○平野委員 拓務大臣ニ質問シテ宜シウゴザイマスカ

○東委員長 宜シウゴザイマス

○平野委員 朝鮮ニ於ケル米價調節ノ問題ガ大分議論ニナッテ居ルヤウニ聞イテ居リ

マスガ、聞ク所ニ依リマス朝鮮ニ於ケル一部ノ土地ヲ國營ニ致シマシテ、國營土地ト云フモノヲ中心トシテ、朝鮮ノ米ノ生産額ヲ調節スルト云フコトガ計畫サレテ居ルト

云フコトヲ聞イテ居ルノデスガ、サウ云フ御考ガアルノデスカアリマセヌノデスカ、一寸御伺シタイ

○永田國務大臣 サウ云フコトハ少シモ承ッテ居リマセヌ

○平野委員 ソレデハサウ云フコトガ宜イト思ハレマスカ、或ハサウ云フコトハ全然問題ニナラヌト云フ風ニ御考ニナリマス

カ、ソレハ斯ウ云フ意味ナンデス、要スル

ニ自治的ニ管理ヲサセテ調節スルト云ヒマシテモ、畢竟スルニ這般ノ豐作ガ何年モ續イタヤウナ場合ニ於テハ破綻ガ來ルト云フコトモ分ッテ居ルコトデス、將來ニ於ケル植民地ガ内地ノ爲ニ犠牲ニナルト云フヤウナ非難ト云フモノハ、ヤハリ多少ハ免レナイ、再三議論ガ今マデ行ハレテ居ルヤウニ考ベラレルノデ、ヤハリ一部ノ朝鮮ノ土地ト云フモノヲ國營ニシテ置クト云フコトガ畢竟スルニ將來農業政策上宜シイト云フ意見カラ考ヘラレテ居ルノデハナイカトマア推測スル譯デスガ、サウ云フ計畫ガナイト致シマシテ、將來ニ於テサウ云フコトヲ考ヘルコトガ一應理窟ニ合フカドウカ、拓務大臣ハドウ云フ御考デアリマスカ

○永田國務大臣 土地國有ノヤウナ工合ニシテ、米ヲ小作人ニ作ラスト云フノデセウカ——今ノ御話ハ私モ朝鮮ノ方デソナ話ガアルカ全ク聞イテ居リマセヌガ、今御尋ノヤウナ意味ノコトデアルト云フト何シロ非常ナ重大問題デスカラ、一寸私トシテハ賛成シ兼ねマス

○平野委員 ソレハ斯ウ云フ意味ナンデス、詰リ政府ガ小作料ヲ取ルト云フコトハ、私ハ農業政策ト云フモノニ付テ少シ……例ヘバ朝鮮ニハ農地令ト云フモノガ出

來テ居ル、内地ニハ小作法ハ無イノニ、朝鮮ニハ先ニ出來タ、固ヨリ朝鮮ノ農地令ト云フモノハ問題ニナラヌ不徹底ナモノデ、ソレガドレダケノ效果ガアルカト云フコトニ付キマシテハ私共ト致シマシテモ的確ニハ分リマセヌ、併シ考ヘ方カラ行ケバ、多少進歩シタ案ダと思ッテ居リマス、ソレデ此米價ノ調節ト云フコトニ付キマシテモ、將來ニ於ケル日本ノ國內ニ於ケル問題モ畢竟ズルニ一部ノ土地ノ國營ト云フコトガドウシテモ考ヘラレルノデス、ソレデ將來臺灣朝鮮ニ於テモ政府ハ相當土地ヲ所有シテ、政府自體ガ小作料ヲ取上ゲ、其米ヲ以テ調節スルト云フヤウナ考ヘ方ガ或ル程度マデ妥當デハナイカト云フ考ヲ持マスノデ、偶、朝鮮ニサウ云フ計畫ノアルト云フ片鱗ヲ聞イタモノデスカラ御聽シタノデスガ、拓務大臣反對デアルト云フコトデアレバ、ソレダケ承デ置ケバ宜シイノデス

○角委員 丁度拓務大臣ガオキデアリマスカラ外地米ノコトデ御同致シマス、本案ノ創見ト云ウテハ大キイデスガ、外地米ノ移入ト云フコトガ外地ニ於ケル統制ヲ必要トスル一ツノ源ニナッテ居ルノデスガ、外地米ノ生産調節ト云フコトニ付テモ過日來大分問題ニナッテ居リマス、ソコデ伺ヒタイノ

ハ昨日頂戴シタ表ニ依リマスルト、朝鮮ニ於テハ一年ノ總收穫額千七百萬石カラ約千八百萬石、是ハ朝鮮ノ二千萬以上ノ人口ニ比ベルト、内地ノ一人凡ソ一石ト云フモノヨリハ餘程少イノデアッテ、而モソレハ千萬石モ内地ニ入ッテ居ル、朝鮮人ハ粟、稗、芋ヲ喰ッテ生活シテ居ルト云フコトニナルノデアリマスルガ、ソコデ朝鮮ノ生産ヲ調節スルト云フ問題ガ起リサウニモ見エマスルガ、何時マデモ朝鮮人ノ生活向上ト云フコトヲ阻止スル譯ニ行カナイノデ、先ヅ内地竝ニヤハリ米ヲ喰ハセルモノト將來ヲ見込ンデ、朝鮮ノ生産ヲ茲ニ強イテ制限スルト云フコトハヤル必要モナイヤウニ思ヒマス、ソコデ臺灣ニ移ッテ考ヘテ見マスルト、臺灣ノ昨日ノ表ニ依リマスレバ、九百萬石、其九百萬石デ人口約五百萬トシテ、四百何十萬ガコッチヘ入ッテ來ル、斯ウ云フ勘定ニナルノデアリマスガ、昨日總務長官ニ伺ッ所ニ依レバ四十六萬二千町ト云フ水田デ、年一反一石三斗ト云フ平均收穫ダサウデアリマス、サウスルト九百萬石ト云フモノ、中、四十六萬二千町歩ヘ一石三斗ヲ掛ケルト六百萬石、残り三百萬石ト云フモノハ陸稻デアル、陸稻ヲ三百萬石モ穫ッテ居ルト云フ形ニナリマスガ、其陸稻ヲ作ル畑、其畑ト

云フモノニコソ水田トハ違ッテ非常ニ彈力ガアル、他ノ物ヲ作ルコトノ出來ル畑デアリマス、此間モ本會デ拓務大臣ガ話サレタヤウニ、折角開イタ水田ヲドウスルト云フコトモ出來マセヌ、殊ニ臺灣ニ於テハ大キナ費用ヲ掛ケテ、總督府ガ嘉南大圳ト云フヤウナ大埠圳ヲ作ッテ、十五萬町歩モ水田ヲ作ルト云フコトマデ計畫シタ今日、水田ヲ減スト云フコトハ出來マセヌガ、陸稻ヲ作ル畑ニ代作ヲサセルト云フコトハ容易デアル、若シ臺灣總督府ニ於テ、陸稻三百萬石ト云フモノヲ他ノ作物ニ向ケルコトガ出來ルナラバ、三百萬石ヲコッチヘ持ッテ來ナクテモ宜イ、サウスルト五百萬石ト云フ過剩ヲ推定スルナラバ、凡ソ是デ解決ガ付クヤウニモ思フ、コンナムヅカシイ法律モ要ラヌヤウニ思フ、ソコデ臺灣ニ於テハ此陸稻ノ畑ヲ他ノ作物ニ轉換セシムルヤウナ御考ハナイカト云フコトヲ、政府委員デモ拓務大臣デモ宜シイデスカラ伺ヒタイ

○北島政府委員 只今臺灣ノ陸稻ノ收穫高三百萬石ニ上ルト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ何カノ御間違ヒデハナイカト思ヒマス、私共ノ調査デハ、昭和十年ニ約三十六萬石ニナッテ居リマス、詳シク申上ゲマス、昭和十年ノ在來梗三百二十萬六千石、

蓬萊米四百四十九萬六千石、約四百五十萬石、長糯二十萬九千石、丸糯八十三萬六千七百石、陸稻三十六萬三千五百九十五石、合計九百十二萬二千餘石ト云フコトニナッテ居リマス

○角委員 サウスルト昨日長官ノ御話デ、臺灣ノ水田バカリデドノ位穫レルカト私ガ問ウタラ、水田ノ平均一年一石三斗ダト仰シヤッタ、ソコデ水田ノ總面積ハ幾ラアルカト問ウタラ、四十六萬二千甲ダト言ハレタ、ソレニ一石三斗ヲ掛ケルト六百萬ト云フ數字ニナル、アトノ三百萬ト云フモノハ何カラ穫レルカト云フコトデアリマス

○平塚政府委員 今ノ角委員ノ御質問ニ對シマシテハ計數ニ互リマスルカラ、説明員ニ説明サセルコトニ御許ヲ得タイト思ヒマス

○東委員長 宜シウゴザイマス

○安藤臺灣總督府技師 今ノ御話ニ付テ申上ゲマスルガ、昨日總務長官カラ申上ゲマシタ四十二萬何ガシト申シマスノハ、水田ノ面積デアリマス、其水田ノ面積ノ中ニハ甘蔗ヲ作ッテ居ル處モアリマス、或ハ水田ニ他ノ合作ヲヤッテ居ル處モアリマス、ソレデ御尋ノ要點ハ、米ヲ水田ニ作ッテ居ル面積グラウト思ヒマスガ、其面積ハ一期二期合計

シマシテ、昭和十年ノ數字ガ六十五萬七千三百九十八甲デゴザイマス、ソレカラ陸稻ヲ作ッテ居リマス面積ガ、一期二期合計シマシテ四萬二千二百七十七甲デアリマス、合計シマシテ六十九萬九千六百七十五甲デアリマス

○東委員長 一寸永山サンニ伺ヒマスガ、アナタノ昨日ノ質問ハアレデ終了ナデスカ

○永山委員 實ハ議事ノ進行上、農林大臣ガオ見エニナリマセヌデモ、引續イテ拓務大臣モ居ラレマスコトデスカラ、質問ヲ繼續サセテ戴キタイト思ッテ居リマス

○東委員長 宜シウゴザイマス

○永山委員 農林大臣ガ御出席デゴザイマセヌカラ、重大ナル點ニ關シマシテハ拓務大臣ノ御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス同時ニ、適宜政府委員ノ御答辯ヲ希望シテ置クノデアリマスガ、昨日ノ政府ノ答辯ニ於キマシテハ、生産ノ統制ニ關シマシテ御明答ヲ避ケラレタコトヲ私遺憾ニ思フノデアリマス、何トナレバ米穀自治管理法案ト相共ニ並行的ニ行ハネバナラスノハ、生産ノ統制デアルト思フノデアリマス、生産過剩ノ場合ニ於テハ是ガ制限ヲ爲シ、水害其他ノ事由ニ依ッテ凶作ヲ受ケルト云ツヤウ

ナ場合ニ於テハ、相當又生産増ニカヲ入レナケレバナラスノデアリマシテ、生産ノ統制ト云フコトハ本案ト共ニ行ハレネバナラヌモノデアルト私ハ思ッテ居ルノデアリマス、然ルニ政府當局ニ於キマシテハ、意見ヲ承リ置クト云フ程度ニ終リマシタコトヲ遺憾ニ思ッテ居ルノデアリマスガ、是以上論ジマスルコトハ、討論ニナリマスカラ差控ヘタイト思ヒマスガ、十分當局ニ於キマシテモ生産統制ヲ御考慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、次ニ米穀商ハ現實ニ於テ失業シツ、アル狀態デアルカナイカト云フコトヲ御問シタノデアリマスガ、十分此點ニ付テハマダ御認識ヲサレテ居ラヌヤウデアリマス、斯ノ如キハ實ニ遺憾デアル、事實ニ於テ米穀商ハ産業組合ノ發達ニ依リマシテ、非常ナル迫害ヲ受ケツ、アルト云フコトダケハ事實ナンデアル、少クトモ現在失業シテ居ル者ハ、米穀商ノ手先トナッテ居ル所ノ庭先買付ヲ爲ス所ノ中間商人デアリマス、仲買商人ハ少クトモ農村ニ居住シテ居ル者ハ、全然失職シテ居ルコトダケハ是ハ御認メニナラナケレバナラスノデアリマス、米穀商ノ手先ニナッテ居ッテ、農村ノ庭先ヲ歩イテ買付ケテ居ル所ノ仲買商人ハ、將ニ滅亡ノ狀態ニナリツ、アルト云

フコトハ事實デアリマス、然ラバ是等ノ仲買商人ヲ如何ニ救済スルカト云フコトニ對シマシテハ、當局ニ於テ計畫ヲ御立テニナラナケレバナラス、其御計畫ヲ御立テニナラヌト云フコトハ、私ハ實ニ遺憾デアルト思フノデアリマス、即チ是等仲買商人、即チ缺陷ト無智トニ乘ジマシテ、投機的ニ營業ヲシテ居ル所ノ仲買商人ト云フモノハ、少クトモ現在ノ社會機構ニ於テハ淘汰ヲ受ケツ、アルノデアリマス、故ニ是等ノ商人ニ對シマシテハ、經濟更生計畫ヲ樹立シテヤルノ必要ガアルト思フノデアリマス、農民ニ對シテ經濟更生計畫ヲ樹立サスダケノ當局ニ御考ガアルナラバ、中小商工業者ニ對シマシテモ、經濟更生ノ計畫樹立ニ對スル所ノ根本的御方針ガナケレバナラスト私ハ思フノデアリマスガ、此點ニ對シマシテ、私、幸ニ經濟更生部長モ居ラレマスカラシテ、御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○小平政府委員 只今ノ御尋ニ付テ御答致シマス、昨日農林大臣カラモ御答アリマシタヤウニ、農村ト致シマシテハ、其中ニアリマス中小商工業者等ニ付テハ、勿論農村ノ人トシテ經濟更生計畫ノ中ニ入レテアルノデアリマス、現ニ負債整理ヲヤッテ居ル商

業者ニ付テモ相當ノ數ニ上テ居ルノデア
リマシテ、今後トモ農村ト致シマシテモ、
又山村漁村ト致シマシテモ、其中ニアリマ
ス商業者ニ付キマシテ、村ノ更生計畫ニ入
レマシテ、十分途ノ立ツヤウニ致スヤウニ
努力スル考デアリマス

○永山委員 經濟更生計畫ニ中小商工業者
ヲ加味シテ居ルト云フ御言葉ニ對シマシ
テ、洵ニ敬意ヲ表スル者デアリマス、然ル
所、經濟更生計畫ハ現在ノ政府ノ方針デ
ハ、全國ノ町村ニ及ボスノ御計畫ガアルヤ
否ヤト云フ點デアリマス、五箇年計畫ニ於
キマシテ、御計畫サレテ居ルノハ、僅カノ
町村ニ限ラレテ居ルノデアリマスガ、少ク
トモ經濟更生計畫ハ全町村ニ及ボサザレバ
何等ノ價值ガナイ、即チ生産ノ統制ニシテ
モ、販賣ノ統制ニ致シマシテモ、國家ヲ通
ジテ統制ヲセナケレバ出來得ナイコトデア
リマス、部分的ニ計畫更生ヲ立テル爲ニ、
計畫更生ノ町村ハ發達スルガ、計畫更生ヲ
立テ得ザル町村ハ益々疲弊スルト云フ現狀
ヲ如何ニスルカト云フコトヲ御質問シタイ
ノデアリマス

○小平政府委員 御尋ノ點ハ洵ニ御尤モデ
アリマス、農山村ノ經濟更生計畫ノ樹立
實行及ビ其指導監督助成等ニ付キマシテ

ハ、大體ノ目標ガ毎年一千町村ヅ、ト云フ
コトデアリマスガ、實際ハ各町村トモ非常
ニ希望ガ多ウゴザイマシテ、現在ニ於キマ
シテハ、五千六百ノ町村ガ經濟更生計畫ヲ
樹立シテ實行シツ、アルノデアリマス、ソ
レニ對シマシテ、極力、指導監督ヲ致シテ
居ル譯デアリマス、勿論此計畫ハ全町村ニ
及ボスト云フ考ヲ持ッテ居リマシテ、其方
針ニ依リマシテ、今後トモ更ニ此計畫ノ樹
立實行ノ豫算ヲ繼續スルヤウニ致シタイ考
デゴザイマス

○永山委員 全國町村ニ經濟更生計畫ヲ及
ボスノ考アルコトヲ承リマシテ、非常ニ喜
ブ者デアリマスガ、續イテ御聽キ致シタイ
コトハ、此點ハ拓務大臣ヨリ御答辯ヲ戴ケ
バ結構ダト思フノデアリマスガ、農村更
生、或ハ中小商工業者ノ更生ハ、齋藤内閣
ノ際ニ於キマシテハ、第一ニ精神ノ統制デ
ナケレバナラヌト云フコトヲ標榜サレ、第
二ニ協同組織デアルト云フコトヲ主張サレ
テ居ッタノデアリマス、第三米穀、第四肥
料、第五產繭ト云フヤウニ、五ツノ項目ヲ
設ケラレテ居ッタカノ如ク記憶シテ居ルノ
デゴザイマスガ、現内閣ハ農村及ビ中小商
工業者ノ更生ニ關シテ、精神的統制ニ力ヲ
入レルト云フ點ヲ強ク主張サレテ居ラナイ

コトヲ私ハ遺憾ニ思ウテ居ル、今日ノ時代
相ハ、農民ト中小商工業者ト尖鋭化ヲ來
シ、職業的ニ對立スルノ狀態ニナッテ居ル、
是等ヲ精神的ニ融合一致ヲセシメルト云フ
コトハ最モ必要デアル、生産販賣ノ統制ヲ
爲ス上ニ於キマシテモ、農民ノ協同團結ノ
精神ヲ養ハナケレバナラヌ、同時ニ又中小
商工業者ガ更生スル場合ニ於キマシテモ、
中小商工業者ノ精神團結ト大同團結ガ必要
デアル、大同團結ニ加ヘテ精神ノ統制ガ必
要デアルト思フノデアリマス、齋藤内閣ノ
際ニ於キマシテハ、農民道場建設ヲ計畫サ
レタノデアリマスガ、現内閣ハソレニ類似
スルヤウニ各縣ニ於テ農民道場ノ建設ノ獎
勵ヲ爲シ、之ガ精神統制ヲ行フト云フヤウ
ナ御計畫ヲ御持チニナッテ居ルヤ否ヤ、ノ
ミナラズ私ハ農村ニ對シマシテ精神統制ノ
爲ニ農民道場ヲ設置スルナラバ、商工業者
ニ對シマシテモ、商工業ニ從事スル所ノ精
神ヲ統制スルノ何等カノ機關ガ必要ダト考
ヘルノデアリマスガ、當局ニ於キマシテハ
ソレ等ノ御考ヲ御持チニナッテ居ルカ否カ、
同時ニ精神的問題ニ付テ觸レテ見タイト思
フノデアリマスガ、得テシテ當局ノ現在ノ
方針ハ小作立法ヲ爲スノデアルトカ、其他
ノ行政機構、或ハ政治、サウ云ッタヤウナ

機構ノ改革、制度ノ改革ニ力ヲ入レラレツ
ツアリマスケレドモ、制度ノ改革デハ農村
ノ更生ハ出來ナイノデアリマス、小作問題
ヲ解消シヨウトスレバ、小作法ノ制定デハ
解消出來ナイ、今日困ッテ居ル者ハ小作者
ノミデアリマセヌ、地主ガ困ッテ居ルノ
デアアル、地主デ債務ヲ負ハズニ居ル地主ガ
ドレダケアリマスカ、中産階級地主ハ無産
階級ヘト轉落シツ、アルノデアリマス、此
現狀ヲ打破セスト出來ナイ、小作人モ困ッ
テ居ル、地主モ困ッテ居ル、何レモ困ッテ居
ル、ソコニ爭鬭ガ起キル、然ラバソレ等ノ
經濟更生ヲスルト云フコトハ、到底一朝二
朝デハ出來得ナイノデアリマス……

○東委員長 永山君、君ノ名論卓説ハ至極
結構ダガ、此法案ハ米穀自治管理法デア
ルカラ、質問ヲ餘リ廣汎ニスルト際限ガアリ
マセヌカラ御注意ヲ願ヒマス

○永山委員 宜シウゴザイマス、委員長ヨ
リノ注意ヲ戴キマシタノデ簡明ニ申シタイ
ト思フノデアリマスガ、本法案ヲ實施スル
上ニ於キマシテモ、此精神強化ト云フコト
ガ中心デアリマス、本法案ヲ實施スル上ニ
於キマシテモ、當局ハ中小商工業者ト農民
ノ對立尖鋭化ヲ防止スル實施ヲヤリタイ、
實施上ニ於テハ此點ニ力ヲ盡シタイ

ト仰シヤルノデアリマスナラバ、必ズヤ此精神統制ニ全力ヲ擧ゲナケレバナラスト思フノデアリマスガ、本内閣ノ閣員デアラレマス拓務大臣ノ御答辯ヲ御願シタイノデアリマス

○永田國務大臣 只今ノ御尋ハドウモ農林大臣カラ御答辯シマセヌト都合ガ悪カラウト思ヒマス、朝鮮ニ關聯シタコトニ付テ考ヘマス、昨日モ山森君カラ御尋モアッタヤウデアリマスガ、朝鮮デモヤハリ此自治管理ヲヤルニ付テノ比率ニ付テ、朝鮮ノ米穀商カラ苦情ヲ言ウテ來テ居リマシテ、昨年ナドハ或ル一部ノ者ガ特ニ上京シテ陳情ニ出タト云フコトモ承ッテ居リヤウナ次第デアル、併シ本年モヤハリ印刷物ナンカラ私モ拜見シマシタガ、其後朝鮮ダケノコトヲ申上ゲマス、總督府ノ方デ色々米穀自治管理法ノ精神ヲ能ク説明ヲ致シマシタ結果、餘程朝鮮ノ米穀商ニ於テモ了解ヲシテ居リヤウニ聞イテ居リマス(ノー)朝鮮ハ産業組合ガマダ餘リ發達シテ居リマセヌ爲ニ、其感シ方モ大部薄イノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、朝鮮ニ關聯ノ點ニ付テ私カラソレダケ申上ゲテ置キマス

○永山委員 洵ニ國務大臣ノ一員トシテノ御答辯ト致シマシテハ満足ヲ得ナイノデア

リマスガ、併シ此點ニ關シマシテ、御答ノ如ク農林大臣ノ御答辯ガ適切ニ行ハレナケレバナラスト思フノデアリマスカラ、政府委員ノ御方ヨリ適當ノ機會ニ御傳ヘノ上御答辯ヲ願ヒタイト考ヘマス、次イデ精神統制ト併セテ御聞シタイ點ハ、此米穀自治管理法ヲ通過サスコトニ依リマシテ、是ガ實施ニ當リマシテハ、餘程當局ハ御考慮ニナラナケレバナラスト云フコトハ申スマデモナイノデアリマスガ、特ニ是ガ實施ニ當リマシテ、貧農大衆ガドウ云フヤウナ状態ニ置カレルカト云フコトヲ御研究ヲ願ヒタイノデアリマス、勿論五反歩以上ノ自作者、一町歩以上ノ小作者デアリマスカラ、貧農大衆ハ本案ニハ何等ノ關係ガナイ状態ニ置カレテ居ルノデアリマスケレドモ、事實ニ於テ貧農大衆ニ結果ガ現レテ來ルノデアリマス、其結果ハ如何ナル點ニ現レテ來ルカト申シマス、貧農大衆ハ米價ガ安定スルコトニ依ッテ非常ニ有益ナル結果ヲ得ルノデアリマス、舊來ニ於キマシテハ米價ガ非常ニ値下リ、値上リラスル、其米價ノ變動ニ乗ジテ仲買商人ガ利潤ヲ窺取シテ居ッタノデアル、其米價ノ安定——是ハ全然安定スル譯デアリマセヌ、上下ノ開キガ非常ニ少クナルト云フ點ニ於テハ確ニ私ハ利益ヲ

スルモノデアルト思フノデアリマス、同時ニ又貧農大衆ハ大部分米ヲ賣ッテシマヒ、田植ヲ過ギタラ又買フノデアリマス、斯様な場合ニ於キマシテ、現在ノ統制法ノミデ行ッた場合ニ於テハ、政府ヘ賣込ンデアル米ハ最高價格ヲ上廻リシナケレバ斷ジテ御賣ニナラス、然ルニ最低價格一割ヲ値上リシタ場合ニハ解除ヲサレルノデアリマスカラ、有ガスレノ際ニ於テモ貧農大衆ハスカラカンデアリマスカラ、結果ニ於テハ利益ハアルコトハ間違ヒアリマセヌケレドモ、一面ニ於キマシテ本當ノ貧農大衆ガ困ッテ居ル投資防止ト云フコトハ本案デハ出來ナイノデアリマス、投資ト云フコトガ一番大切ナンデアル、米穀局長ノ御説明ニ依ルト十一月一日現在ヲ以テ當年度ノ生産量ヲ調査シテ需給推算ヲヤルト仰シヤルノデアリマス、然ラバ是ガ保管ハ何時デアリマスカト御問致シマシタナラバ、何ト云ッテモ十二月頃ダラウト斯ウ言ハレル、十二月頃マデ貧農ガ持ッテ居ルコトハ斷ジテ出來ナイ現狀ナンデアル、之ヲ救済スルト云フコトハ恐ラク本法案デハ私ハ出來得ナイト思フ、十月ニ需給推算ヲ爲シタラドウデスカト御質問致シマシタ所、左様ナコトヲシタ場合ニ於テハ目安ガ狂フカラシテ、斷ジテ

十月ニスルコトハ出來得ナイ、十一月デモ疑問デアルト云フヤウナ御言葉デアッタノデアリマス、然ラバ需給推算ヲ十月ニスルト云フコトモ出來得ナイトスルト、保管米ヲ十一月ニ決メルト云フコトモ出來得マセヌ、サウナッテ來ルト現法案ニ於テハドウシテモ大衆貧農ノ投資ヲ防止スル譯ニハ行カナイ、此投資ヲ防止スルト云フコトハ何ト致シマシテモ産業組合ノ全面的活動ニ俟タニヤナラス、然ルニ此點ニ對シマシテ、本法案ヲ實施サレル時ニ於キマシテハ、必ズヤ産業組合ノ強化擴大ト云フコトヲ相共ニ實施サレナケレバナラス、是ト相共ニ、並行的ニ實施サルベキモノデアルト思フノデアリマスガ、私ハ此點ニ對シマシテ當局ニ御答辯ヲ戴ク前ニ、今日ノ産業組合ガ微弱トシテ振ハヌ狀況ニ關シテ當局カラ實情ヲ承リタイ、即チ今日本當ニ活動シテ居ル産業組合ガドレダケアリマスカ(性質上出來ナインダ)ソナコトヲ言フト餘計通ラヌヤウニナルト呼フ者アリ(事實ニ於キマシテ産業組合ガ今日未設置デアル町村ガドレダケアルカ、産業組合ハ未加入ノ者ガドレダケ居ルカ、私ハ統計的ニ之ヲ調べテ居ルノデアリマスガ、産業組合未設置町村及ビ産業組合ニ入ッテ居ラナイ者モ相當澤山

アリマス、此統計ヲ今申上、ゲル必要ハアリマセヌケレドモ、此入ッテ居ラナイ組合員ト云フモノハ誰デアルカト云フコトヲ能ク御考ヲ願ヒタイ、産業組合ニ入ッテ居ラナイ所ノ全國ノ農民ノ五割ハ、是ハ誰デアリマスカ、即チ貧農デヤアリマセヌカ、有産階級ハ皆入ッテ居リマスゾ、此貧農ガ入ッテ居ラヌ、貧農マデ同ジヤウニセナケレバ産業組合ノ本質ト云フモノハハッキリサレヌノデアアル、デアリマスカラシテ、貧農ヲ救ハントスルナラバ、此米穀管理法案ノミデ救ハレル譯ハナイデヤアリマセヌカ、入ッテ居ラヌ所ノ、産業組合未設置町村ト云フノハ非常ニ貧弱ナル町村デアアル、貧弱ナル町村ト貧農ト云フモノハ産業組合ニ恵マレテ居ラヌ、之ヲ恵マスヤウニスルコトガ本法案ノ實施ト同時ニ行ハナケレバナラヌ重大ナルモノデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、此點ニ對シマシテ當局ノ御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス

○小平政府委員 御尋ノ點ハ貧農ガ産業組合ヲ利用スルヤウニト云フコトデアリマ스가、産業組合ノ法律制定以來堅實ナル發達ニ付テ指導監督致シテ居ル狀況デアリマシテ、段々信用ガ増シテ來マスト云フト、産業組合ニ加入シ、利用シ得ラレルヤウニナ

ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テハ各農村、山村、漁村、何レヲ通ジマシテモ取引上信用ヲ得ルヤウニ、段々進メテ行キマシテ、貧農ノ人モ組合カラ金ガ借りラレルヤウニ努メテ居ル次第デアリマス、是ハ中々急激ニ一舉ニシテ全部ノ貧農ガ利用スルト云フコトハ困難デアルト思フノデアリマシテ、漸々逐ッテ堅實ニ歩一歩進ンデ行クヤウニ努力シタイト考ヘテ居リマス、事信用ニ關スル問題デアリマスカラ、經濟更生ヲヤリマシテ、貧農ノ各農家ノ經濟ガ立直ルヤウニ致シマシテ、段々信用ヲ増スヤウニ致シマシテ、零細農ガ資金ガヨク借りラレルヤウニシタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○荷見政府委員 一寸只今ノ御話デ、私ノ申上ゲマシタコトガ或ハ十分御諒解ヲ得テ居ラヌカト思フ點モゴザイマシタカラ、一寸補充サセテ戴キマス、此自治管理法ヲ實行致シマス時ニハ、何時統制ガ出來ルノデアルカト云フ御話デゴザイマス、是ハ此前申上ゲマシタヤウニ、十一月一日現在ノ數字ノ調ヲ致シマシテ、ソレヲ基ニ致シマシテ需給推算ヲ行フコトニナリマスカラ、勿論十一月ノ半バニハ其數量ハ決定致スノデアリマス、唯農家ガソレヲ組合ノ倉庫ニ貯藏スルト云フコト迄ノ手續ハ、十二月ニナ

ラナケレバ完成シナイダラウト云フ意味ヲ申上ゲタノデアリマスガ、其爲ニ決シテ米價ニ何等效果ノナイ譯デハゴザイマセヌノデ、サウ云フ風ナ施設ガ出來ルト云フコトガ豫定サレテ居リマスレバ、米價ガ不當ナ下落ヲ致スト云フヤウナコトハ免レル筈合デゴザイマスカラ、極ク小農ガ米ヲ賣却致シマス時ニモ、是ナキヨリハ有利ナ賣却ガ出來ルコト、斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、此點ダケ申上ゲテ置キマス

○永山委員 只今ノ米穀局長ノ御話ハ、私少シモ誤解ヲシテ居ル者デアリマセヌ、御尤モデアルト思フノデアリマスガ、私ノ間ハントスル所ハ、十二月マデ貧農ガ持耐ヘルコトガ出來ヌ現狀ダト云フコトヲ申上ゲルノデアリマス、故ニ如何ニ過剩米ノ統制ガ行ハレルト云フヤウナ米穀自治管理法ヲ御實施サレマシテモ、此投資ヲ防止スル方法、即チ産業組合ノ擴大強化、其産業組合ノ中ニ小農貧農ガ全面的ニ入ルヤウナ政策ヲ實行サレナケレバ出來ナイト云フコトヲ御問シテ居ルノデアリマス、此點ニ對シマシテ、經濟更生部長ノ漸々逐ウテ十分計畫ヲ立テルト云フ御言葉ヲ信賴致シマシテ、以上御問致シマセヌケレドモ、併シ事實上ノ問題ト致シマシテ、唯漸々逐ウテ之

ヲ擴大ヲスルト云フヤウナコトハ、到底出來得ナイコトナンデアル、彼等ハ出資金ガナイノデアリマス、デアリマスルカラ、當局ニ於キマシテハ、十分是等ノ擴大強化ニ對シマシテ、具體的ナ指導方針ヲ御執ニナラントコトヲ御願ヲシテ置キマシテ、其點ニ對スル質問ハ打切りタイノデアリマスガ、進行上私ハ極メテ簡單ニ申上ゲルコトガ必要ダト痛感ヲ致シマス、皆サンカラモ左様ナ意味ノ御言葉ガアツタヤウニ思ヒマスカラ、最後ニ唯一點、農林大臣ガ御見エニナリマシタカラ御問ヲシテ見タイト思フノデアリマス、今日政治運動ノ中デ特ニ行ハレテ居リマスルコトノ大キナ弊害ハ、陳情運動ト云フモノデアリマス、陳情運動ガ非常ニ強クナッテ來マシタ、大衆運動ガ之ヘ加ッテ來ル、政府ハ此間ニ於キマシテ大衆運動ガ熾烈デアレバアルダケ、非常ニ躊躇邊巡ヲサレテ、眞ニ信念ノアル政治ヲ爲サナイ傾向ガアル、例ヘバ米穀自治管理法案ニ於キマシテモ、或ハ產蘭處理法案ニ於キマシテモ、肥料統制法案ニ於キマシテモ、重大ナル案件ノ重點ト云フモノハ御拔キニナッテ居ルデヤアリマセヌカ、中央聯合會ノ統制命令ヲ無クサレタト云フ點、販賣ヲ統制ヲシテ平均賣ヲセシメルコトヲ削除サレアルト云

フ點、是等ガ本案ノ骨子デアラネバナラヌト私ハ思フノデアル、之ヲ削除サレタト云フコトハ、世ノ中人ハ疑ッテ居ル、昨年ノ米穀商ノ運動ガ猛烈ヲ極メタ爲ニ、當局ハ信念ヲ挫ガラレタノデハナイカト云フヤウナコトヲ農民共ガ言ハナケレバナラヌ状態ニ置カレテ居ルデハアリマセヌカ、其運動ハ話ニ聞キマス大阪ニ於テハ三萬ノ人ガ寄ツタト云ヒ、東京ニ於テハ二萬五千ノ人ガ寄ツタト云ハレテ居ル、其間費シタル所ノ費用ハ五十萬圓ヲ出デ、居ルダラウト云フコトサヘ云ハレテ居ルノデアル、今日陳情運動主義デ當局ハ動カレルト云フナラバ、農村ハドウ致シマスカ、農村ハ上京スルト云フコトニ對シマシテモ費用ヲ持ッテ居ラナイ、百五十圓ノ金ヲ捻出スルナラバ、一町歩ノ小作米ヲ棒ニ振ラナケレバナラヌト云フ状態デアリマス、私ハ此點ニ對シマシテ農林大臣ハ十分御考慮ヲ願ヒタイト同時ニ、當局ハ勿論陳情運動等ニ依ッテハ信念ヲ挫ガラレモノデハナイト思ヒマスケレドモ、併シ吾々ノ感じマス所ノ此本案等ニ於キマシテハ、其骨子ヲ除カレル點ニ於テ疑ナキヲ得ナイノデアリマス、殊ニ今回ノ運動ニ於キマシテ産業組合ハ全然手ヲ引クノ状態ニ置カレテ居リマスガ、當局ハ産業組合ニ

運動ヲスナト云フコトヲ内命ヲサレテ居ルガ如ク云ハレテ居リマス、果シテ左様ナ事實ガアリマスヤ否ヤ、産業組合ノ者ハ少シモ出テ來ナイ、ソコニハ祕密的ニ産業組合ニ運動ヲシナイ方ガ宜イダラウト云フヤウナ御言葉ニ接シタガ如ク聞イテ居ルノデアリマスガ、是等モ十分御聽キシテ見タイノメテ來テ、ソレニ依ッテ左右サレルト云フヤウナコトガアルナラバ、國政上重大ナル問題デアルト思ヒマスカラ、最後ニ此點ヲ御同致シタイト思ッテ居ルノデアリマス

○島田國務大臣 法案中平均費ニ關スル規定竝ニ此中央聯合會ニ關スル規定ヲ今回ノ提案中ヨリ除キマシタコトハ、提案ノ理由説明中ニ申シマシタ如ク、第六十七議會ニ於ケル衆議院修正ノ議ニ從ッタ次第デアリマシテ、本法案ノ根本ノ趣旨ニ妨グルコトナシト考ヘマシテ、衆議院修正ヲ尊重致シマシテ之ヲ原案トシタ次第デアリマス、他ニ特殊ナ事情理由ハゴザイマセヌ、ソレカラ産業組合ニ對シテ運動阻止ノ内命云々ト云フコトハ、毛頭左様ナ事ハアリマセヌ、尙ホ此陳情運動ニ動カサレテ云々ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ議會政治ノ行ハレテ居リマスル——左様デナイ場合デモ

同様ト考ヘマスガ、殊ニ此議會政治ノ行ハレ、議會ニ於テ法案或ハ豫算等ノ決定サル、場合ニ於キマシテハ、各地ノ事情ヲ疏通セシムル爲ニ、問題ヲ持ッテ居ル地方ノ關係ノ人々ガ甲乙政府ニ對シテ、又議院ニ對シ或ハ請願或ハ建議或ハ陳情等ノ形ヲ以テ、運動ト云フ言葉ヲ通俗ニ使ッテ居リマスガ、其陳情ヲ致スト云フコトハ、是ハ免レナイコトデアリ、又當然ノコトデアルト考ヘテ居ルノデアリマス（拍手）政府トシマシテハ、ソレ等ノ陳情ノ中ニハ互ニ相反對スル陳情モアリマス、違ッタ陳情モアリマシテ、同一ノ問題ニ付テ各種ノ陳情ガアル場合ニハ、ソレ等ノ陳情ヲ能ク玩味ヲシ參考ニシテ立案スル、斯ウ云フヤウナ立前デ行クコトガドウモ當然ナヤリ方デアル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、唯一ツノ陳情ニ偏シテ、サウシテ偏頗ナ處置ヲスルト云フ場合ニ於テ初メテ問題ニサレ得ベキモノデアリマシテ、公平ニ其陳情ヲ聞イテ處置スルト云フコトハ然ルベキコトデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○永山委員 陳情運動ニ對シマシテ當局ハ何等所信ヲ挫ゲルモノデナイト云フ御言葉ヲ拜聽致シマシテ、私諒承ヲスルノデアリマスガ、現代ノ世相ニ於キマシテ、陳情運動ガ其度ヲ越ヘマシテ、大衆運動化スルコトニ依ッテノミ其效力ヲ増スモノデアルト云フヤウニ民衆ガ感じルヤウナ情勢ニ置カレテ居ルト云フコトハ、舊來ノ政治運動ニ於キマシテ、陳情運動ニ依ッテ往々所信ノ挫ガラレル傾向ガアツカラデアリマス、此點ニ對シマシテ當局ハ一層只今ノ御言葉ノ御顯彰ヲ切望致シマシテ、私ノ質問ハ打切りタイト思フノデアリマス

○東委員長 三宅正一君

○三宅委員 私ハ主トシテ農林大臣ニ諸種ノ點ニ付テ御同シタイト思ヒマス、唯徒ニ時間ヲ取リマスコトハ御互ノ迷惑デゴザイマスノデ、特ニ相當丁寧ナル御返事ヲ願ヒタイ點ハ、其點ヲ指摘致シマスカラ、サウ御願シテ、サウデナイ點ハ肯イテ戴ケバソレデ御同意ト認メル、サウ云フ態度デ行キタイト思ヒマス、徒ニ大臣バカリ時間ヲ取ラレマスコトハ、コチラノ迷惑トスル所デアリマスカラ、サウ云フ進行ノ方法ヲ取リタイト考ヘマス第一、本法ハ米穀統制法ノ補強法デアリ、補助法デアルト解シテ宜イト思ヒマス、其點ハ御異議ナイト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○島田國務大臣 大體其通り……

○三宅委員 第二ニ、サウデアルトスレバ

米穀統制法ト云フモノノ成果ヲ檢討シナケレバイカヌ、ドノ點ニ效果ガアツテ、ドノ點ニ失敗ガアツカト云フコトノ成果ヲ檢討シナケレバイカナイト思ヒマス、ソレデアルナラバ先ヅ米穀統制法ノ檢討カラ始メナケレバイカヌト考ヘルノデアリマス、ソコデ米穀法ヲ立法サレマシタ趣旨及ビ其缺陷ト云フコトガ總テ米穀統制法トナリ、更ニ米穀自治管理法ニ依ル補強トナツテ現レテ來ルト考ヘルノデゴザイマシテ、私共ハ米穀法ガ出來マシタ動機ト云フモノハ、今ノヤウナ米價ヲ引上ゲルト云フ點ヲ動機トセズシテ、寧ロ大正十年ニ出來マシタ米穀法ト云フモノハ、大正七年ノ米騒動ニ刺戟サマシテ、米價ノ暴騰ト云フコトガ如何ニ國民生活ニ刺戟ヲ與ヘルカト云フ點ヲ考慮シテ作ラレタモノデアル、其點ニ重心ヲ置カレタモノデアル、斯ウ理解スルノデアリマス、其意味ニ於テ大正十年ニハ需給ノ調節ト云フコトヲ目標ニシテ米穀統制法ヲ御作リナリ、ソレガ單ナル需給ノ調節デハ甚ダ不完全デアルカラシテ、大正十四年ニ數量ノ調節ト云フモノニ市價ノ調節ト云フコトヲ加ヘラレタ、ソレデ市價ノ調節ノ爲ニ政府ガ米ヲ買上ゲラレマスル時ニ於テ、時

價ニ準據シテ買上ゲルト云フコトデアツテ

ハ、或ハ政黨ノ腐敗ヲ來シ、若クハ米屋其他ノ人爲的引上ヲ來スト云フ弊害ノ爲ニ、其後昭和六年ニナリマシテ米穀法ノ第二次改正ヲ斷行致シマシテ、最低米價及ビ最高價格ト云フモノヲ御作りニナツタ、斯ウ云フ沿革ヲ經マシテ、サウシテ昭和八年ノ三月ニ米穀統制法ヲ從來ノ米穀法ヲ強化スルト云フ意味デ御作りニナツタ、斯ウ云フ風ニ沿革トシテハ了解シテ宜シウゴザイマスカ

○島田國務大臣 大體宜シウゴザイマス

○三宅委員 私ハソレデハ米穀法ガドウ云フ點ガ效果ガアツカト云フ點ニ付キマシ

テハ、確ニ所謂米ノ値幅ヲ縮メタト云フ點ニ付テハ生産者及ビ消費者ニ互ッテ一ツノ大キナ效果ヲ與ヘテ居ル、是ハ政府カラ戴キマシタ資料ニ付テ見テモ、此法ガ強化サレマス以前ニ於テハ、ヒドイ時ハ最高及ビ最低ノ間ニ於テ二十八圓十八錢ト云フ開キガ東京ノ清算市場ニ於テアツタ、殆ド現在ニ於ケル最高價格ニ近イ幅ノ開キガ一年ヲ通ジテアリマスルト云フコトハ、是ハ消費者ニ執リマシテモ生産者ニ執リマシテモ非常ニ惡イ、此點ニ付テノ所謂效果ト云フモノハ非常ニアツタケレドモ、出廻リ期ニ於テ、出來秋ニ於テ前ヨリハ却テ安クナリ、サウ

シテ端境期ニ於テ割合ニ高クナルト云フ現象ハ之ヲ統御スルコトガ出來ナカッタ、而モソレニ依ッテ昭和八年ノ末ニハ二億萬圓餘ト云フヤウナ損失ヲサレタ、斯ウ云フ缺點ヲ補強スル爲ニ米穀統制法ヲ御作りニナツタモノデアルト諒解ヲ致シマスガ、其點モ宜シウゴザイマスカ

○島田國務大臣 大體其通りデアリマス

○三宅委員 ソコデ米穀統制法ニナツタノ

デゴザイマスルガ、米穀統制法ノ功罪ニ付テ考ヘテ見マスルノニ、私共ハ永山君及渡邊鐵藏君ヲ中心ニシマス反産陣營カラ出マス批評ト云フモノハ多クノ點ニ於テ當ッテ居ル、其最モ多クノ點ニ於テ當ッテ居ルハ、貧農ニ對シテ駄目デアルト云フコトデ、併ナガラ效果ガ確ニアツタト云フコトハ是ハ認メナケレバイカヌト思フ、渡邊サンハ所謂自由放任主義ノ經濟理論カラシテ、米穀法ノ昔ニ返スガ宜イ、若クハ自由放任デ行ッたら宜カラウト云フ見地ヲ執ッテ居ラレマスガ、私共ハソレニ反對デアル、米穀統制法ノ效果ト認メルノハ、更ニ値幅ヲ縮メテ、最高及最低價格ニ於ケル暴騰暴落ヲ阻止シタト云フコトハ、確ニ私ハ非常ナル功績デアルト思ッテ居ルノデアリマス、殊ニ現實ノ問題トシテ昭和八年ノ大豐作ニ於

テ、或ハ何等ノ對策ガナカッタトスルナラバ、恐ラク出來秋ニ於テハ一石十五六圓ニ下ツタト云フコトハ、今マデノ例ニ於テ當然デアル、然ルニ是ガ出來秋ニ於テモ二十圓ソコノヲ維持シマシテ、サウシテ値幅ヲズツト縮メテ來タ、是ハ非常ニ大キナ效果デアツタト云フコトハ認メザルヲ得ナイ點デアリマス、第二ハ、隨テサウ云フ結果トシテ米ノ値幅ヲ縮メタノデアルカラシテ、米ヲ賭博ノ對象カラ取上ゲタ、投機ノ對象カラ取上ゲタ、國民ノ重大ナル生産品デアリ消費品デアル米ヲ所謂投機ノ對象ト致シマシテ、投機ヲ營ンデ之ヲ國民ノ迷惑ニ於テ一部ノ者ガ儲ケルト云フヤウナ制度ハ最モ不都合デアツテ、此點ニ付テ所謂米穀統制法ガ大キナル效果ヲ舉ゲテ居ル、ソレハ獨リ農村ニ對シテダケデナシニ都會ニ對シテモ非常ナル貢獻デアツタト云フコトハ、是ハ率直ニヤハリ認メナケレバイカヌト思フノデアリマス、其點ハ御同様デゴザイマスネ

○島田國務大臣 大體其通りデアリマス

○三宅委員 ソレデハ更ニ私ハ、此處カラ

此點ニ付テハ大臣ニ希望シナケレバナラヌト思フ、尙ホ申上ゲテ置キマスガ、同時ニ政府ノ所期サレナカッタ效果ガ、米穀統制法ニハアツタ、私ハ寧ロ之ヲ非常ニ重大視ス

ルノデアリマスガ、政府米ノ拂下、貸下、交付等ニ依リマシテ、所謂農村及ビ都市ニ於ケル食料不安ヲ緩和シ食糧暴動ヲ阻止シタト云フ點ハ非常ニ大キナ功績ダト考ヘテ居ルノデアリマス、豫期サレズニ、過剩米ノ處置ノ爲ニ、殆下目的ヲ持タズニ出サレタヤウナ恰好デアリマスルケレドモ、ソレガ客觀的ニ見ルナラバ如何ニ農村ニ於ケル食糧ノ飢饉及ビ都市ニ於ケル飯米飢饉ト云フコトニ對シマシテハ、大キナ效果ガアッタカト云フコトハ、是ハ第三ノ功績トシテ認メナケレバイカスト思フノデアリマス、ソレデハ何故政府ガ此ノ統制法ノ他ニ自治管理法ヲ出サウニナッタカト云フ動機ハ、政府デハ自ラ白狀モシテ居ラレルノデアリマスルケレドモ、此法ヲ一本デ行ケバ、止メ度モナイ費用ノ支出ニ依テ政府ガ非常ナ損失ヲスル、之ヲ何トカーツ減ゼナケレバイケナイ、ソレカラモウ一ツハ外地米ノ止メ度ナイ侵入ト云フコトヲ防止シナケレバ、是ハ破レタ策デ水ヲ掬フノ同ジコトデ、何處マデモ限リガナイノデアアルカラ、之ヲシナケレバイケナイト云フ點、此二點ガ私ハ政府ガ自治管理法ヲ御出シニナツタ理由ダト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデソレニモ大分議論ガアッタノデアリ

マスルガ、所謂外地米ノ點ヲ御考慮ニナルナラバ、ヤハリ此際拓務大臣モ居ラレルノデアリマスルガ、生産制限ト云フコトヲ斷行サレナケレバ駄目ダ、内地ノ米ノ生産費ト、外地ノ米ノ生産費トニ付キマシテハ、其資料ノ提出ヲ御願シテ居ッタノデアリマスルガ、私ノ調べタ資料ニ依リマシテモ、臺灣米ハ昭和六年ニ於テ十二圓三十錢、蓬萊米生産費ガ……ソレカラ朝鮮米ハ十六圓三十二錢、内地米ノ生産費ガ二十四圓八十錢ト云フ勘定ニナツテ居リマス、即チ内地米ハ臺灣米ト比ベルナラバ、倍以上ノ生産費ガ掛ッテ居ルノデアアルカラシテ、其最低ノ價格ニ於テ兎モ角生産費ヲ割ラヌ價格ニ政府ガ内地米ノ價格ヲ維持サレマシタトスルナラバ、ソレハ外地米ニ取ッテハ非常ニ得ナ事情ニナルカラシテ、増産獎勵ニナル、政府ガ獎勵サレナクッタテ是ハ統制法ノアル限り外地米ニ對シマシテハ非常ナル増産獎勵政策ニナルノデアアルカラシテ、是ハヤハリ今ノ中ニ生産制限ヲ斷行サレナケレバ、私ハ又米穀法ノ改正ヲ考ヘナケレバナラナイ時期ガ來ルニ違ヒナイト考ヘルノデゴザイマシテ、此點ニ付テハ再々御説明ガアッタノデアリマスルカラシテ、無理ニ御答辯ハ求メナイガ、サウ云ウ見地ニ依ッ

テ拓務大臣及ビ農林大臣ハドウ御考ヘニナリマスカ、簡單ニ其點ハ一ツ念ヲ押シテ置キタイト思ヒマス、御同意デアアルカ或ハ御ヤリニナル積リデアアルカドウデアアルカ……

○島田國務大臣 只今マデ御述ベニナリマシタ點ニ付テハ、大體三宅君ノ御述ベニナツタコトニ同意ノ意ヲ表シテ置キマス、殊ニ自治管理案提案ノ事情ニ付キマシテ、財政上ノ理由竝ニ外地米ノ關係、此事情ガ大キナ原因デアルト云フコトニ付テモ御話ノ通りデアリマス、唯ソレニ關聯シテ生産制限ノ問題デアリマスガ、是ハ度々申シタヤウニモ考ヘマスガ、米ト云フモノハ我ガ國民ノ生活ノ必需品中ノ最モ重大ナ地位ヲ占メテ居ルモノデアアル、而シテ一朝凶作ノ場合ニハ非常ナ問題ヲ惹起スベキ性質ノモノデアアル上ニ、内地米ノ生産額ヲ以テシテハ到底此内地ノ需要ヲ充スト云フコトガ頗ル困難デアアル、足ラヌ勝デアルト云フ事情ナルコトハ、三宅君モ御承知ノ通りデアリマス、而シテ人口ハ一方ニ於テハ年々百萬ノ程度ヲ以テ増加スルト云フ國情デアリマスカラシテ、是等ノ國情ニ稽ヘテ、食糧ノ問題、斯ウ云フコトカラ考ヘマシテ、今日ノ事情ニ於テハ外地米ノ増産ガアル爲ニ内

地ノ米價ヲ脅ヤカスケレドモ、斯ウ云フヤウナ立前ナルヲ以テ、直チニ生産制限ヲ斷行スル、斯ウ云フコトハ容易ナラヌ事柄デハナカラウト思フノデアリマス、併ナガラ米穀ノ事情ニ鑑ミマシテ、ソコニ外地ニ對スル食糧政策、國政全般ノ上カラ米ノ生産ノ伸縮ノ事柄ニ付テハ、是ハ自ラ其情勢ニ應ジテヤルベキコトデアアルガ、直チニ生産制限ヲ斷行スル、或ハ減反ヲ實行スルト云フヤウナ方針ヲ立テ、之ヲ實行スルト云フコトハ、是ハ容易ニ斷案ヲ下シ難イ事柄デハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、ソコデ此米ノ問題ガ根本ニナリ、自治管理案ト云フモノガ今日ノ事情カラ云ッテ、ドウモ此程度ノヤリ方ガ最モ適當シテ居ルト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス

○永田國務大臣 農林大臣ノ言フ通りデス、マアチヨット一言加ヘテ見マスルナラバ、朝鮮ナンカデモ二千萬人ノ人ガ居ッテ、一千六七百萬石シカ出來ナイ、日本ノ例ニ依ルト朝鮮デハ少シ米ガ足ラヌ譯デアアル、併シ粟ヲ食フカラ澤山米ガ——八百萬石モ内地ニ出テ來ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスケレドモ、年々内地ノ方ガ一千萬石モ大體足ラヌノデスカラ、ソレヲ生産制限

ト云フモ、ドノ目安デ生産制限——、餘ルカ足ラヌカト云フコトハ一年前ニハ分ラヌ、ソレデ凡ソノ見當デ先ヅ餘リ澤山ニモナラナイ、又非常ニ足ラヌト云フコトモナイ、約ソノ目安デ行ク外ナイト思ヒマスガ、今朝鮮ニ於ケル千七百萬石ト云フハ、先ヅサウ非常ニ内地ヲ脅威スル程ノ米ノ高デハナイト思ヒマス、ソレデスカラ是位ハ朝鮮デ作テ居テ、内地ノ凶作ノ場合ヲ想像スルト云フトソレデ丁度宜イノデハナイカト云フ風ニ考ヘマスカラ、生産統制ト云フコトニ付テハ——統制ト云フ言葉ハ少シ強過ギマスケレドモ、大體朝鮮デハモウ餘リ澤山米ヲ殖ヤサヌヤウナ方針デ行ク、臺灣モ澤山殖ヤサヌ方針デ、臺灣ハ代作ヲ獎勵スルト云フ、少シ極端マデ今ヤッテ居ル、斯ウ云フヤウナ理解ノアルヤリ方ヲ以テ、是デヤッテ行ク外仕方ガナイト思ッテ居リマス、後ハ農林大臣ノ云ッテ精神ハ全然同感デアリマス

○三宅委員 今ノ御答辯デハ私ハ甚ダ不満足デアリマス、特ニ庶政一新ト云フヤウナコトヲ言ッテ居ラレル政府デアッテ、行懸リ上此法案ハ暫定的ニ通サナケレバナラスト云フコトニ付テノ御衷情ハ察シマスケレドモ、モウ少シ徹底シタル方針ヲ以テ考ヘテ

居ラレナイト嘆ダト思フ、ソコデ其行キ方ニハ二ツアルト思フ、私ハ外地米ノ生産制限ト申シマシテモ減反ヲ言フノデハナイ、一體人口ノ増加位ノコトハ、拓務大臣モ言ッテ居ラレルガ、朝鮮ニ於ケル民度ガ低イ爲ニ生産力ガ非常ニ弱イト思フ、アンナベラ棒ナ生産力ト云フモノハナイ、マダマダ〳〵反當リノ米ノ收穫量ハ殖エル狀況ニ在ルト思フ、ソレデ其方法ニ私ハ二ツアルト思フ、一ツハ今ノ減反デナシニ今後ニ於ケル開墾ノ認可制デアル、若シソレガ出來ナイナラバ、臺灣朝鮮モ固ヨリ日本ノ版圖トシテ、差別待遇ヲスル必要ハナイノデアルカラ、朝鮮及ビ臺灣ヲ我國ニ於ケル食糧ノ供給源泉地トシテ安イ米ヲ作ラセル、サウシテ内地ノ農業ニ對シテハ朝鮮臺灣ヨリ進シタル所ノ所謂工業ト連繫シタル所ノ一ツノ産業政策ヲ以テ進ム、斯ウ云フヤウニ農業方針ノ大轉換ヲヤラレルト云フナラバ、生産制限ヲヤラレル必要ハナイト思ヒマスケレドモ、サウ云フ點モ考ヘラレズニ、現行法デ漠然ト進ンデ行カウト云フ立前デアラナラバ、私ハ豫言シテ置キマスルガ、相當ノ徹底シタル方策ヲ執ラレナケレバ、又所謂費用ト云フ點モ止メ度ナク支

出スルト云フコトハ、本法案ノ非常ナ問題デアルケレドモ、餘計金ガ掛カルト云フヤウナ結果ニナッテ、折角善意デヤラレルコトガ駄目ニナリハセヌカト云フコトニ付テ注意ヲシテ置キマス、其次ハ米穀管理法及ビ統制法、此米穀二法案ハ、所謂モ議論ハ決ッテ居ルコトデアアルガ、農村保護政策、重農政策、農村救済政策ノ一ツノ大キナモノトシテオヤリニナッテ居ルト斯ウ解シテ差支ヘナイ、昨日マデノ答辯デモ差支ヘナイト思ヒマスガ、差支ヘナイノデアリマスカ

○島田國務大臣 終ヒノ御言葉ノ通りデアレバ御同意申シマスガ、單純ニ重農政策ト云フヤウナ御言葉ガアリマスト云フト、直チニ之ニ同意スルト云フ意味ノコトヲ申上

ゴザイマス、其點ニ付キマシテハ渡邊鐵藏氏ハ此米價ニ付テ調節スル必要ハナイ、貧農ガ困ルナラバ副業其他デ救済スレバ宜イト云フ議論ヲシテ居ラレタノデアリマサガ、斯ウ云フ暴論ニ付キマシテハ、私共ハ一石打ッテ置カナケレバナラスト思フ、第一經濟論ト致シマシテモ斯ウ云フ議論ハ「アダムスミス」ガ百年モ前ニ使ッテ議論デアリマシテ、時代遅レダト思フノデアリマス、特ニコンナコトヲ大學教授デアアル渡邊博士ニ申サナクテモ分ッテ居ル筈デアリマスガ、今日ノ如ク獨占資本デアリ、都市ニ於ケル獨占資本ガ生産制限等ヲヤリ「カルテル」「コンツエルン」等ニ依リマシテ、所謂生産費ニ、獨占利潤ト云フモノヲ加ヘテ賣ッテ居ルノデアアルカラシテ、小賣商人ヤ農民ガ困ッテ居ルコトハ、百貨店ト小賣商人トノ關係ヲ見テモ分ルノデアリマス、デアアルカラシテ對抗力ヲ持タナイ農民及ビ小賣商人ニ對シテ、所謂産業組合或ハ商業組合、工業組合ニ依リ協同ノ、所謂協同組合ノ精神ト、ソレニ國家ノ助成ヲ加ヘ、又一定ノ統制ヲ加ヘ、保護政策ヲ加ヘテ、サウシテ所謂少クトモ農民ニ付テハ米ガ生産費ヲ毎年割ッテ損ヲシテ居ルナドト云フコトナシニ、公正ナル生産費ニ依ッテ之ヲ賣ラセル

ダケハ之ヲ保障スルト云フ立前ハ、是ハ如何ニ此法案ニ反對サレル議員諸君ト雖モ、其大前提ニ於テハ納得シテ掛ッテ戴カナケレバナラス、私共ハ吉植君ノ話デハナイガ、甚シク暴論ナリト考ヘルデアリマス（「ヒヤ／＼」拍手）其點ダケハ念ヲ打ッテ置キマス、私共ハ米屋ニ會ッテ居リマスガ、昨日モ米屋ニ會フト、渡邊サン等ニ對シテ非常ニ痛憤ノ意ヲ漏シテ居ル者ガアル、例ヘバ渡邊サンナドガ煽動サレテ、取引所ト大キナ米屋トニ酷イ目ニアッタ、結局其取引所ノ上田彌兵衛トカ云フノガ委員ニナッテ、取引所ノ方ニハ補償ガ來ルガ、實際補償ノ欲シイ者ニ對シテハ附帶決議ニ入ッテ居ナイ、實ニ困ル、資木家ノ走狗トナッテ吾々ヲ先棒ニ使ハレルヤウナコトデハ甚ダ困ルト云フコトデ、私ハ此處ニ名刺十枚バカリ持ッテ居リマスガ、皆サウ言ウテ居ル、サウ云フ點ニ付テハ反對スル爲ニサウ云フ「ピント」ノ外レタ議論ダケハ双方共一ツ止メテ戴キタイト思フデアリマス（拍手）私ハ永山君ノ御議論、渡邊サンノ御議論、此二ツノ御議論ニハ非常ニ吾々ガ教ヘラレル所ガアルケレドモ、兩力共非常ニ偏ッテ居ル、特ニ渡邊サンノヤウナ學識經驗アル方々ガア、云フ暴論ヲ吐カレルト云フコトニ付テハ、全

農民ノ立場ニ於テ一石一ツ嚴重ナル抗議ヲ此席ニ於テ申込シテ置ク次第デアリマス（拍手）唯サウ云フ意味ニ於テ解シマスルト、農村ノ保護政策ナリト云フ見地ニ於テ理解致シマスルト、米穀統制法及ビ米穀自治管理法ニ於テハ重大ナル缺陷ガアル、是ハ永山君ノ言ハレタ通りデアリマス、昨日渡邊サンノ、農林大臣ハ農村ノ誰ヲ救済スルノカト云フ御質問ニ對シテ、大農、中農、小農何レモ救ハナケレバナラナイト云フ御答辯ヲナサッテ居ル、私ハ時間ノ都合上細カイコトニ付テハ申シマセヌケレドモ、一體大農ト云フ意味ハ誰ノコトデアリマスカ、大農トハ東京デ遊シ小作料ダケ取ッテ地價數十萬モ持ッテ居ル遊食地主ノコトヲ大農ト言ハレルノデアアルカ（笑聲）少クトモ米穀統制法ニ於テ一番餘計利益ヲ取ッテ居ルノハソレデアリマス、私ハ具體的ニ申上ゲマスガ、昭和八年米穀統制法ノ布カレマシタ時ニ於テ、後カラ統制法ノ改正意見トシテ私ハ大臣ノ所見ヲ質シタイト思フノデアリマスガ、アノ時ニ實際農民ハ十六七圓デ米ヲ賣ッテ居ルノデアリマス、ソレハ同ジ銘柄百俵以上揃ヘナケレバナラヌトカ、或ハ申込書ガ實ニ難カシイノミナラズ、金ハ三月位經タナケレバ來ハシナイ、ダカラ折

角ノ農村救済トシテオヤリニナルコトガモウ全ク最大多數ノ農民ニ取ッテハ無縁ノ衆生デアッテ、サウシテ十六圓、十八圓デ以テ庭先相場デ公定相場ヨリ二三割安イモノデ叩キ賣ッテ居ル、然ルニ其農民ガ米ヲ買フ五六月頃ニナルト、石二十五圓カラ三十圓デ買ハセラレル、然ルニ大地主ト大キナ米屋ガ小農カラ石十八圓デ買ヒマシタノヲ當時ノ公定米價デ二十何圓デ政府ニ賣リ付ケテ僅カ二月バカリノ間ニ利鞘ヲ稼イデ以テ一俵ニ付テ四五圓以上ノ不當ナル利益ヲ得テ居ルト云フコトハ是ハ無視サレルコトハ出來ナイト思フ、此事實ヲ無視サレルコトハ甚シキ認識不足ト思フノデアリマシテ、是ハ無視スルコトハ出來ナイ、是ガ一點、而モ農村ニ於キマシテハ米作ヲ爲サザル耕地所有者、即チ耕作ヲシナイ耕作所有者ト云フモノガ農村人口ノ中ノ六「パーセント」シカナイ、五百五十萬戸ノ中僅ニ二十萬戸シカナイ、併シソレガ米ヲ賣ル段ニナルト、十五「パーセント」賣ルノデアリマス、此連中ダケハ明白ニ米穀統制法ニ依ッテ儲ケテ居ル、所ガ農村ニ於キマシテハ米ヲ購買スル戸數ト云フモノハ四十「パーセント」アル、是ハ農林省ノ統計デアリマス、五百五十萬戸ノ中二百二十七萬戸アル、此諸君ハ今申

シマシタヤウナ事情ニ於テ、所謂安ク賣ッテ高く買フ、是ハ私ハ主トシテ施行令其他ノ命令及ビ勅令ニ依ッテ改正シ得ル部分デアルト思ヒマスカラ、之ヲ此際改正サレル必要アルコトハ、申スマデモナイノデアリマス、其點ニ於テハ實際反產側ニ於テ注意シテ居ルコトハ當ッテ居ル、反產側ガ之ヲ注意シテ居ルダケデナシニ、產業組合ノ熱烈ナル支持者デアル永山君ニ其點ヲ指摘セラレテ居ルト云フ其事實ニ付キマシテハ、一ツ苦勞ヲセラレマシタ農林大臣ガ、此處ガ所謂今日マデノ農林省ノ「ピント」外レデアル、何時モ地主ダケ助ケテ居ル、寧ロ遊食地主ヲ助ケテ居ル、其點ニ付テハ實ニ明白ニ米穀統制法ニ缺陷アリト御認メ下サルコトガ出來ルカドウカ、ソレヲ一ツ御伺シタイ、ノミナラズ所謂我國ノ農家戸數デハ、統計モ戴イテ居リマスガ、五反百姓ト云フモノガ壓倒的ノ多數デアル、其五反百姓ハ是ハ永山君ノ言ハレタ通り青田賣リヲヤッテ居リ、黒田賣リヲヤッテ居リ、白田賣リヲヤッテ居ル、斯ウ云フヤウナ言葉ハ都會ノ議員ニハ分ラヌガ、農村デハ通有語デアル、青田賣リト云フノハ、米ノ穫レヌ中ニ——私ハ非常時高利貸ト命名シテ居ルノデアリマスガ、高利貸ノ利鞘ヨリモモット高イ利

鞘デ以テ二十圓デ賣レルノヲ十圓位デ賣、

點ニ付テノ大臣ノ丁寧ナル御答辯ヲ願ヒタ

對シテ、根本ノ對策ヲ立テ行カナケレバ

ナガラ局ニ當ル所ノ者ノ意氣込ガ、即チ庶

テシマフノガ青田賣リ、稻ガ青クナツテカ

マシタ統制法ナリ、又只今提案シテ居リマ

中ノ急用ノ事柄デアリマシテ、即チ吾々ガ

政一新ヲ來スモノデアル、斯ウ云フ風ニ自

ラ賣ルカラマダ宜イケレドモ、最近ニナツ

テハ段々ヒドクナツテ、黒田賣リト申シテ、

是ハ政府トシテ申上ケルヨリモ、自分共ノ

分ハ深く考ヘテ居リマシテ、只今ノ青田賣

マダ稻ヲ植エヌ中ニ、秋出來ル米ヲ擔保ト

スル法案ノ實施ノ場合ニ、是ガ法ノ目的ト

テ、吾々ガ産業、國防ノ併進、サウシテ廣

義ノ國防ニ於テ見テモ、亦實際ノ國ノ存立

シテソレコソ高イ十割位ノ利息デ以テ賣ル

シテ居ル以外ノ方面ニ働イテ、サウシテ却

ノ上カラ考ヘマシテモ、産業ト國防ヲ併進

シテ、ヤハリ相當其點ニ付テハ深く認識ヲ

ト云フ狀態デアル、白田賣リト云フノハ、

テ害ヲ生ズル、理想トシテ考ヘテ居ルコト

セシムル、違フ言葉デ言ヘバ兵農兩全、斯

致シテ居ッテ、是ガドウシテモ今ノ我國ヲ立

最近非常ニ行ハレテ居ルガ、マダ雪ノアル

ヨリモ、逆ナ結果ヲ生ズルヤウナ事柄ガ取

ウ云フヤウナ意味ニ於テ我國ノ行キ方ヲ考

直シテ行キ、此國狀ヲ持直シテ行クト云フ

中ニ來年ノ米ヲ賣ッテ居ルノデアリマス、此

係カラ來ル、又是迄モサウ云フコトガアル、

ヘナケレバナラス、其點ニ關スル事柄デア

コトノ根本ノ出發點デアル、斯様ニ考ヘテ

實狀ハ段々殖エツ、アル、是ハ農林大臣ト

リマシテ、庶政一新ト言ヒマシテモ、庶政一

新ハ何ヲスルカト云フコトニ付テハ、是ハ

足デアリマス、アリマスノミナラズ、此點

シテモ御覽ニナラナケレバナライノミナ

ノ場合ニ於テモ、只今三宅君ノ御話ニナル

ハ實行ヲ重ネテ始メテ庶政一新サレルノ

ニ付テ一點私ハ農林大臣ニ御注意ヲ申上ゲ

ラズ、是デ一ツ米穀法並ニ米穀統制法ガ、

檢討ヲ加ヘ研究ヲ致シマシテ、斯様ナ違ッタ

デ、庶政一新ハ政府當局ノ意氣込ダ、庶政

テ置キマス、本法案ニ對シマシテ米屋ノ側

無縁ノ衆生デアルト云フコトヲ御考ヘ願

リマス、隨テ此事柄ニ付キマシテハ、十分

ハ實行ヲ重ネテ始メテ庶政一新サレルノ

デハ兎モ角非常ニ一生懸命ニ反對ヲシテ居

ヒタイ、無縁ノ衆生タルノミナラズ、是

目的、或ハ反對ナ方向ニ向ッテ動クコトノナ

ヲ一新スルノ意氣込ヲ以テ行ク、是ガ根本

ル、然ルニ農民ハボーントシテ居リマス、實

ガ有害ニ影響ヲ及ボシテ居ル、今ノ運用ノ

キヤウニ、出來ルダケノ注意ヲ拂フト云フ

コトヲ申上ゲテ置キマス、尙ホ只今御話ノ

際ノ事情ニ於キマシテハ大シテ支持ヲシテ

方法ダト、有害ナ影響ヲ及ボシテ居ルト云

コトヲ認メザルヲ得ナイ、即チ今申シマ

ラヤッテ行ク、其場合ニハ現在ヤッテ居ルモ

ハ居リマセヌ、今支持ヲシテ居リマスノハ

フ迄待ッテ居レナイ、庭先デ以テ非常ナ安イ

ト言ヒマス、此狀態ガ非常ナ窮迫セル狀

態ニアリマシテ、今御話ノ青田賣ルトカ、

農會デアルトカ、産業組合トカデアル、現

値段デ賣ッテシマフ、ソシテ買フ時ニハ高ク

又田ニナライ中カラ賣ル、斯ウ云フヤウ

ナ事情ニアルト云フコトハ、是ハ米ノ問題

狀トシテノ産業組合ハ、其精神如何ニ拘ラ

買フ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、カ

ナ事情ニアルト云フコトハ、是ハ米ノ問題

カラト云フヨリモ、寧ロ農村ノ窮乏ノ狀態

ノ貧農ハコソナ法案ニ付テハ無關心デア

ラ、之ニ對シマシテ何等カ御考ガアルカ、

ト云フコトガ底ニアアルノデアリマシテ、此

ヘテ居ラス、ソレモ一ツノ方法デアル、併

テ、支持シテ居リマセヌ、ソレハ明白ナ事

對策ガアルカ、是モ對策ヲ持タレナイヤウ

ナ事情ニアルト云フコトハ、是ハ米ノ問題

ナ事情ニアルト云フコトハ、是ハ米ノ問題

ナ事情ニアルト云フコトハ、是ハ米ノ問題

ナ農村政策デアラナラバ、ソソナモノハ駄

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

目ダ、更始一新ダノ何ダト言ハナイ方ガ

實デアルト云フコトヲ私ハ御注意ヲ申上ゲテ置ク、ソレガドウシテ支持シナイカト云フコトハ、今私ガ指摘シマシタヤウナ缺陷ノ結果デアル、此席デサウ云フコトヲ申上ゲルノハ、好イ材料ヲ渡邊サンニ提供シタヤウナモノデアリマスケレドモ(笑聲)虚心恒懷ニ一ツ審議ヲ進メテ行キマスル上ニ於テハ、惡イ點ハ惡イト言ハナケレバナラヌノデアリマスカラシテ申上ゲテ置キマスガ、ソレヲ御報告シテ置キマス、サウシテ今ノ御答辯ニ依リマシテモ、甚ダ漠然デハアツケレドモ、大體ニ御答辯ヲ了解スルコトガ出來タカラ、モウ一遍其點ニ付テ念ヲ押シテ置キマス、ソコデ米穀政策ハ所謂農村ノ保護政策ノ一ツダ、其他ノ意味モアルガ、ソレガ一部分ヲ爲シテ居ル、保護政策デアルナラバ、僅カ二十萬戸ノ遊食地主ヲ保護スルト云フ見地デハナクシテ、殘餘ノ五百五十三萬戸ノ勤勞農民ヲ支持スルノデアル、援助スルノデアルト云フ點ニ力點ノアルコトハ、是ハ御異議ノナイコトダト思フ、其運用ニ於テモ外レテハ困リマスガ、議論トシテ御異議ノナイコト、思フ、ソコデ今度ノ米穀政策ノ二法案ノ目標ト云フモノハ、所謂五百五十三萬戸ノ勤勞農民ヲ目標トシテ、是ガ生産費ヲ割ラナイヤウニ、

米ノ生産ニ於テ生産費ヲ割ラナイヤウニ、損ヲシナイヤウニ、國法ヲ以テ之ヲ保障スルト云フ一聯ノ法律ガ米穀法案ナリト理解シテ宜シウゴザイマスネ、ソレカラモウ一ツ、隨テ生産ノ關係ニ於テハ、所謂生産費ヲ割ラナイヤウニ、ソレカラ消費者トシテノ農民、今申シマシタ通り四十「パーセント」ハ消費者トシテノ農民デアル、而モ私ハ是ハ統計ニ現レテ居ラヌケレドモ、四十「パーセント」デヤナイト思フ、八十「パーセント」位ハ所謂端境期其他ニナレバ米ヲ買フ農民デアルト考ヘテ居リマス、隨テ町ノ消費者モ含マレルガ、農村トシテ限定シマス、消費者トシテノ農民ニ不當ニ高クナイ米ヲ買ハセルト云フコトガ、ヤハリ目標デナケレバナラス、斯ウ云フ二點ニ私ハ集約出來ル、生産消費ノ方ニ於テ集約出來ルト思フ、サウダトスレバ所謂米穀法ノ中心ハ此處ニ在ルト思フ、今マデイツモ叩カレテ非常ニ安カッタ出來秋ニ、損ヲシナイ値段デ米ヲ賣ル、買フ時代ニモアトハモウズツト上ラヌデ所謂保管料ト金利、月十錢位ト言ハレテ居リマシタガ、其程度ノ金利デ以テ、値幅ガ一圓カ一圓五十錢シカナイト云フ所デ抑ヘテ、サウシテ出來秋ニ出來ルダケ生産費ヲ割ラナイ値段デ、公正ノ値段ヲ

以テ、アトハ其時ニ安ク買フト云フコトニ目標ヲ置クベキデアルト考ヘル、重點ガ其處ニアル、其目標ニ御同意ガ願ヘルカドウカ、ソレヲ一ツ是ハ主要ナ點デアリマスカラシテ、饒舌ヲ弄セラレルコトハイケマセヌガ、要點ニ付テ一ツキチントシタ御返事ヲ願ヒタイ

○島田國務大臣 理想的ニ申シマスレバ其通りト考ヘテ居リマス

○三宅委員 御贊成ヲ得マシタノデ、此大臣ガ承認サレタ目標カラ致シマシテ、統制法ニ付テ私ハ二三ノ點ヲ批判シテ、サウシテ更ニ管理法ニ付テ、其點トノ關聯致シマシタ缺點ヲ批判致シマシテ、運用ニ付テノ御同意ヲ得タイ、ソレハ施行令其他ノ改正ニ關スルコトニナリマスカラ、御同意ヲ得タイト思フノデアリマス、ソレデ第一ハ先刻モ一應御答辯ガアツタヤウデアルガ、青田賣等フヤッテ居ル農民デス、即チ貧乏ナルガ故ニ益、損ヲシテ居リマスル農民ニ付テ、統制法ノ運用上何等カノ用意ガアリマスカドウカ、是ハ大臣デハ餘リ問題ガ小サクテ分ラナケレバ、大臣ノ大局的御答辯ヲ得テ、其後ニ一ツ政府委員ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○島田國務大臣 統制法ノ運用カラ直接ニ

此青田賣、黒田賣等ノ窮狀ニ對スル處置ノ方法ハ、統制法トシテハアリマセヌ、併シ此事ハ先刻申上ゲマシタヤウニ、農民ノ斯ノ如キ窮狀ニ對スル處置ニ付テハ、別ニ考ヘナケレバナラス、即チ此法律ノ運用デ其處ニ及フト云フコトハ出來難イコトデアルト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小平政府委員 只今ノ御尋ニ付キマシテ、大臣カラ申上ゲタ通り、別ノ方法ヲ講ジナケレバナラス、ソレハ特ニ金融ノ方法ニ依リマシテ、救済スルヨリ外ニ方法ガナイデハナイカト云フヤウニ考ヘラレマス、是等ニ付キマシテハ、出來ルダケノ努力ニ依リマシテ、左様ナ青田賣ノ出來ナイヤウニ、ソナコトヲシナイデ宜イヤウニ、小作ニ對スル金融ノ途ヲ付ケテ參リタイト考ヘテ居リマス

○北委員 關聯事項デ一寸御伺ヒ致シマス、三宅サンノ先程カラノ青田賣、白田賣ノ問題ニ付キマシテ、ドウシテモ解シ兼ねルモノガアル、是ハ産業組合ノ運用デドウデモ出來ル、私共ハ既ニサウシテ居リマス、生産品ノ出廻期ニ於キマシテハ、私共ハ其人ノ食糧米マデ全部農業倉庫ニ入レテヤッテ居ル、之ニ極度ニ貸付ヲシテヤリマス、サウシテ其貸付ノ極度ニスルノハ何故ヤル

ノカト申シマス、其人ノ能力ヲ土臺ニシタ所ノ信用程度ヲ標準ニシテ、サウシテ信用ヲ加ヘタモノデ貸シテ行ク、其人ガ段々稼イデ行ッテ、一俵々々自分ノ食糧米ヲ受出シテ來ル、自分ノ稼ギト兩方デ受出シテ來ル、斯ウ云フヤウニシマスカラ、サウ先刻言ハレルヤウナ問題ハ農村ニ起サヌデモ宜イ、是ガ産業組合ノ運用デ、チャント規則ガ出來テ居ル、此運用ガ下手ダカラデアル、是ハ何モサウ心配シタ問題デハナイ、當事者デアル農民ガ考ヘサヘスレバ直グ出來ル問題デアル、私ハ先刻カラ聽イテ居ッテ不思議デ仕樣ガナイ、現ニ全部サウ云フ風ナ方法デ、食糧ヲ全部抵當ニシテ貸シテアル、サウ云フ方法デヤッテ居リマスカラ、青田賣ナドハサセヌヤウニヤッテ居ル、私ハ必ず出來ルト思フ、是ハ机上ノ空論デナシニ、私ハ長年ノ間實際ニヤッテ居ルノデアリマス

○三宅委員 今北君ノ御話ヲ承リ、又更生部長ノ御話ヲモ承リマシテ、方針トシテハ大體分リマシタ、分リマシタガ、現状ノ産業組合デサウ云フコトヲヤッテ居リマスノハ私ハ寡聞ニシテ北君ノ所位デアラウト思フノデアリマス、第一ニ貧農ニ對シテハ加入ヲ拒否シテ居ル、農事實行組合ヲ作りマシテ、團體加入ヲ望ンデ居リマスモノニ對

シマシテモ、加入ヲ拒否シテ居ル例ハ少クトモ新潟縣等ニ於テハ澤山アル、元來私ハ産業組合ト云モノハ、サウ云フコトヲヤルノガイツノ精神デアルト思フノデアリマシテ、運用宜シキヲ得レバ、サウ云フ所ニ行クダラウト思フノデアリマスガ、是ハ私ハ遺憾ナガラ、今日ノ現状ニ於テハ、全國的ニ甚ダ例ハ少イ、少イノミナラズ、永山君ノ言ハレル通り、マダ加入モ出來テ居ラナイ、加入シテモ殆ド役ニ立タナイ、斯ウ云フ實情デアルト云フコトダケハ申上ゲテ置キマス、是ハ何モ反産側ノ尻ニ付イテ産業組合ヲ潰スト云フノデアリマセヌ、良クシロト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス

今度ハ統制法ニ關スル運用ノ問題デアリマスガ、農民ガ統制法ニ對シテ之ヲ利用シナイ一ツノ理由ハ、今申上ゲタ金融其他ノ關係モアリマスガ、非常ニ面倒デアアル、第一書類ニ書イテ出サナケレバナラヌ、證據金ヲ二圓積マナケレバナラヌ、金ガ直グ來ナイ、借りルトスレバヒ掛シカ借ラレナイ、斯ウ云フ非常ニ面倒ナ關係及ビ喉カラ手ノ出ル程金ガ欲シイノニ、三月モ經タナケレバ金ガ來ナイト云フノデ、ツイ庭先相場デ賣ッテ居ルト云フ實情デアアル、ソコデ農會又ハ産業組合ニヤレバ宜イト言ハレル

ガ、農會デモ金ノ來ルノニハ十五日位掛カル、産業組合デハ、借金ガアル組合員ガ金ヲ取りニ行クト、其借金ヲ差引イテ寄越ス、ダカラ米屋デハ十八圓ニナリ、産業組合デハ二十圓デ買ッテ呉レタガ、手取り三圓ニシカナラナイト云フコトデアレバ、米屋ニ持ッテ行ク方ガ當然ダと思フ、是ハ私ハ施行令ノ運用ノ方法ニ依ッテ、竝ニ本省デハサウ考ヘラレテ居ッテモ、下ヘ徹底シナイト云フコトガアルト思ヒマスノデ、苦勞サレタ農林大臣、下情ニ通ゼラレタ農林大臣ガ居ラレル此機會ニ於テ、施行令其他ニ付テ、現行規則第二十五條及第二十八條ニ互ル點デアリマスガ、議會ノ協賛ヲ經ナクテモ出來ルノデアリマスカラ、此點ニ付テハ特ニ改正ヲ願ヒタイ、其他ニモ必ズ良クスルコトニ付テハ何モ異議ガアル譯デハナイノデアリマシテ、此御考ヲ願ヒタイ、是モ事務關係ニ付テハ昨日カラ盛ンニ質問シテ居ッテタノデアリマスガ、十一月一日ノ需給推算ヲヤラレテ確定スル前ニ、換金急ギノ爲メ早稻賣リヤル者ニ付テハ、統制法デ最低價格デ簡單ニ買上ゲテ貰ヒタイ、又産業組合トノ聯關ヲ必要トスルデアリマセウガ、買上ゲテ貰ヒタイ、ソレカラ管理法ヲ適用セラレル縣ハ二十數縣デアッテ、管理法ヲ適用シナ

イ府縣ノ中農以下ハヤハリ統制法ノ改正ガナケレバ迷惑スルノデアリマスカラ、今申シマシタ同ジ銘柄格等ニ付テノ色々煩瑣ナ手續ヲ簡易敏速化サレタイ、此點ハ後トカラ總括的ニ御註文ヲ附ケタイと思ッテ居リマスガ、將來好ムト好マザルトニ拘ラズ、統制經濟ノ方向ニ行カザルヲ得ナイ、重要産業統制法、肥料統制法ドノ統制法ガ出ルノハ今日ノ實情ニ於テ已ムヲ得ナイ、サウスレバ最モ考ヘナケレバナラナイコトハ、之ヲ官僚的統制經濟ニナサマルコトデアル、農民ト云フモノハ非常ニセ、コマシイコトニ付キマシテハ、農民心理ガアリマシテ、反感ヲ持ツ、ダカラ滿洲ノ農民ガ法匪法匪ト云フ言葉ヲ作ッテ、役人ノコトヲ匪賊ト同一扱ヒニシテ居ルト云フ話ヲ聞イテ居リマスガ、仕舞ニハ日本ノ百姓モ法匪ニイデメラレルト云フヤウナ評言ヲ使フ時期ノ來ルコトヲ虞レルノデアリマシテ、其爲ニハ出來ルダケ民權ノ伸張、自治、官僚ノ惡イ方面ノ打破ト云フコトニ付テ、實ハ關係各省ノ官僚ノ方ニ此御考ヲ願ヒタイ、今申シマシタ施行規則二十五條及二十八條其他ノ點ノ、中農以下ニ對シ不便ヲ與ヘテ居ル點、是ハ産業組合ニ關係スルケレドモ、飯米ヲ賣ル時ニ借金ヲ差引クト云フ事例ノナ

イヤウニ、サウ云フ點ニ付テノ勅令、命令、施行規則等ノ改正ニ付テ御意見ヲ承リタイ
○島田國務大臣 只今ノ三宅君ノ御意見ニ對シマシテハ御希望ノ點、ソレ等ノ點ニ付テ十分研究致シマス

○牧野委員 序ニ政府委員カラモ説明ヲ：荷見政府委員 大臣ノ仰シヤル通りデアリマス

○牧野委員 具體的ニ御話ヲ聽ケマセヌカ、大變宜イ質問ダッタと思ヒマスガ……

○島田國務大臣 具體的ニ規則ヲ指定致シマシテ、法案成立以前ニ、斯ク／＼ノ規則ヲ斯／＼ニ改メルト云フコトハ申上兼ネルト云フコトヲ御諒承願ヒタイ、御希望ニハ副フヤウニ努力シマス

○三宅委員 方針ニハ御賛成デスカ

○島田國務大臣 方針ハ諒承致シマシタ

○三宅委員 モウ一ツ私ハ米穀統制法ニ付テ改正意見ヲ有ッテ居ルノデアリマス、今度議會ニ統制法中一部改正ヲ御出シニナッテ居リマスガ、私ハ貸下米ニ付テ——府縣ニ對スル貸下米制度ノ問題デアリマスガ、統制法ノ私ハ社會政策的意義ト云フモノヲ非常ニ大キク評價スルモノデアリマス、即チ意識ハサレテ居ラナカッタウト思フケレドモ、徳川時代以來ノ米穀統制ト云フモノ

ハヤハリ社會政策ノ見地ダッタ、何ト云フタテ人間ハ米ナクテハ一日モ生キルモノデハナイノデ、社會政策的の見地カラ是ガ出來ナケレバナラス、本法ガ米穀法トナリ、米穀統制法トナリマシタ動機モ、ヤハリ米騒動其他ノ社會的契機ト云フモノガ非常ナ大キナ原因ニナッテ居ルト思フ、立法者ガ意識シテ居ルカドウカハ別デアル、米價ノ維持安定ト云フヤウナコトニ注目サレテ居ルカモ知レナイケレドモ、私ハ其底ニアル大キナモノハ、ヤハリ社會政策的のナモノダと思フ、ソコデ交付米ノ關係ニ付キマシテ、東北其他ノ凶作地ニ對シテ交付米ヲ御出シニナッタ、其制度ヲ單行法トシテ、統制法中ニ拂下貸下ノ外社會政策的の必要ニ應ジテ貸下及拂下ノミナラズ交付ヲ爲シ得ルト云フ一項ヲ一ツ御加入ヲ願ヒタイ、是ハ私ハ非常ナ大キナ問題と思フ、運用ノ點ニ付テモ或ル程度改正ノ出來ル點モアリマセウケレドモ、斯様ナ點ニ付テモ私ハ一寸大臣ニ御認識ヲ得テ置キタイと思フ、大臣モ農村ノ出身デアリマスカラ、蛇足ノ感ハアリマスケレドモ、御認識ヲ得テ置キタイと思フ、農村ニ於ケル飯米飢饉ト云フコトハ、所謂米作り米喰ハズデ、實ニ農村ニ於ケル社會問題ノ重心點ト思ッテ居ルノデアリマス、此凶

作ニ至リマスル「コース」ニ付テハ、東北ノ一昨年ノ凶作ハ、冷害其他ガ經濟的原因トシテ指摘サレテ居ッタ、私ハ今年モ亦雪害地ハ凶作ナリト不幸ニシテ認識シテ居リマス、ソレハ自然的原因トシテ融雪ガ遅レマスカラシテ播種ガ遅レル、稻ノ生育ガ不充分デアル、サウシテ稻熱病ニ罹ル、隨テ稻ノ生育ガ不十分デ、限界以下シカ溫度ヲ蒙ラナイ、日光ヲ蒙ラナイ、斯ウ云フ狀況カラ自然的「コース」ト致シマシテ私ハ今年ノ深雪地ハ凶作ナリ、其自然的條件ニ依ッテ凶作ナリト遺憾ナガラ考ヘテ居ル、此點ニ付テ苗代ノ除雪費ニ責任支出ヲサレマシタコトハ私ハ大臣ノ御盡力ヲ多トシテ非常ニ感謝シテ居リマスガ、大藏省其他ノ關係デ金額ノ少カッタコトハ残念ニ思フ、苗ガウマク出來テサヘ居レバ、ソレニ依ッテ其何十倍ト云フ廣サノ反別ガ助カルノデアリマス、併シ非常ニ今迄ニナイ早サヲ以テ御出シ下サイマシタコトニ付テハ、凶作地ヲ代表致シマシテ感謝スル者デゴザイマスルガ、其「コース」ト共ニモウ一ツアル、ソレハ凶作ニ至ル社會的「コース」即チサウ云フ地帯ハ多ク山村地帯デアル、山村地帯ハ耕作反別ガ非常ニ少イ、假ニ五反シカ作ッテ居ラス、三反シカ作ッテ居ラス百姓デスト、

冬ハ出稼ギニ行ッテ飯米ヲ稼グ、所ガ今年ナドハ出稼ノ汽車賃モ取レナカッタト云フ狀態デス、ソコデ家ニ殘ッテ居ル者ハ鐵道ノ除雪ナドニ出マシテ、現金收入ヲ得テ、冬中ノ米ヲ買ハナケレバナラス、所ガ自分ノ家ガ潰レテ死ス者ガ澤山出ルト云フノ鐵道ノ除雪ニモ出ラレナイノデ、岐阜縣其他カラ雇ッテ來タ、現金收入ハ何モナイ、飯米ハモウナクナッテ居ル、ソコデ飯米ガ不足デアリマスカラ非常ニ榮養不良ニナッテ居ル、サウ云フ農民ニ限ッテ肥料ヲ買フ力ガナイ、御承知ノ通り田圃ニ肥料ヲ入レナケレバ雜草ハ繁茂致シマスルケレドモ米ハ繁茂シナイ、肥料ヲ入レナイ百姓ハ其代リ外ノ百姓ガ一反歩ニ二十五日耕作力ヲ加ヘルトコロヲ三十日耕作シテ田ヲ深耕シナケレバナラナイ、サウスレバ宜シイケレドモ、肥料ヲ入レナイヤウナ百姓ハ飯米ガナイカラ、一番草ヲ取ッテ、二番草三番草ヲ取ル時分ニハ、救農工事ニ出テ田ヲ耕ス暇ガナイ、ソコデ新潟縣ノ山村等ニ於キマシテハ、刈羽郡ノ上小國村ノ如キサウ云フ原因ニ依ッテ、土地ヲ荒シテ、田地荒廢ガ三十町歩ニ及ンデ居ル、サウ云フ原因デ米ガ又出來ナイト云フコトハ食糧ノ維持ト云フ點カラ見マシテモ大キナ問題ダと思フ、是等ノ點ニ

付キマシテハ政府が出稼デ大イニ收入ヲ與ヘル方法ヲ講ズルナラ宜シイ、或ハ農村工業ニ依ッテ米を買ヘル收入ヲ與ヘルナラ宜シイガ、ソレヲ與ヘナイ限リニ於テハ米ガ出來ナイヤウニナッテハ困ル、窮民ノ出來ルノハ困ルノデアリマスカラ、此米穀統制法ニ依ッテツ次年度ノ耕作ヲ繼續スルコトガ出來ルヤウニ、飯米問題ノ社會的調節ヲヤルコトガ是ガ重心點ダト思フ、其爲ニ年ニ五千萬ヤ三千萬假ニ御使ヒニナッタ所ガ、廣義國防ノ見地カラ云ヘバ軍艦ヲ造ルヨリ此方ガ大キイト思フ、ドウカ此意味ニ於テ交付米制度ト云フコトヲ米穀統制法ノ中ニ御挿入願ヒタイ、ソレガ本議會ニ於テ出セナイト致シマスルナラバ、次ノ議會ニ出シテ戴キタイ、其間ハ一ツ施行規則ニ依ッテ緩和ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望シテ置キマス、其點ニ付テ御意見ヲ承リタイ

○島田國務大臣 只今三宅君ノ御話ノ此山村ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ御話ノヤウナ事實ガアルコトヲ報告デモ聽キ、想像モ致シテ諒解ヲシテ居リマス、唯左様ナ飯米ノ缺乏シテ居ルト云フヤウな場合ニ、統制法ノ運用ニ依ッテ交付米ノ制度ヲ設クルト云フコトニ付テハ、是ハ御希望トシテ承ッテ置キマスガ、此制度ヲ法ノ中ニ現ハシ、

若クハ之ヲ實行スルト云フコトニ付テハ、相當考慮ヲ要スベキコト、考ヘマス、唯此統制法ノ改正案トシテ今回提案致シテ居リマスル統制法中改正法案ノ中ニ、第四條ノ二トシテ掲ゲテ居リマスモノハ稍、其意味ヲ含ンデ居ルモノデアリマシテ、即チ災害事變其他避クベカラザル事由ノアル場合ニ、統制法ノ他ノ規定ニ拘ラズ、道府縣ニ對シテ米穀ノ賣渡ヲナスコトノ出來ルノ規定ヲ設ケテ居リマス、コ、デ三宅君ニ申上ゲテ置キタイト思フノハ、此窮乏シテ居ル人ニ對シテ、飯米ノ場合ニ於テ之ヲ無償交付スルト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラヌ問題ダト思フ、唯今日マデ相當左様な場合ニ賣下、貸下等ノ方法ガアリマシテモ、御話ノヤウニ手續ガ煩瑣ノ爲ニ、必要ノ時ニ丁度來ナイ、必要ノ時ニ來ルナラバ必シモ交付米デ貰ハヌデモ宜イト云フノガ此窮民——窮民トハ言ヒマセヌガ、只デ貰フト云フコトヲ必シモ歡迎シテ居ル譯デハナイ、寧ロサウ云フコトハ潔シトシナイ者ガ多イ、唯併ナガラ實際ニ於テ來ナイ、役ニ立タヌ、ソコデ是ガ問題ニナル譯デアリマシテ、相當ナ現物ヲ直チニ支給シテ、サウシテ其支給シタモノハ相當ナ方法ニ依ッテ之ヲ返シテ行クノ途ガアレバ、喜ンデ其途ニ

出ルノガ國民ノ實際ノ狀態デアラウト私ハ思フノデアリマス、ソコデ實行ニ付テ之ヲ敏速ニ行フカドウカト云フコトガ問題デアル、災害ノ場合ニ於テモ其通りデアリマシテ、災害ニ付テ調ベテ、救助ナリ善後處置ヲ陳情シテ居ル間ニ災害ノ危險ガ過ギテシマフ、後ニナッテ救助ガ來タリ、助成金ガ來タリスルカラ、其後ノコトハ結局其時ニハ役ニ立タナイト斯ウ云フコトニナッテ來ル場合ガ非常ニ多イト思フノデアリマシテ、是ハ所謂是マデノ政治ノヤリ方ト云フモノガ、事實色々ナ取調等ニ手數ヲ掛ケル爲ニ、サウ云フ風ニナル結果デアリマスケレドモ、此點ニ付テ或ル場合ニハ敏速ノ處置ヲスルト云フコトニナレバ、必シモ交付米ノ制度ヲ設ケテ、サウ云フ場合ニハ米ヲヤルト云フヤウな途ヲ開ク必要ガナイノミナラズ、斯様ナ途ヲ開クト云フコトハ、是ハ餘程根本的ニ考ヘテ行クベキコトデハナカラウカト斯様ニ思ヒマス、唯此統制法ノ改正案ノ點ニ付キマシテモ、其コトヲ敏活ニ行ヒ、又行ハシムルヤウニ考ヘマスレバ、相當ニ是デ效果ガアル、又其意味ヲ以テ此規定ノ改正ヲソコニ加ヘルヤウな次第デアリマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス、唯御希望、御意見ノ點ニ付テハ敬意ヲ以テ御聞キ申上

ゲテ置キマス

○三宅委員 私ハ今ノ交付米ノ問題ニ付キマシテハ、大臣ノ御意見トハ大變考ガ違フノデアリマシテ、イツデモ偉イ人ハ只デヤルコトハ惡イナント言ッテムツカシイ制限ヲ附ケラレマスガ、實際上色々社會的ノ原因ニ依リマシテ、返セナイ事情ノアル者ニ對シテ、無理ニ返セト云ッテ、其爲ニ青森ナドデハ非常ナ騷ヲシテ居ル、サウ云フ點ニ付キマシテハ實情ニ即シナケレバナラヌト思フ、苟モ獨立ノ民衆ガ、何モ他人ニ只デ物ヲ貰フナドト云フコトヲ考ヘテハ居ナイ、サウ云フコトハ偉イ人ガ御心配サレル以上ニ屈辱的ニ考ヘテ居ル、慈善ヲ與ヘテヤル、物ヲ只デヤルト云フヤウな屈辱的コトニ對シテハ、民衆ハ寧ロ反感ヲ持ッテ居ル、サウ云フ點、偉クナル人間ヲ何カ人種ガ違フヤウニ考ヘマシテ、餘程監督ヲ加ヘナケレバ懶ケ者ニナッテリ狡クナッタリスルト云フヤウな人性ニ對スル考ヘ方ト云フモノハ、是ハ支配階級ノ間違ッタ點デアルト云フ點ダケ指摘シテ置キマス

ソコデ私ハ統制法ニ付テハ是ダケニシテ置キマシテ、管理法ニ移リマス、管理法ニ對シマスル批判トシテ、私共ガ傾聽ノ要アリト考ヘマス點ハ、米價引上策ナリト云フ

批判ナノデアリマス、是ハ渡邊サンヲ先頭トサレル方々ガ盛ニ言ハレテ居ル、私ハ現狀ノ儘ダト云フト、實質的ノ米價引上政策ナリト認メナケレバナラスト思フ、其點ニ付テハ後カラ獨立シテ私ノ意見ヲ申上ゲテ、大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、其點ニ付テハ今御答辯ハ要シマセヌ

第二ハ運用ニ付テノ疑問及希望ヲ申上ゲテ置キタイ、是モ永山君其他有ユル方面、賛否兩方面カラ言ハレテ居ルコトデアリマスカラ、私ハソレヲ纏メルヤウナ關係デアリマスカ、統制法ト同ジデ、手續ガ煩瑣デ非常ニヤリニクイト云フヤウナ點ガアリハシナイカ、此點ハ一ツ十分ナル用意ヲ以テ、簡易率直ニ出來マスルヤウニ御願ヲ致シタイ、例ヘバ例ハ少シ違ヒマスケレドモ、假ニ非常ニ手續ヲ簡單ニスル爲ニ、少々國家ガ損ヲスルトカ云フコトガアリマシテモ、其爲ニ特別ナ金ヲ掛ケテ餘分ナ人ヲ養ヒ、餘分ナ職ヲ設ケルト云フヤウナコトカラ比べレバ、却テ得ナ場合ガアル、例ハ違フケレドモ、亞米利加邊リノ圖書館デハ勝手ニ本ヲ貸出シテ居ル、貸出シタ本ノ一割ヤ二割無クナルコトハ覺悟ラシテ居ル、ソレハ十人ノ監督ヲ付ケル人件費ヲ見ルナラバ、一人ヲ置イテ、後ハ勝手ニ見セタ方ガ、少々

無クナッテモ宜イデヤナイカト云フノデアル、私ハ其行キ方ガ農民ニ對シテハ宜イノダト思フノデアリマシテ、手續ガ煩瑣デハナイカト云フ點ニ付キマシテ、是ハ必ズ施行シマシタ後ニ於キマシテ不便ダト思ヒマスカラ、是ハ希望デゴザイマスケレドモ、申上ゲテ煩瑣化ヲ避ケテ戴キタイ、ソレカラ今度ハ委託米ノコトデアリマシテ、是ハ即刻金ヲ貸シテ貰ハナケレバナラス、要スルニ農民ハ窮乏シテ居ッテ、直グ金ガ欲シイト云フコトハ勿論デゴザイマスカラ、即刻金ヲ貸シテ貰ハヌト、此自治管理法ガ農民ニ對シテ怨嗟的ニナル、ソレカラ昨日モ事務當局ニ御伺シタノデアリマスガ、幾ラ貸スカト云フ問題デアル、一圓二圓ト申シマスケレドモ、農民ニ取ッテ一圓二圓ハ大キイノデアリマスカラ、全額貸シテ貰ヒタイ、最低價格ノ全額貸シテ貰ヒタイ、昨日親幾ラト云フ話ヲ承リマシテ、今ノ勘定デ行クト、一石二十二圓位ノ勘定ニナルノデハナイカト見タノデアリマスガ、是ハ最低價格ノ全額ヲ貸シテヤッテ戴キタイ、若シ是ガ全額ヲ貸スコトガ財政上困ル——ソレモ低利資金デ戻ッテ來ル金デアリマスカラ何デモナイト思ヒマスガ、財政上困ルト云フ狀態ナラバ、何町以下ノ耕作者ニ對シテ

ハ、全額ヲ貸スコト云フコトニシテ、其爲ニ自治管理法ガ農民ヲ苦シメルト云フコトノナイヤウニ、是ハ施行令デ出來ルコトト思ヒマスカラ、サウ云フ風ニ願ヒタイ、ソレカラ是ハドウ思ヒマスガ、昨日モ聞キマスルト組合員ノ資格ノ標準ガ、自作デ五反歩、小作デ一町歩以上、斯ウ云フ勘定デアリマス、ソコデ是ハ日本ノ農村ダカラ小作モ入レナケレバ組合モ出來ナイ勘定ニナリマスガ、農林省カラ只今戴キマシタ十年度ノ收穫ノ表ヲ見ルト、十年度分ノ平均收穫ハ一反歩一石七斗幾ラ、約一石八斗ガ一反歩ノ平均收入デアリマス、サウスルト自作農ニ致シマスト五反耕作シテ九石ノ收穫デ二十二俵半、小作ニ致シマスト一町以上ダカラ十八石ノ收穫デスガ、ソノ中概算六割ハ小作料トシテ取ラレルカラ、小作料ハ政府提出全國平均ニヨッテモ一石二斗ト云フ勘定デゴザイマス、一石八斗ノ中カラ一石二斗取ラレル、小作ニ取ッテハ詰リ六斗シカ手許ニ殘ラナイ、ソレヲ委託スル、一部分ハ必ズ賣リマス、サウシテ二月經ツタラ飯米ガ切レタ、之ヲ一ツ委託米ノ中カラ戻シタイト云フモノニ對シマシテハ、四十八條ノ規定ニ依リマシテ戻ラスト私共認メテ居ル、サウスルト又別ニ買ハナケレバナラスト云フ

ヤウナ勘定ニナルヤウニ思ヒマスガ、此點ハ如何ニシテ運用ヲ爲サル、カソレカラ其次ハ經費ノ負擔ハドウナルカ、均等ニナルノカ、委託米ノ割合ニナルノカ、耕作反別ノ廣サノ割合ニナルノカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、過怠金ハ定款デ決メルコトニナッテ居ルノデアッテ、私ハ些細な間違ヲ起スノハ必ズ下ノ方ダト思ヒマス、過怠金ナドニ付テハドウ位御取リニナル積リデアルカ、是等ヲ御伺ヒシテ更ニ希望ヲ申上ゲタイ

○荷見政府委員 只今ノ御話ノ分ハ、融通ノ金額ヲ餘計ニスルト云フコトハ、先日申上ゲタノハ、實ハ可ナリ餘計ナコトト思ヒマスノデ、其際申上ゲマセヌデシタガ、一石二十二圓位ニナリマスト云フト、是ハ最低價格ハ或ル大集散地ノ最低價格デゴザイマスカラ、ソレカラ運賃、手間代等ヲ引キマスルト云フト、餘程最低價格ニ近イモノニナルノガ標準ニナッテ居ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ只今小農ガ組合員ニナルト云フコトニナルト、其者ニ對シテハ大農ヨリ割良ク融通ラスルヤウニシタラ宜カラウト云フコトハ、ソレハ組合等デ十分氣ヲ付ケ得ルコトト考ヘテ居リマス、ソレカラ過怠金ナドハドウウカト云フノ

デゴザイマスガ、是ハ大シタモノヲ取ルコトハナイト考ヘテ居リマス、未ダ幾ラト云フコトハ決ツタモノハアリマセヌ、經費ハ石數ニ依ッテ負擔スルコトニナルト思ヒマス

○三宅委員

之ヲ特ニ大臣ノ御出席ノ所デ御願致シマシタノハ、昨日モ非常ナ御親切ナ答辯ヲ事務當局カラ承ツタノデ、改メテ聽ク必要ハナイノダケレドモ、今申シマシタヤウナ點ガ私ハ運用上ニ於ケル重心點ダト思ヒマスノデ、非常ニ下情ニ通ジテ居ラレル大臣トシテ、サウ云フ點ニ付テ、ソシナ一寸改正スレバ宜イ、些末ナ點カラ怨嗟ノ聲ガ起キナイヤウニ十分ナル御注意ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ意味デ大臣ノ前デ申上ゲタノデアリマスカラ、御含ミ置ヲ願ヒタイ、ソコデ高米價政策デハナイカト云フ非難ニ付テ、私ハ是ハ非常ニ重要ナ問題ダト考ヘマスルノデ申上ゲマス、今ノ儘デ考ヘレバ、別ニ考ヘ様ニ依レバ高米價政策トカ何トカ云フコトハナイケレドモ、私共ハ兎モ角大臣ノ御答辯トカ、反對運動者ノ陳情等カラ色々想像ヲ致シマシテ、私共ノ常識デ考ヘテ見マシテ、多少米屋ニ迷惑ヲ忍ンデ戴カナケレバナラヌト云フコトダケハ承認シテ宜イト思フ、併シ必要ガアレバ一定ノ政治的ノ救済ヲ考慮シツ、必要ナ政策ハ何處

マデモヤラナケレバナラヌノデアリマスカラ宜イガ、ソレダケノ苦痛ヲ忍バシテ飽マデ斷行スルニ付テハ、法案ノ内部ニ於テ矛盾ガ無イヤウニシナケレバイカヌト考ヘルノデアリマス、ソコデ一番大事ナ問題ハ、米屋ニ犧牲ヲ拂ハセ、消費者ハ全大衆デアルカラ高米價政策デアッテハナラヌト云フコトデアリマス、所ガ現状ノ儘デ米價ヲ安定サセ、維持シヨウ、サウシテ生産費ヲ割ラセナイヤウニスルノニハ、必然高米價政策ニナルト云フコトデアリマス、之ヲモット碎イデ申シマス、小作料ノ問題ニナル、農相モ、是ダケノ法案デ以テ農村ノ全部ノコトガ片付クモノデハナイ、是ハ農村保護政策ノ一ツノ重要ナル案デアッテ、其外色々ナ案ガ綜合サレテ來ナケレバ、農村全體トシテノ救済ガ出來ナイト云フ御意見ノヤウニ拜承シタノデアリマスガ、其通りデアリマス、ソコデ私ハ米穀統制法ヲ本當ニ生カシテ米屋ニ犧牲ヲ忍ンデ戴キ、消費者ヲモ納得セシメルノニハ、生産費引下ト云フコトガ何ヨリモ大切ダト思フノデアリマス、特ニ外地ニ對シマシテ、内地ニ入ルノ防ガセルト云フヤウナコトデ、何割カノ寄託ヲ無理ニサセ、自然管理ヲ無理ニサセ、ソレ等ニ犧牲ヲ拂ハセルノデアルカラ、不當

ニ高クナッテ居ル生産費ハ之ヲ下ゲテヤラナケレバナラヌト思フノデアリマス、ドノ點ガ不當ニ高クナッテ居ルカト云フト、生産費ヲ下ゲルノニハ小作料ノ問題、肥料ノ問題、税金ノ問題ガアルト思フ、今日農村救済政策ト云フナラバ、我國ノ農民ノ中、自作兼小作農ハ七割アル、此七割ノ實際ノ農民ニ付テ食ッテ行ケルヤウニシテヤラナケレバ、農村救済政策モ何モアッタモノヂヤナイ、然ルニ小作料ト云フモノハ、我國ニ於キマシテハ不當ニ高イノデアリマス、其小作料ヲ拂ッテモ農民ガ食ッテ行ケルト云フ程度ニ生産費ヲ決メルナラバ、生産費ハズツ高クナル、小作料ガ下リ、肥料ガ下ッテ生産費ガ下レバ生産費ノ原價ト云フモノハズツト下ッテ來ルカラ、消費者ニモ宜イ、米屋ヲモ納得サセ得ルト思フノデアリマス、所ガ私ガ今日戴キマシタ材料ニ依ッテ調べテ見マシテモ、昭和十年ノ一反當リノ收穫ハ、一石七斗九升三合ト云フ勘定デ出テ居ル、約一石八斗デアル、然ルニ之ヲ昭和十年ノ最低價格デ勘定シテ見マス、一石二十四圓三十錢ト云フノガ最低價格ダカラ、一石八斗ノ收穫ガアッタトシテ四十三圓七十四錢シカ一反歩ノ收穫ガナイノデアリマス、所ガ小作料ハ幾ラデアルカト調べテ見ル

ト、一石二斗、之ヲ最低米價デ換算スルト二十九圓十六錢デアル、サウスルト一反ノ田地ヲ耕シテ小作料トシテ地主ニ取ラレル金ハ二十九圓十六錢デ、殘所ハ十四圓五十八錢デアル、而シテ肥料ハ一反ニ付テドレ程掛ルカト云フト、是ハ全國デ違ッテ居ルガ、概算十圓ト見レバ宜イト思フ、此材料ノ中ニモ十一圓、或ハ七圓ト云フノガアルガ、肥料代ヲ十圓、小作料ヲ二十九圓十六錢モ取ラレルト小作人ハ一反耕シテ四圓五十八錢シカ殘ラナイ、是デハモウ小作人ノ食フ米ハ殘リヤウモナイ、是ハ經濟學ノ原則カラ言ッテモ、小作人ノ方ニ肥料代、農具ノ損料、勞働日當ダケハ入ラナケレバ立行ク譯ハナイ、サウ云フヤウニ肥料代、小作料ヲ差引イタラ一反歩ニ付四圓五十八錢シカ殘ラナイ、五反百姓ナラ二十圓シカ殘ラナイ、其中ニ一漏病氣デモスレバ飯米ハ殘リハシナイト思フ、數字ハ何ト言ッテモ一番基礎ニナルモノデアアル、サウ云フ狀態デアッテ小作人ノ勞働賃銀ヲ假ニ一日一圓ニ見テ一反歩ニ付二十五日耕作シナケレバナラヌコトニシテ二十五圓ト見ルナラバ、米ノ生産原價ハ上ッテ行カザルヲ得ナイコトニナリマスカラ、所謂此高米價政策デナイト云フ意味ニ於テ消費者ヲ納得サセ、生産者ヲモ納

得セシメテ行クニハヤハリ小作料ヲ下ゲナケレバイカヌト思フ、斯ウ云フ問題ニ觸レルコトヲ今日マデノ政府ハ政治的情勢ヲ困ッテ居タガ、ソレハ其通りデアリマス、小賣商人ニハ配給ト云フ社會的役割ガアル、ソレデモ其配給ノ費用ヲ縮メヨウト云フノデ、購買組合、販賣組合ヲ作ラセテ小賣商人ヲイデメテ居ル、僅カ一割カ五分シカ取ラナイ小賣商人ヲイデメテモ産業組合ヲ援助シナケレバナラヌト云フ立前デアラナラバ、生産ノ上ニ何等役割ヲ爲シテ居ラナイ地主ニ對シテ——是ハ今ノ社會主義ノ經濟ヲ以テ言フノデハナイ、資本主義ノ經濟原則ニ於テモ、コンナ筈棒ナ小作料ヲ認メテ置クト云フコトガ、農村疲弊ノ根因デアアルノミナラズ、サウ云フ點カラ今申上ゲタ統制法モ皆ク運用出來ヌシ、自治管理法モ運用出來ナイト云フコトニナルカラ、消費組合、購買組合ヲ作テ、小賣商人ニ仕方ガナイカラ犧牲ヲ拂ヘト云フコトヲ要求サレルナラバ、地主ニ向ッテモ作ッテ居ル百姓ガ食ヘル程度ニ小作料ヲ下ゲト云フコトヲ要求スルコトガ當然必要デアルト思フ、人口ノ一番多イ、實際米ヲ作ッテ居ル者ノ生活保償ニ對シテ少々位反對ガアッテモ押通スコトガ出來ナイナ

ラバ、庶政一新ハ何ニモナラヌト思フ、デアルカラ公正米價ト云フコトヲ言ハレルガ、小作料ノ公正ナラザル公正米價ハアリ得ナイ、生産費ノ中ノ一番大キナ部分ヲ占メテ居ルモノハ小作料デアアル、ソレヲ公正ニスルト云フコトヲ前提條件トシテ其上ニ公正米價ヲ樹立シテ、其公正米價ニ依ッテ値幅ヲ縮メテ、消費者ニモ生産者ニモ得ヲ得セシメル、ソレガ爲ニハ商人ニ損ヲサセテモ別ナ方法ヲ考慮スルノガ公正ナヤリ方デアルト思フ、地主救済ノ爲ニ商人ヲ壓迫シ、ソレガ小作人ニ取ッテハ何ニモナラヌト云フヤリ方デハ私ハ不都合千萬デアルト思フ、而モ農村ノ振興更生ガサウ云フ狀態デアアルノミナラズ、商人ト云フモノハ、永山君ハコンナモノハ意義ハナイト言ハレタケレドモ、商人ハ配給ト云フ社會的使命ヲ持ッテ居ル、地主ハドウ云フ使命ヲ持ッテ居ルカ、肥料購入モ耕作モ地主ガヤルノデハナイ、地主ガ南洋ニ移轉ヲ致シマシテモ、私ハ米ノ生産ト云フ見地ニ於キマシテハ何等ノ迷惑ヲ被ラナイ、ダカラ下度米ノ生産ノ上ニ於テ、地主ハ盲腸ノヤウナモノデアッテ、小賣商人ハ盲腸ヂヤナイ、少クトモ血管カ動脈カ何カ位ノ役ヲシテ居ル、盲腸ノ方ハ其儘ソットシテ置イテ、ソレヲ助ケテ置イテ、配

給組織トシテ役ニ立ツ部分ヲ澤山持ッテ居ル小賣商人ヲイデメルノハ——其盲腸タル地主ノ部分ハ只ニシロト言フノデハアリマセヌ、經濟學ノ原則ニ適ッタ程度ノ公正ナル所ニ下ゲナケレバ駄目ダ、之ヲ議會ガヤラナケレバ——政府ガヤラナケレバ、二・二六事件ガ又起ル結果ニナルト考ヘル、二・二六事件ナド、云フモノガ惡イコトハ分リ切ッテ居ルケレドモ、革新、改革ト云フコトニ付テハ、何等議會ト云フモノガ仕事ヲヨウヤラナイ、序デスカラ國務大臣トシテノ島田農林大臣及ビ拓務大臣ニ申上ゲテ置キマスガ、米穀法ヲ通ジマシテ議會ノ醜態ハ何デゴザイマス、私共ハコ、ニ所謂今日ノ地域選舉ノ不合理ト云フモノガ現ハレテ居ルト思フ、米屋カラデモナイ、ドチラノ専門家デモナイ者ガ出テ居ルカラ、質問ヲ聽イテ居レバ、實ニ愚劣ナ質問ヲスル、議會ノ演說ヲ聽イテ居レバ、兩方カライデメラレルカラ、マア——ト云ッテ延シテ居ル中ニ、自分ガ失格スルナリ何ナリスル、一時延シト云フコトガ私ハ結局議會ニ於ケル言論ノ一ツノ現レデアルト思フ、眞鍋儀十君ノヤウナ立派ナ方デモ、此處ニ來ラレテ態々彌次ヲナケレバナラナイト云フ所ニ今日ノ地域的、小選舉區制ノ甚シイ不合理ガアル(人

身攻撃ハ止メロト呼フ者アリ)ソレデハ人身攻撃ノ分ハ取消シテ置キマス、サウ云フ狀態デアリマスカラ、私ハ庶政一新ト云フ見地デアラナラバ、大選舉區制ニシテ專門家ガ出ラレルヤウニシナケレバナラヌ、米屋ノ關係ニ於テモ、大選舉區デ以テ米屋ノ專門家モ、農村ニ對スル專門家モ出ル、小作ニ對スル專門家モ出ル、其「エキスパ」トガ悉ク議會ニ於テ討論スル、其綜合ノ上ニ良イ政策ガ立ツト云フノナラ分ル、ドレモ是モ中途半端ナ者ガ出テ來テ、中途半端ナ議論ヲシテ、折角良イモノガ出來テ居ルノヲ、段々改惡シテ行クノガ此米穀統制法ノ行キ方デアルト思フ、私ハ此處ニ非常ニ悲シイ點ヲ見ルノデアリマスガ、農村ニ於ケル中心ノ問題、小作問題ニ對シテ何等發言ガ出來ナイ、島田農相ガ土地問題或ハ小作法ヲ制定シテヤルト云フ御意見デアルコトハ非常ニ喜ビトシテ居リマスガ、聞ク所ニ據レバ色々ナ勢力ガ邪魔ヲシテ段々骨抜キニナッテ來ルト云フ御話デゴザイマスガ、ソレヲヤラナケレバ駄目ダ、二・二六事件ト云フモノニ對スル反感ト云フモノハヒドイケレドモ、革新ヲ議會ガヤラナケレバ——揚足取り、場當リデ、日比谷ノ猿芝居デ以テ終始シテ居ルヤウデハ、他ノ方法、大

衆的壓力「ビストル」ニ依ルナリシテ改革ヲヤラウト云フコトニ民衆ガ行ケバ困ッテシマフ、齋藤隆夫サンハ此間ノ議會デニ二六事件ニハ上下共ニ皆反對ヲシテ居ルト言ハレタガ、反對シテ居ナイ者ガアル、窮乏シテ居ル一番下層ナ連中ハ亂ヲ好シデ居ル、是ヨリ惡クハナラナイカラドシ、撃ッテ呉レタ方ガ宜イト云フ最下層ノ階級ガアル、是ガ恐ルベキデア、此階級ニ私共ハ痒イ所ニ手ノ届ク政策ヲヤラナケレバイカヌ、即チ農村ニ於ケル中心ノ問題ハ小作法デアルト思フ、ダカラ此米穀政策ヲ完全ニヤルト云フ意味ニ於テモ、米價高政策デナイト云フ點ニ付テ御考ヘ下サルニ付テモ、小作法ヲ制定サレル意思アリヤ否ヤ、肥料ノ問題、肥料統制法ヲヤラレルト云フコトハ私ハ反對デア、アンナ不徹底ナ案デハ駄目デア、少クトモ電力ト肥料位ハ國營ニ致シマシテ、サウシテ硫安ノ原價ト云フモノハ私共ノ計算デハ四十圓位デ出來ルノデア、ルカラ、四十圓位デ農民ニ配テ生産費ヲ下ゲテ行ク、今米ノ最低價格ハ二十四圓ダケレドモ肥料ト小作料ヲ引キ下ゲテ實際ニ農民ノ生活ヲ保障スルニハ十八圓位デ皆ニ賣テヤレルト云フコトニナレバ、植民地トノ米トノ開キト云フモノガナクナルノデアリ

マスカラ、ソコガ中心デアルト思フ、更ニ農業保險ノ制度モヤッテ貰ハナケレバ、此程度ノ米穀統制法デハ駄目ダ、事實ヲヤッテ貰ハナケレバナラヌ、問屋ト米相場、投機ヲシテ居ル人ニハ一定ノ補償ヲシテ退却シテ貰ヒ、小賣商人ニ付テハ煙草ノ事實ト同ジヤウニ配給サセレバ小賣業者ノ生活ハ保テルノデアリマスカラ、其處マデ行カナケレバ都市農村ノ相剋ヲ直シ、植民地ト内地ノ利害ノ衝突ヲ直スコトハ出來ナイト思フノデアリマス、是等ノ小作問題、肥料國營、農業保險ノ問題、社會的事實ニ到ラレルカ到ラレヌカト云フ問題ニ付テ、私ハ場當リノ答辯デナク、大臣ノ率直ナル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 小作制度ノ問題、小作法制定ニ關スル事柄、是ハ自作農創定維持ノ問題、土地ニ關スル制度ノ問題トシテ慎重ニ研究ヲシ、成案ヲ得ルコトニ努メテ居ルト云フコトハ度々申上ゲタ通りデアリマス、唯三宅君ノ御話ノヤウニ、是マデ調べルトカ云フヤウナコトヲ言ッテ調べテ居ラス、或ハ成案ヲ得テ居ッテ之ヲマダ成案ヲ得ナイト言ッテ躊躇シテ居ル、左様ナコトハ致サナイ考デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、此法案ニハ直接關係ガゴザイマセヌ

ガ、農村ノ問題トシテ土地ノ問題、尙ホソレニ關聯シテ肥料ノ問題、即チ米ニ付テノ御話ニ付テハ、是ハ大體御話ノ通り生産費ノ低下ヲシテ、ソレニ依ッテ高米價政策ト言ハレル其非難ニ應ヘテ、生産者ト消費者ト共ニ良クスルト云フコトハ其通りデアリマス、唯ソレヲヤルニ付テハ現狀ニ即シテ考ヘナケレバナラヌノデアリマスカラ、一足飛ビニ總テノモノヲヤルト云フ——其ヤリ方ニ於テハ色々議論ガアルト思フ、結局方針ハ一ニシテ居デモ、ヤリ方ニ付テ緩急ノ問題等ニ於テ意見ノ分ル、所ガアルカモ知レナイト思フノデアリマスガ、政府トシテ永久ノモノヲ對象トシテ考ヘル時ニハ、是ハドウモ漸進ニ行クノ外ハナカラウ、是ガ私共ノ信條デアリマス、而シテ其意味カラ考ヘマシテ、統制法ニ付テモ或ハモウ一ツ斯ウ云フ御議論ガアラウト思フ、肥料ノ統制ニ付テモ、ヤハリ同様ニ不徹底デアルト云フ御議論ハ、急速ニ即時解決ト云フ意味カラ言ヘバ、其通りノ御説ガアリ得ルト思ヒマスガ、現狀ヲ土臺トシテ一步進ムト云フ場合ニハ只今提案シテ居ル程度ガ然ルベキデア、斯ウ云フコトハ度々繰返シテ申ス所デアリマシテ、此方針ヲ以テ進ミツ、アルト云フコトニ於テ、三宅君ニ於テモ大

體御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○三宅委員 次ニ米屋等ニ對スル方針ニ付テ尙ホ質問シテ置キタイト思ヒマスガ、取引所ニ對シマシテハ一定ノ補償ヲサレルコトハ御研究ニナッテ居ルノデアリマスカ

○島田國務大臣 取引所及ビ取引所ニ關係シテ居ル所謂米ノ仲買、斯ウ云フ方面ニ對シマシテハ、相當ノ方法ヲ講ズベキ必要アリト致シマシテ研究ヲシテ居リマス

○三宅委員 自由主義經濟時代ニ於テハ、ソレ等ノ一ツノ集約點トシテ取引所ト云フモノハ意義ガアル、賭博投機ト云フヤウナ反面ノ弊害ト共ニ、其投機ヲ通ジテノ統制價格ノ安定トカ、價格ノ決定トカ云フヤウナ意味ノ一ツノ意義ガアッタト思フガ、斯ウ云フ制度ハ永山君デハナイケレドモ、段々仕事ガ統制化シテ來ルニ從ッテ不必要ニナルシ、殊ニ投機的部分、賭博的要素ト云フモノハ、是ハ排除カナケレバナラヌト云フコトハ社會ノ平穩ナル進化ノ上ニ於テ、重大ト思フノデアリマス、併ナガラ今迄アルノデアリマスカラ、相當ノコトヲ御考慮ニナッテ戴キタイ、其際ニ於テモ亦大キナ者ダケガ餘計貰ッテシマッテ、小サイ困ッテ居ル方ノ者ガ利益ガ來ナカッタト云フヤウナコトガナク、其間ニ於テモ

重クスル標準ハ、下ノ方ノ者ニ重クスルト云フ標準デ御解決ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、小賣商ニ付キマシテハ、私ハ統計ヲ一ツ要求シテアルノデアリマスガ、マダ戴カヌノデゴザイマスガ、此小賣商ノ問題モ所謂反産側ガ言ッテ居ラレルヤウニ、産業組合ノ進出ガ小賣商ヲ潰スト云フヤウナ極端ナル議論モ一面ニハアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、ヤハリ政治的ニ御考ニナラナケレバナラヌ點ハ、困リマスレバ皆小賣商ニナル、元手ガ要ラナイカラ、工場主ガ没落スレバ小賣商ニナル、地主ガ没落スレバ小賣商ニナル、勞働者ガ退職スレバ小賣商ニナル、ダカラ消費者ノ數ニ比シテ小賣商ノ數ガベラ棒ニ多イト云フコトガ小賣商ノ壓迫サレル一番大キナ原因デアラウト思フ、是等ニ對シテハ其儘放置スルト双方ニ取ッテ惡イカラ、適當ナル對策ヲ考慮サレマシテ、モウ少シ數ヲ減ラス、ソレハ一定ノ生活ヲヤッテ居ル者ニ對シ數ヲ減ラスト云フノハ、廢メロト云フコトデナクテ、他ニ仕事ヲ見附ケテ數ヲ減ラスト云フ御方針ヲ執ッテ戴キタイ、第二ハヤハリ大資本ノ壓迫ニ依ル小賣商ノ窮乏デアル、百貨店其他大資本ノ壓迫ト云フコトガ小賣商ノ没落ノ最大原因デ、此大勢ニ

抑サレヌ爲メ商業組合、工業組合ヲ御作りニナッテ居ルノデアアルガ、此商業組合、工業組合ニ於テモ大キナ者ガ組合長ニナル、サウシテ實際大キナ所ヘハ來ルガ、資本能力ノ少イ下ノ方ヘハ組合ヲ作ラシテモ何ノ役ニモ立タヌト云フ過去ノ産業組合ト同ジ弊害ヲ續ケナイヤウナ御用意ノ下ニ一ツヤッテ戴キタイ、産業組合ノ壓迫ニ依ル部分ガドレデアアルカト云フコトガ結局最後ニ殘サレタ問題デアアルガ、産業組合ノ壓迫ニ依ル部分ハ少ナイト私ハ見テ居ル、ケレドモ之ニ自制ヲサセマシテ——法律上制限スルト云フコトハ、農民ガヤリタイコトヲヤルノニ對シテ、法律上制限スルト云フコトハイケナイノデアアッテ、商業組合ノ方ニ補助シ、工業組合ノ方ニ援助スルト同ジヤウニシテ、サウシテ商業組合、工業組合ト提携サシテ行クト云フコトデ、ヤッテ居ル仕事自體ニ付テ法的ナ制限等ヲヤラレルコトハ不適當ト私ハ思フ、唯自制ヲサセルト云フコトニ付テハ一ツ自制ヲサシテ、兎モ角商業組合、工業組合ト産業組合ト云フモノトハ提携シテ行クベキ本質ヲ持ッテ居ルモノデアアルカラ、サウ云フ點ニ於テ一ツ勤勞商工業者ト勤勞農民ヲ提携サシテ戴キタイ、尙ホ小賣商ニ付テハ、一ツ拂下米等ヲ町ニ於ケ

ル小賣商ニ配給ヲ委シテヤッテハドウカト考ヘルノデアリマス、此點ハ例ヘバ今迄デモ政府米ノ拂下ガアルト、農會ガ取ッテ來テ配給スル産業組合ガ取ッテ來テ分ケルト云フコトニナッテ居リマス、私共ノ黨員ノ中ニモ小賣商ハアルガ、時代ノ進運カラ言ッテ、此法律ノ制定ハ仕方ナイトスレバ、一ツ小賣商ノ最低ノ生存ノ爲ニ、一升ニ付一錢位ノ口錢デ宜イカラ——實際ハ今一錢取ッテ居リマセヌ、一升ニ付一錢位ナ口錢デ、例ヘバ長岡市ガ請求スレバ政府米ノ拂下ガアル、ソレノ拂下ハ一錢ノ口錢デ小賣商組合ニヤラセル、斯ウ云フヤウナ將來ノ拂下其他ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ、私共ノ關係ノ小賣商ハ言ッテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ點デ一ツ無益ナル摩擦デナシニ、社會ノ發展ト進化ニ寄與スル意味ニ於ケル一ツノ發展ノ方法ヲ以テ、此問題ニ付テモ解決ヲシテ戴キタイト思ヒマスガ、大臣ノ御所見ハ如何デアリマセウカ

ナ點ニ於テ米穀自治管理法、米穀統制法ハ弱點ヲ持ッテ居ル、不滿ナ點モアルガ、併ナガラ現狀ニ於テハ必要デアルト私共ハヤハリ觀念シテ居ルノデアリマス、結局今述ベマシヤウナ點ヲ一ツ活シテ戴キマシテ、其重心點ハ、折角ヤルナラバ官僚主義ニ墮セヌヤウニシテヤルト云フコトガ第一、第二ハ勤勞農民ヲ目標ニシテヤッテ行キタイ、産業組合ノ制限ト云フコトデナクシテ、寧ロ商業組合、工業組合ヲ積極的ニ助成シ、是ト一ツ協調ヲ取ラセルト云フ方途ニ於テ、此反對運動ニ怯エテ自治的ニ發達シテ行カナケレバナラヌ産業組合ニ、變ニ法的ナ制限ヲ加ヘルト云フコトデナシニ、寧ロ商業組合、工業組合以上ノ一ツ援助ヲ與ヘルト云フコトデ進ムヤウニシテ戴キタイ、此點ハ必要デゴザイマスカラ、ソレヲ希望致シマシテ私ノ質疑ヲ終リマス(拍手)

○東委員長 モウ時間ガアリマセヌガ、山森サンハ、昨日拓務大臣ニ對スル質問ガアリマシタ、是ハ委員長ヲ通ジテト云フ御話デアリマシタガ、アナタガ御出席デアリマスカラ……

○山森委員 昨日拓務大臣ヘ御答辯ヲ御願シタ事柄ハ、朝鮮及ビ臺灣ニ於キマシテモ、米穀商ハ本案ノ通過ニ對シテ反對運動ヲシ

テ居ルヤウニ聞イテ居リマス、其狀況竝ニ之ニ對スル政府ノ御處置如何、殊ニ米穀商ニ於キマシテハ、多クハ内地人デアリマシガ、假ニ臺灣人及ビ朝鮮人ガ米穀商デアッタ場合ニハ、内地ノ犠牲ニナルト云フ觀念ハ、ヨリ一層大ナルモノガアルカモ知レマセヌ、斯ウ云フコトハ、聽テ全般ノ植民地ニ於ケル其人々ノ頭ニ影響スルコトモ考ヘテ見ナケレバナラヌガ、是等ニ付テノ拓務大臣ノ御所見ヲ承ッテ善後處置ノ一端ニ供シタイト云フコトノ質問ヲシタ譯デアリマヌ

○永田國務大臣 先刻モ一寸申上ゲタカト思ヒマスガ、吾々ノ所ニモ朝鮮、臺灣ノ米穀商ノ方カラ反對意見ヲ陳情シテ來テ居リマス、ソレハ比率ハ例ノ三五・四三・二二ト云フアノ比率ガ、特ニ朝鮮ナドニハ餘リニ苛酷デアルト云フ考ヘ方、ソレカラ其結果又アレガ米穀商ニ取ッテハ非常ニ苦痛デアルト云フコトハ、是ハ内地ニ於ケルト同じヤウナ意味カト思ッテ居リマス、吾々ノ方デ大體カラ觀テ居リマス、昨年ハ特ニ其事ノ爲ニ陳情ニ出テ來タリ色々ナ事ガゴザイマシタガ、朝鮮總督府ニ於テモ餘程ソレヲ心配シテ米穀自治管理法ノ事ニ付テ相當能ク説明ヲシテ居ルト申シテ居リマス、其結

果大體ニ於テ米穀自治管理法ノ趣意ノアル所ヲ諒解シタ者モ少カラズアル、且ツ彼地ニハ産業組合ノ發達ガマダ十分デナイ爲ニ、米穀商ガ産業組合ノ爲ニ、困ルト云、タヤウナ事情ガ比較的少イ爲ニ、色々ノ苦情ガアルケレドモ、先ヅソレ程烈シクナラヌデ、或程度マデ已ムヲ得ナイ處置デアルト諒解シテ居ルモノガ多クナッテ來テ居ル、斯ウ云フ風ニ聞イテ居ルノデアリマス

○東委員長 ソレデハ是デ休憩シテ、午後一時カラ開會致シマス

午前十一時五十分休憩

午後一時三十五分開議

○東委員長 午前ニ引續イテ開會致シマス、今度ノ順序ハ野中君ノ順序デアリマスガ、野中君ハ都合ニ依ッテ渡邊君ニ順位ヲ御譲リニナリマシタ、渡邊君ハ是デ三回ノ發議ニナリマスルガ、大體民政黨ノ各位モサウ澤山ノ質問者ノ通告ガアリマセヌノデ、渡邊君ニ更ニ許スコトニ致シマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○渡邊委員 質問ニ入りマス前ニ、最初御願シタ材料ヲマダ戴イテナイノデアリマシガ、モウ今頃デハ殆ド間ニ合ハナイ、或ハ又材料ニ依ッテ御尋スルコトガアルカモ知

レマセヌガ、如何デセウカ

○島田國務大臣 材料ノコトニ付テ申上ゲテ置キマスガ、材料ハ出來ルダケ急イデ御渡シノ出來ルモノハ御渡シヲシテ居リマス、ソレカラ出來兼ネルモノハ出來ルダケト云フヤウニヤッテ居リマスガ、尙ホ實際ノ物ヲ御示シスレバ宜イト云フヤウナモノニ付テハ、或ハ質問ノ御都合デ、アナタカラ其コトヲ御話下サッテ、物ヲ御覽下サッタ方ガ參考ニナッテ宜イト云フヤウナモノガアレバ、サウ云フ風ニ一ツ便宜御願シタイ、他ノ委員ノ方ニモサウ云フコトガアリマシタラ、其材料ハ皆御參考ニナルモノデアリマスケレドモ、特ニ質問ノ都合上、質問者自身ガ見タイト云フヤウナモノモアッテ、ソレガ調へ兼ネルヤウナモノガアリマスレバ、サウ云フ便宜ノ方法ヲ御執リ下サレバ大變結構ダと思ヒマス、差上ゲラレルモノハ皆急イデヤルヤウニ致シテ居リマス

○渡邊委員 今ノ材料ハ私自身ノ見タイモノモアリマス、大體私ハ質問ノ梗概的ノ所ニ止メテ置キマスカラ、尙ホ精密ニ之ヲ研究シタリ、或ハ意見ヲ述べルト云フ場合ニ必要ナ資料ガアノ中ニアリマス、他ノ委員カラ又御尋ニナル場合ノ資料ニモナルト思ヒマスカラ、成べく早く御出シヲ願ヒタイ

先回二回バカリ質問ヲ致シマシタ、最後

ニハ外地米統制ノ件ニ付テ其效果ノコトヲ申上ゲ、移入制限モ是モムズカシイ、數量制限、是モ試ミタガ中々ムヅカシイ、ソレデ貯藏ノ方法ヲ執ルコトニナッタ、併シ是ガ果シテ有效デアルカドウカト云フ質問ヲシテ居ル途中デ、實ハ農林大臣ガ居ラレナクナリマシタノデ、他ノ順位ニ質問ガ變リマシタガ、此邊カラ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、尙ホ先程——今御見エニナリマセヌガ、三宅君カラ色々御發言ガアリマシタ、ソレニ關聯シテモ申上ゲタイ點ガアリマスケレドモ、ソレ等ハ聽テ自分ノ申上ゲタイコトヲ御話シテ居ル内ニ出テ來ルト思ヒマスカラ、サウ云フ點ニ關聯シテ申上ゲタイト思ヒマス、先般ノ質問ノ最後ニハ、臺灣米ノ貯藏ガ困難デアルト云フコトデ、朝鮮ハサテ措キ臺灣方面ニ於テハ、此點デ外地米統制ノ目的ヲ此法案デ達スルコトガ困難デハナイカト云フコトヲ御尋シタノデアリマス、拓務大臣ノ御答辯デハ、ヤハリ臺灣米ノ貯藏ハ困難デアルカノヤウニ私ハ聽取リマシタ、朝鮮米ノ方ハ在來モ貯藏モ致シテ居ルシ、短期貯藏等ヲシテ居ラレルノデアリマス、今度ノ自治管理法案デ之ヲ貯藏スルト云フコトデ、而モ割合ガ四十三ト云

フコトデ、相當ニ内地ヘ一舉ニ入ッテ來ル分量ヲ抑ヘルコトガ出來レバ、幾分其點ダケデモ内地ノ米價其他ニ都合ノ好イ點ガアルドラウト思ヒマスガ、斯ウ云ッテ貯藏主義、即チ自治管理法ヲ發動シマスル時ノ米ノ値段ト云フモノハ、昨日デアリマシタカ御尋致シマシタヤウニ、最低價格以上一割、其範圍内ノ所ヘ米價ガ來ナイト自治管理法案モ發動シナイト云フコトデアリマスカラ、サウ云フ値段ノ時ニ朝鮮デ貯藏ヲ命ズル、所ガ總テ貯藏ヲ命ゼラレ、バ、九百萬石内地ヘ參ッタ米ガ、假ニ百萬石朝鮮デ抑ヘラレルトスレバ、八百萬石シカ來ナイト云フ風ニ、一時ハ數量調節ガ出來タヤウナ結果ニナリマシタ所デ、内地ハヤハリ食ベルダケノ米ハ食ベルノデアリマスカラソレガ少シ足りナイ時分ニ市場ニ現ハレテ來レバ、隨テ幾ラカ米價ガ割高ニナル、其點カラシテ米價ハ少シ上ルカモ知レマセヌガ、結局少シ遅レテ朝鮮ニ貯藏シタ米モ解除サレル、即チ一割以上ノ値上リニナレバ解除サレルト云フコトニナッテ、總テ内地ヘ入ッテ來ルト云フコトニナルト思ヒマスカラ、内地ヘ朝鮮米ガ來ル時機ヲ少シ緩ヤカニスルト云フコトハ言ヘルカモ知レマセヌ、而モ朝鮮米ガ入ッテ來ルノハ一舉ニシテ全部

ト云フノデハナイ、從來月別平均ノ輸出等モ獎勵シテ居リマスルシ、サウデナクテモヤハリ月々出廻期ニハ殺到致シマスルガ、其後モ月々入ッテ來ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ意味デ貯藏致シマシテモ、特ニ非常ニ内地ヘ朝鮮米ガ來ル分量ヲ制限スルト云フヤウナコトニハ、ソレ程勞ノ多ク亦費用ガ多ク掛ル割ニ有效デナイノデハナイカト云フ疑ヲ持ツノデアリマスガ、其點ハ如何デセウカ

○島田國務大臣 詳シイコトハ政府委員カラ申上ゲマスガ、只今渡邊君ノ御話ノヤウニ言ヘバ言ヘナイコトモナイノデアリマスガ、結局是ハ見方ニ依ッテノ程度問題ニ歸著スルノデハナイカ、尙ホ詳シイコトハ政府委員カラ説明致シマス

○荷見政府委員 申上ゲルマデモナイト考ヘマスガ、大體朝鮮臺灣カラハ年々澤山米ガ入ッテ來ルヤウニナル傾向ハゴザイマスケレドモ、ソレニシテモ例ヘバ朝鮮ニ於キマシテ產額ガ少イト申シマスヤウナ時ニハ、内地ニ入ッテ參リマス米モ隨テ減リマスシ、多イ時ニハ隨テ餘計ニナルト云フコトハ是ハ統計ノ數字最近數箇年間ヲ御覽ニナリマシテモ明ニ分ルノデアリマス、左様ナ次第デゴザイマスカラ過剩米ガアルト認

メマス時ニ一定數量ヲ朝鮮デ其中割當テラレタ部分ダケヲ貯藏スルト云フコトニナリマシテ、ソレダケ販賣米ガ減少スルノデアリマス、隨テ内地ニ來ル米モ少クナルト云フコトハ當然推測サレルドラウト思ヒマス、尤モ唯經濟上ノ理由デソレガ正確ニ參リマスルカドウカト云フコトハ、其時ノ事情ニ依ッテモ幾ラカ違ヒハアリマセウガ、太勢トシテハ貯藏シタマケハ内地ヘ來ル米ガ少クナルト云フコトニナラウト思ヒマス、手取早イ話ガ、本年朝鮮ノ方デハ二月末マデヲ期限トシテ米ノ貯藏ヲサセマシタ、ソレマデハ内地ヘ入ッテ參ル米ガ前年ニ比ベテズツト減ッテ居リマス、併シ其後ノ狀況ヲ見マス、段々累年ノ比較ガ前年度ニ近クナッテ參ッテ、段々二月末時分マデハ増加シテ居ルト云フヤウナ趨勢ニナッテ居ルノモ手近ノ例ニアリマスヤウナ譯デ、大體貯藏致シマスレバソレニ應ジタ分量ハ減ルト考ヘマス

○渡邊委員 貯藏スレバ貯藏サレタダケノ米ハ勿論内地ヘ參リマセヌガ、ソレハ一時抑ヘラレルダケデ、其代リ其間ハ内地ノ需要ニ對シテ朝鮮ノ他ノ產米ガ出廻ッテ來ルト思フノデアリマスガ、今私ノ御聞キシタルハ價格ノ點カラ御聞キシタノデ、假ニ最

低價格ガ二十五圓ト云フ所デ貯藏シタトスレバ、此一割高ハ二十七圓五十錢、ソレ以上ニナレバ解除サレルノデアリマスカラ、其程度ノ動キデアレバ總テ内地ヘ結局ハ入ッテ來ルト思フ、ソレカラ又解除サレズ、或ハ相當期間後ニ解除サレ、若クハ翌年度ニ持越サレ、バ、結局政府ガ買ハレル、又翌年ニ持越サレテ解除サレバ政府ガ買ハレル、ドッチニシテモサウ云フ米ハ總テハ内地ヘ入ッテ來テ消費サレルドラウト思フ、デ是ハ一時抑ヘルダケデ結局同ジヤウナ結果ニナリハシナイカト思ヒマスシ、最初ニ申シマシタヤウニ、朝鮮カラ九百萬石ノ米ヲ取ッテ内地人ガ喰ベテ居ッタト云フコトデアリ、臺灣カラ五百萬石取ッテ居ッタト云フコトデアレバ、内地ノ經濟事情ガ變ラヌ限り、ソレダケノ米ハ欲シイノデスカラ、ヤハリソレダケハ流レテ來ナケレバナラヌ、ソコデソレダケノ米ガ來ナケレバ價格ガ上ガリマスカラ、直グ又後カラ之ヲ解除サレテ出テ來ルコトニナリマスカラ、此貯藏ト云フコトダケデハ數量的ノ調節ト云フコトハ出來ナイモノダト私共ハ見テ居ルノデアリマス、又内地ヘ入ル外地米ノ數量ヲ減少セシメルト云フコトハ勿論出來ナイヤウニ考ヘル、ノミナラズ動モスレバ一方ニ於テハ貯

藏スルガ、内地ニハヤハリ購入ノ要求ガアルト云フコトデアレバ、又ソレガ増産ヲ刺戟スルヤウナコトモアリハシナイカ、サウ云フ疑モ私ハ持ツノデアリマシテ、之ヲ一寸御同致シマス

○荷見政府委員 ソレハ米價ガズト最高價格ノ近ク迄行ケバ宜シト云フ立前ヲ吾吾ハ執ッテ居ルノデハゴザイマセヌノデ、現行統制法ノ立前ニ於キマシテモ、最高最低ノ値幅ノ範圍内デヤッテ行ク方宜シイ、殊ニ少シ不足デアルト、最高價格ヘクッ付ケテシマフトカ、或ハ少シ豐作デアルト最低價格ニ付ケテシマッテ、サウ云フ時ニハ政府ガドン／＼買フ、買フノモ過剰分量ト云フヤウナコトデハナク、必要以上ノ買入ヲスルト云フヤウナ場合モナイト云フコトハ期待スルコトガ出来マセヌノデ、サウ云フコトニナッテ買入レタ米ハ、今度ハ最高價格ニナル迄ハ價格調節ノ爲ニハ賣却スルコトガ出来ナイコトニ統制法ガナッテ居リマスノデ、ソレデハ甚ダ圓滑ヲ缺ク、ノミナラズソコ迄米價ガ上ルト云フコトハ、中々困難ナコトデアリマスカラ、ソコデ政府デ買入レタ米ハ、イツ迄モ貯藏サレテ居ッテ、國庫ノ負擔モ多クナリ、消費者ニ對シテモソレ迄ハ賣出セナイノデアリマスカラ窮窟

ニナル、斯ウ云フ點ガ緩和サレルト云フコトガ自治管理ノ特徵ダト云フコトハ、前々カラ繰返シテ御話ニナッテ居ルコトと思フノデアリマス、ソコデ非常ニ豐作ナ年ニモ、此自治管理案ニ依リマシテ、内地朝鮮臺灣ヲ通ジテ一定數量ヲ貯藏スル、之ヲ市場ニ賣出サナイコトニスルコトニ依ッテ、米穀商人等ガ投資リヲスル傾向ノアル出廻期ニ於テ、價格ヲ相當維持シテ行ク、其中米モ段々減ッテ行クシ、又價格モ上ッテ行ク、ソコデ最高價格マデ賣レナイノト違ッテ、最低價格ヨリ一割位上ッタ際ニモウ解除シテモ大丈夫デアルト云フヤウナ見据エガ付キマスナレバ、一定割合ヅ、解除シテ行ク、サウ云フコトニナルト最高價格マデ出ナイ中ニ貯藏サレタ米ガ市場ニ出廻ルノデアリマスカラ、消費者ノ側デモ最高價格マデ行クマデニ、供給ガ緩和サレテ利益デアリマスシ、又統制法ガ改正サレシタ場合ニ較ベテ、國庫ノ負擔ト云フコトモ輕減サレマスシ、農民ト致シマシテハ、最低價格ニ依ッテ政府ニ賣込シマッテ、米價ガ値上ッタ時ニハ大キナ地主トカ云フヤウナ者ガ持ッテ居ル米ダケガ賣レテ利益ニナルノト違ッテ、貯藏シタ米ヲ賣ッテ小農モ利益ガアル、政府ハ賣ッテシマッタトスレバ、モウ値ガ上ッタ

時ニハ自分ノ米ガ無イカラ默ッテ見テ居ナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ詰リ統制法ノ弱點トシテ見ラレマス點ヲ補強シヨウ、而シテ其政策ヲ内地朝鮮臺灣ニ互ッテ一般的ニ普遍的ニ實行シテ行クト云フノガ此立前デアリマスノデ、或ハ御質問ノ趣旨トハ幾ラカ違フノカモ知レマセヌガ、一割程度上ッタ其場合ニ、米ノ供給量ガ減ルナラバ、是ハ差支ナイトシテ見ル外ナイノデヤナカラウカ、斯ウ考ヘテ居ルノデス

○渡邊委員 只今ノ御答ハ私ノ御尋シテ居ルコトト全然見當ガ違フノデアリマス、統制法ト此自治管理案ノ比較シテ居ルノデヤナイノデアリマシテ、唯自治管理案ヲ茲ニ行ッタシテ、サウシテ其目的ノ一ツガ外地米ノ統制ト云フコトニアル、ソレガ今此法律デハ貯藏ト云フコトガ唯一ノ方法デアル、ソレデ目的ヲ達シヨウトスル、所ガ臺灣米ハ貯藏困難ノヤウニ思フ、朝鮮デハ朝鮮米ハ折角貯藏シテモ自治管理法ガ發動スル時ハ最低價格、若クハソレヨリ一割位上ナ所ダカラ、假リニ若シ一時貯藏シテモ、其貯藏ニ依ッテ内地ニ來ル米ノ分量ハ少クナッテ、サウシテ所謂出廻期ニ價格ガ低クナルト云フコトヲ修正シテ、多少高クナルト云フ目的ヲ達スレバ、總デハ朝鮮ノ米モ解

除サレテ出テ來ル、サウシテ内地ノ米モ同時ニ解除サレテ出テ來ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、サウスレバ内外地共同ジヤウナ待遇ニナッテ解除サレテ出テ來ル、内地ダケ解除サレ、朝鮮ダケ解除サレナイト云フノデナイノダカラ、全ク同ジヤウナ取扱ヲ受ケテ、結局外地米統制ト云フコトニ付テモ目的ハ極ク僅カ達スルカ達シナイカ、事實ハ私ハ達シナイヤウニ思フ、結局此外地ニ貯藏サレタ米ハ、内地ニ入ッテ來ルモノト思フノデアリマスカラ、ソコデ此法ガ出来マスル時ニ、色々昨年邊リ非難ヲサレタリシタ場合モ、外地米ノ統制ト云フコトハ困難ナ問題トナッテ居ッタノニ、此朝鮮四十三、内地三十五、臺灣二十二ト云フヤウナ割合デ貯藏ガ出来ルト云フト、今度ハ鬼ノ首デモ取ッタヤウニ思ッテ、此法ヲ通過サセタイト云フ考ヘモアルヤウデアリマス、サウ見ルトスレバ、而モ其場合ニハ實ハ外地ダケ貯藏サセタイガ、ソレデハ差別待遇ニナルカラ、オ付合ニ内地モ斯ウヤッテ府縣ヘ割當テ、各町村ニ割當テテ貯藏サセルノダ、若シサウ云フ風ナ逆ナ意味デ、外来統制ノ目的デ内地ノ農民ニモ貯藏サセルト云フヤウナコトデアルトスレバ、今申シタヤウニ、外地米ノ内地ヘ入ッテ來ル數

量ヲ減スト云フコトニ付テハ、殆ド私カラ見レバ效果ナクシテ、サウシテ内地ノ各府縣ヘ割當テ、町村ニ割當ル、ソレニハ費用モ掛ラウシ、非常ニ煩雜ナ手數モ要ラウシ、罰則モ拵ヘテ各農民ヲ煩ハスノデアリマスカラ、一言ニシテ言ヘバ、斯様な些少ナ外米統制ノ效果ニ對シテ、非常ニ大キナ犧牲ヲ拂ハレルト云フコトハ如何デアルカト思フノデアリマスガ、其點ニ付キマシテ一寸伺ヒマス

○島田國務大臣 私ハ先刻申上ゲマシタヤウニ、渡邊君ノヤウナ論法ヲ以テ御話ニナレバ、サウ云フ結論ニナラザルヲ得ナイト思フノデスガ、政府ノ説明シテ居ルコト、又吾々ノ考ヘテ居リマスル所カラ申シマスト、即チ結局ハ程度論ダト斯ウ云フコトヲ申シマシタガ、ソレハ相當效果ガアル、斯ウ云フ風ニ吾々ハ見テ居ルノデス、其處ニナリマス、數字ヲ以テハ、キリト其點ヲドツトモ言ヒ表スコトハ出來ナイノデアリマスカラ、是ハドウモ所謂見解ノ相違ト云フコトニ結局ナルノデアリマス、是ハマダ御質問ハ此場合ナイノデスケレドモ、財政上ノ負擔ヲ輕カラシメルト云フヤウナ事柄、ソレガヤハリ議論ヲスレバ程度問題デ、本會議デモ私ハ一寸申シタノデアリマ

スガ、サウ云フコトニナルノデアリマス、先キノコトデアルカラシテ、最悪ノ場合ヲ皆集メテ言ヘバ、效果ナキニアラズヤ、斯ウ云フコトニナル、併シ最悪ノ場合バカリガ何時デモ續イテ居ル譯デハナイ、其他ノ條件ガ交リ、殊ニ今ノ外地トノ關係ニ付テ申シマスト、是ハ平年作、若クハ豐作ノ場合ヲ考ヘルト云フト、忽チ非常ナ效果ガ其處ニ現レテ來ル、貯藏デアルカラシテ、貯藏スルケレドモ、結局出ルデヤナイカト言ヘバ其通りナノデスケレドモ、是ハ永久ニ貯藏スルト云フ意味デハナイ、價格及ビ量ノ調節ノ爲ニ自治的ニ貯藏スル、政府ガ買上ゲルコトノ代リニ自治的ニ管理スルト云フコトノ法ヲ設ケタノデ、其事自體ガ程度問題カラ始メテ居ルノデアリマスカラシテ、此點ヲ能ク——マア御諒解ハ出來ヌカモ知レヌガ、双方デ結局程度論ト云フコトニ歸著シナケレバナラス、其以上申シマスト、是ハ見解ノ相違ト云フ言葉ヲ以テ御答ヲセザルヲ得ナイコトニナルノデアリマス、是ハ實行ヲシテ見レバ、今朝程三宅君ノ御質問中ニアリマシタヤウニ、統制法ト云フモノモ隨分攻撃非難ガアリマシタケレドモ、今日ニナッテ統制法實施以來ノ長イ年月カラ考ヘテ其功罪ヲ論ジテ見ルト云フト、統制

法ト云フモノガ相當效果ガアツタ、其統制法ノ效果ガアツタモノニ對シテ更ニ足ラザル所ヲ補ヒ、是ガ補強ヲスルト云フ意味デ拵ヘル此制度ニ付テハ、其モノ、目的カラ言ヘバ相當效果ノアルト云フコトノ確信ヲ吾ハ持つテ居ルノデアリマス、唯今アナタノ御話ニナルヤウナ風ニ段々追ヒ詰メテ行ケバ、ソレハ大シタ效能ハナイデハナイカ、斯ウ云フコトニナルノデス、ソレハ非難ヲスル方カラ言ヘバ、サウ云フコトニナレバ利益ヲ最低限度ニ論ジ詰メル方法ガアルシ、效果ノアル方カラ言ヘバ最高限度ニ強調スルコトモ出來ルノデアルカラ、ソレハ見解ノ相違ト云コトニ歸著スル、所謂詮ジ詰メレバ水掛論ニナルノデハナカラウカ、ソコデ政府トシテハ此案ヲ出シテ實行スル以上ハ、政府ノ責任ニ於テ之ヲヤル、斯ウ云フコトニナッテ效果擧ラザル場合ニハ、政府當局者ハ之ニ對シテ責任ヲ執ル、斯ウ云フコトデ行クノ他ハナイノデハナカラウカト考ヘテ居リマス

○渡邊委員 只今農林大臣ノ御答デゴザイマスガ、私ハマダ統制法全體ノ價值ニ付テハ言及シテ居リマセヌノデ、順序ヲ追ッテ此規定ノ效果ニ對シテ此規定ノ運用サレタ場合ニ、ドウ云フヤウナ效果ガアルカト云フ

コトヲ質シテ居ルノデアリマス、今外地米ノ統制ヲ此法律デヤツタ場合ニドウ云フコトニナルカト云フコトヲ具體的ニ考ヘテ居ル譯デ、決シテ是ハ限界ノ場合ヲ考ヘルノデハナイノデアリマス、此法律ガ實施サレタ場合ノ最モ一般的ノ質問デアルコトハ御諒承願ヘルガラウト思ヒマス、尙ホ斯ウ云フコトヲ餘リ諄々ト言フト御氣ニ障ルカモ知レマセヌケレドモ、序デアリマスカラ今ノ問題ニ付テ一寸申上ゲテ見マスルト、サウヤッテ一時内外地ニ今ノヤウナ割合デ貯藏ヲシマス、假ニ價格ハ上ツタトシテ、解除ノ出來得ル立場ニナッたらドウ云フ順序デ解除サレルカト云フコトニナレバ、是ハ早く賣リタイト云フ所有者ノ希望ト、又商人トカ產業組合モアリマセウガ、其配給業者ノ方デ、各地ノ米穀ノ貯藏狀況或ハ需給狀況等ヲ見テ、價額トカ其他二三ノ出合工合ヲ見テ適宜ナ所ニ動イテ行クガラウト思フ、其場合ニ或ハ内地ノ方ガ先ニ解除サレテ動イテ行クカ、或ハ朝鮮臺灣ノ米ガ先ニ動イテ行クカ、是ハ全ク分リマセヌケレドモ、同ジヤウナ立場デ貯藏サレタモノガ動き出スト思フ、假ニ朝鮮ニ餘計ノ分量ノ貯藏ヲ命ゼラレタ所デ、價格ノ動きニ依ッテモウ解除シテモ宜イト云フ時期ニナレバ、ドン／＼朝鮮ノ

方カラ内地へ先ニ來ルカモ分ラヌ、斯ウ云フ徑路ヲ取ルモノト私ハ思フ、結局ノ結論ニ於テハ、ヤハリ日本人皆内地七千萬人ガ、内地米ハ勿論朝鮮米臺灣米モ食ベテ居リマスカラ、ソレヲ適宜ニ需要者ニ配給スル役目ハ大部分ハ商人ガスルノデアリマスカラ、サウ云フ工合デ決シテ鮮米ダケヲ抑ヘテ置クト云フ工合ニハ決シテ私共ハ參ル

間ハ十分アツタと思ヒマスガ、簡單ニ要領ダケヲ……

○荷見政府委員 各府縣ニ割當テマスル際ニハ各府縣ノ管外輸出米、販賣米、生産米ト云フヤウナモノ、數量ヲ標準ト致シマシテ割當テル譯デアリマスカラ、販賣米ノ多イ所ニハ多ク、少イ所ニハ少クスルト云フコトニナルノデ、其均衡ハ得ルト思ヒマスカ、販賣米ヲ有スル町村……

○渡邊委員 總テノ府縣、總テノ町村……

○荷見政府委員 總テノ町村ト申シマスカ、販賣米ヲ有スル町村……

○渡邊委員 其資金ノ餘裕ハドウナッテ居リマスカ、ソレデハ八億五千萬圓ノ限度カラ三億圓勅令ヲ以テ出シ得ルコトニナッテ居ルガ、實際増額ハマダシテナイサウデアリマス、ソレダケ昭和八年ノヤウナ大量ノ買入ガナカタナラバ使フコトハアルマイト思フガ、今日餘裕ハドウデアリマスカ

○渡邊委員 ソレヲ御尋ネシテ居ルト非常ニ時間ガ掛リマスカラ、是ハ他ノ委員ニ讓リタイト思ヒマス、實行上非常ナ疑念ヲ持ッテ居ル、無駄ナ費用ヲ私ハ掛ケルコトニナッテ來ルト思ヒマス、ソコデ財政上ノ點ニ付テモウ少シ御尋シテ見タイト思ヒマス、之ニ付テハマダ材料ハ頂戴シテナイガ、出來テ居リマセヌカ

○荷見政府委員 ソレニ對シテハ數字ハ差上ゲテ居リマセヌ

○渡邊委員 三年間ニハ八億圓殖エタ、九年ハ十一億五千萬圓……

○荷見政府委員 今日午前中御手許ニ差上ゲマシタ米穀需給調節特別會計現況概算(昭和十一年二月二十九日現在)ト云フニ

○渡邊委員 サウデスカ、今ノ數字ニ間違アリマセヌネ

○荷見政府委員 間違アリマセヌ

○渡邊委員 三年間ニハ八億圓殖エタ、九年ハ十一億五千萬圓……

○荷見政府委員 今日午前中御手許ニ差上ゲマシタ米穀需給調節特別會計現況概算(昭和十一年二月二十九日現在)ト云フニ

○渡邊委員 三年間ニハ八億圓殖エタ、九年ハ十一億五千萬圓……

○荷見政府委員 間違アリマセヌ

○渡邊委員 三年間ニハ八億圓殖エタ、九年ハ十一億五千萬圓……

○荷見政府委員 今日午前中御手許ニ差上ゲマシタ米穀需給調節特別會計現況概算(昭和十一年二月二十九日現在)ト云フニ

○渡邊委員 三年間ニハ八億圓殖エタ、九年ハ十一億五千萬圓……

○荷見政府委員 間違アリマセヌ

○渡邊委員 三年間ニハ八億圓殖エタ、九年ハ十一億五千萬圓……

○荷見政府委員 今日午前中御手許ニ差上ゲマシタ米穀需給調節特別會計現況概算(昭和十一年二月二十九日現在)ト云フニ

茲ニ總計ガ六百六十四萬四千石餘トナッテ居リマス、ソレデ内地米ノ總計ハ六百三十三萬石バカリデゴザイマシテ、其他ニ白米ガゴザイマス、ソレカラアトハ朝鮮ノ米臺灣ノ米ガゴザイマスコトニナッテ居リマス

○渡邊委員 約ソノ評價格ハドノ位ニナリマスカ

○荷見政府委員 此評價ハ毎年三月末ノ現在ヲ以テ評價致スコトニナッテ居リマシテ、是ハ各地方ニアリマスモノヲ全部評價致シマスノデ、途中ニハ評價ハ致シテ居リマセヌ、ソレカラ評價致シマスコトハ、價格ノ變動デ極メテムカシイノデアリマシテ、毎會計年度マデニ評價致スコトニナッテ居リマスガ、ソレハマダ今年度ノ分ト致シマシテハ計算ガ出來テ居リマセヌ

○高橋委員 前年度ノ分ハ如何デスカ

○荷見政府委員 前年度ノ分ハ恰度千萬石バカリデ、又數量ガ違ヒマスノデ申シ兼ねマスガ、此米穀需給調節特別會計ノ現況ニアリマシタノハ、米穀價額ノ所ニアリマス一億六千八百六十八萬一千圓ト云フコトニナッテ居リマスガ、此後増加致シマシタ分ガ、此四月末現在デハ若干含マレテ居リマスカラ、ソレヨリハ餘分ニナッテ居ルコトニ御承知ヲ願ヒマス

○渡邊委員 普通吾々民間ノ事業ニ就テナラ、採算資本若クハ負債ト云フヤウナモノヲ簡單ニ見ラレマスガ、斯ウ云フ大キナ會計ノ政府ノモノハ中々分リニクイノデ、非常ニ吾々不審ニ思ッテ居リマスガ、大體最近ノ損失位ハ、概數デモ分リサウナモノデアルト思フノデアリマスガ、最モ最近ノ總損失額ヲ御知ラセ願ヒタイ

○荷見政府委員 是ハ只今申上ゲテ居リマス特別會計ノ現況ノ概算トシテ差上ゲテアリマス分ニ書イテゴザイマスノデ、損失金ノ總額二億五千九百五十九萬一千圓、是ハ概算デゴザイマスガ、此表ノ中ニ入ッテ居リマス

○渡邊委員 ソレハ大體吾々ノ豫テ聞イテ居ッタ二億六千萬圓ト同ジヤウニ思ヒマス、此位ノ高ヲ損シタリ、或ハ其處分ヲ無理スルト云フコトハ、此法案ヲ審議スル時ニハ非常ニ邪魔ニナリマスカラ、此席デハサウ云フコトハ申シマセヌガ、兎ニ角米穀政策ヲ始終アレヤヤト行ク時分ニ、非常ナ損失ヲスル、殊ニ政府ガ一定ノ價格ヲ机上デ御決メニナッテ、ソレヲ維持シヨウト云フ爲ニハ、非常ナ財政上ノ犧牲ガ要ルト云フコトハ私共認メラレルト思フノデアリマスカラ、唯サウ云フ意味デ御尋シタ次第デ

アリマス、實ハ嘗テ後藤文夫氏ガ農林大臣ニナラレマシテ、議會デ專賣トカ色々ナ議論ガ出マシタ時ニ、私ハ此問題ニ付テ手紙ヲ出シマシテ、直ニ會ヒタイト云フノデ、長時間ニ互ッテ會ッタコトガアリマシタガ、色々意見ヲ交換シタ上ニ、色々強制的ノ統制ト云フヤウナ說ノアルコトモ聽キマシタ、其場合ニ私共ハ斯ウ申シテ置イタノデアリマス、經濟上ノ自然ノ原則ニ反抗シテ、政府ノ權力ヲ以テ此價格ヲ設ケルトカ、其他色々コトヲサレルト、其罪ハ丁度天ニ向ッテ唾ヲ吐イタヤウナモノデ、自分ノ顔ニ來ル、是ガ政府ノ顔ニ來テ其責任問題ハ是ハ枝葉ノ問題デアルガ、ソレハ聽テハ國民ノ負擔ニナルノデアルカラ、餘程此點ハ考慮スベキデアルト云フヤウナコトヲ進言シタコトガアリマスガ、私共今ニ至ッテ今後益々米穀ニ對シテ政府ガ種々ノ政策ヲ用ヒラレルト、サウ云フコトモ重ナッテ來ルノデハナイカト思ッテ居リマス、是等ノ點ニ付キマシテハ先程三宅氏ノ言ハレタコトト私共大分觀方ガ違ッテ居リマスノデ、モウ少シ御尋シタ上デ、其點ニ多少觸レ、根本的ノ私ノ考方ヲ申上ゲテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、ソレカラ此自治管理法案ヲ統制法ニ追加シテ之ヲ制定スル其一二ノ理由

ハ、外地米統制ニ付テ財政上ノ負擔ノ輕減ト云フコトニナルノデアリマス、是モケチヲ附ケルト言ハレルト困ルノデアリマスガ、唯一ツ御尋シテ置クダケデスガ、現在統制法ノ儘デアッテモ先日私ノ申シタヤウニ少シハ米價ノ關係ガ高イ所ニアリ、又三宅氏モ言ハレタヤウニ——各方面デ言ハレテ居ルヤウニ、價格ガ下ガルト殊ニ統制法ニ依ッテ買付ノ要求ガ強クナリ、政府買上ノ希望ガ殺倒スルト云フヤウナコトハ一寸想像サレナイト思フノデアリマス、是ハ又農林大臣カラ言ハレルト、水掛論ト仰シヤルカモ知レマセヌガ、サウ云フヤウニ感ゼラレルノデアリマス、サウスレバ財政上ノ負擔、即チ監督シテモ又資金ガ出テ行ク、是ハ財政上ノ負擔ガ貽ルガ、サウ云フ機會ヲ作ルト云フコトモ目前ニハ先ヅナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレル、寧ロ自治管理法案ヲ今實行サレマシテ、サウシテ始終倉庫ノ設備トカ色々外地内地ニ互ッテ致サレルト、私ノ觀マス所デハドウモ外地米ノ統制ニ付テモ大シタ效果ガナイヤウデ、内地ノ混亂ハ非常ナモノデ、ノミナラズ目前ハ統制法案ガ要ラヌガ、自治管理法ヲ實行スルコトニ依ッテ統制シタ米ニ對シテ資金ヲ貸シタリ、或ハ種々倉庫ノ費用ヲ

掛ケルトカ云フコトデ、目前ニハ財政上ノ負擔ハ新ニ起ルノデハナイカ知ラヌト思フ、唯突然ノ大豐作ガアッテ、統制法デ買ハネバナラヌト云フヤウナ架空ノ危險ダケハ避ケラレマスガ、現實ノ狀況トシテハ、目前ノ財政上ノ負擔防止ト云フコトニハ先ヅナラナイト斯ウ自分ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付テ……

○島田國務大臣 是ハ先刻先ニ御答シタヤウナ形ニナリマシタガ、先刻申上ゲタヤウナ次第デ、又本議場ニ於テモ申上ゲマシタ通りニ、自治的ニ貯藏管理ヲ致サセマス、此制度ガ出來ナイ場合ヲ考ヘマス、サウ云フ場合ノ米ハ皆政府ガ買上ゲテシマハナケレバナラス、是ガ自治的管理ニ依ッテ其一部分——或ハ政府トシテハ大部分ダト考ヘテ居リマスガ、其部分ガ自治的ニ貯藏セラレテ居ルト云フコトニナリマス、其貯藏セラレル部分ダケガ政府ハ買上ノ爲ニ資金ヲ支出スルノ必要ガナクナル、但シ貯藏シタモノニ對シテハ、保管料デアルトカ、金利デアルトカ、其他ノコトヲヤラナケレバナラス、サウ云フヤウナ出費ニ付テハ、ソレハ變リハナイト致シマシテモ、政府ノ此特別會計ノ資金ノ支出ノ點ニ於テハソレハ少クトモ助カル、斯ウ云フヤウナ見地カ

ラ最惡ノ場合ヲ想像致シマシテモ、現在ノモノヨリ惡クナル、斯ウ云フコトハ出テ來ナイ、事情ノ變化ヲ考ヘマス、財政上計數ニ現ハシテ申上ゲルコトハ將來ノコトデアリマスカラ出來兼ネマスケレドモ、場合ヲ想像シテ色々ニ計算ヲシテ見マス、相當ニハ財政上ニ從來既ニ生ジテ居ル二億幾千萬圓ト云フヤウナ損害ヲ眼中ニ置イテ言ヘバ、其位ナ助カリハ何デモナイト云フ議論ハ立ツ、立ツケレドモ是カラ先ノ問題トシテ考ヘマス、相當ニハ財政上ノ負擔ヲ輕減スルノ結果ヲ招來スルモノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、但シ其邊ニ付テノ計算ノ仕方等ニ付テハ、ヤハリ過剩米ガドレダケアッテ、サウシテソレガドレダケ自治的ノ管理ガセラレルモノデアアルカト云フ數字ヲ皆豫想シテ計算スルコトニナリマスカラ、其計算ノ仕方ニ付テハ前提ヲ置イテ、斯ウ云フ場合ニハ斯クノ程度ニ

財政上ノ便宜ナリ利益ガアルト云フヤウナ意味ノ御答シカ出來ヌダラウト思ヒマスガ、財政上ノ負擔ヲ過重スルト云フ結果ニハ絶對ニナラス、是ダケノコトハ申上ゲラレル、其範圍内ニ於テ相當財政上ノ助カリニナルト云フコトヲ申上ゲテ居ル譯デアリマス、是ハ大藏當局ト致シマシテモ本會議

ノ議場ニ於テ一應大藏大臣カラ其大樣ニ付テハ申シテ居リマシタカラ、御聽取下サツタコト、思ヒマス

○渡邊委員 私ガ之ヲ御尋致シマスル理由ハ、農林大臣ガ本會議ノ席上デモ、此委員會ノ席上デモ、此法律ハ先ヅ暫定的ノモノデアッテ、尙ホ根本的ノコトハ考ヘテ見ナケレバナライ、ソレニ至ルマデノ段階トシテ——段階ト云フト語弊ガ起ルカモ知レマセヌガ、其根本的ノ方法ヲ講ズルニ付テ一時ハ此方法デナイトイカヌ、斯ウ云フ風ナ意味ノコトヲ——速記録ハドウナッテ居ルカ知レマセヌガ、少クトモ何カ勿論是デハ足りナイノデ、或ハ十分ナ自信ガ持テヌト云フ風ナ御考モアルノデハナイカト思ヒマス、又例ヘバ本會議ノ席上デノ總理大臣ノ御話ハ、是ハ正直ナ所デ、マア米ノコトニ付テハ自分ハハッキリ頭ガナイ、ソレハ御尤モナコトデアリマス、拓務大臣モ、マアマアソシナコトデモヤッテ始末ヲ付ケテ置クンダナ位ノ非常ナ曖昧ナ、輕イヤウナ、是ガ宜イノダト云フ風ナ言葉デハナカッタヤウデアリマス、言葉尻ヲ擱ヘル意味デハアリマセヌガ、斯ウ云フ席デ語氣ト云フコトヲ申上ゲルコトハ不正確デアルカモ知レマセヌガ、サウ云フ風ニ私ハ聽取ッタノデ

アリマス、ソコデサウ云フコトデアリマスルト、一寸一時ノ法律ノヤウニ思ヒマス、而モソレガ外地米統制ト財政上ノ負擔ガ重クナルコトヲ防グノダト云フコトニナレバ、外地米ノ如キハ今關係アルコトヲ申シマシタガ、財政上ノ點ニ付テハ目前ニ何カ此法律デナクテハ困ルト云フヤウナコトデモナケレバ、強イテ此議會デ此法律ヲ通過シテ、外ニ故障ガナケレバ宜イノデスガ、外ニ非常ナ故障ガアルノデハナイカト思フ私共是カラソレヲ申上ゲマスルガ、結局外地米統制及ビ財政上サウ效果ガ目前ニハナイ、兎ニ角吾々效果ガナイヤウニ思フ、併シ財政上效果ガナイト云フコトニナレバ、餘程考究スベキデハナイカ、ソコデ其他ノ點ニ付テハ、何等カ農家ノ利益ニナルト云フヤウナコトガアレバ、ソレモ考ヘラレルト思ヒマスガ、是ハ餘リ言ヒ過ギテ追究的ニナルカモ知レマセヌガ、何等カ此法案ヲ通過サスコトニ依ッテ、米穀統制法ガ既ニ存在シテ居ルノデアルガ、ソレニ依ッテ最低價格ヲ保障シ、米價ヲ高く維持シテ居ル、ソレ以外ニ何カ農家ノ利益ニナルト云フコトガアルカ、御伺ヒシタイ

○島田國務大臣 私共ガ御答ノ際ニ申上ゲテ居ル、是ガ農村對策ノ一ツデアアル、斯ウ

云フ意味ニ於テ生産者ノ利益、生産者ノ立場ヲ考ヘ、無論消費者ノ立場モ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、其意味カラ其方法ヲ提案シ、又只今ノ米穀需給特別會計ノ傾向カラ言ヒマシテモ既ニ二億幾千萬ノ損害ト言ヒマスカ「フランス」ニ於テサウ云フ數字ヲ出シテ居ルト云フヤウナ場合デアリマシテ、此儘ニシテ置ケバ何處マデ行クカドウモ見透シガ付キ兼ねル、殊ニ大豐作ノ際ニ於テ、サウ云フ事情ガ非常ニ切迫シテ居ル、ソレガ爲ニ臨時立法マデモ必要トサレル、左様ナコトカラシテ統制法ニ對スル補強的ナ方法ヲ講ジナケレバナラヌノダト云フコトニ端ヲ發シテ茲ニ至、タ次第デアリマス、ソコデ特別ナル利益トカ云フコトニ付キマシテハ、財政上ノ負擔ヲ是レ以上ニ重カラシムルヤウナ事柄ニ付テ、之ヲ避ケラレル限り避ケル、斯ウ云フヤウニ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其意味ニ於テハ此財政上ノ見地カラシマシテ、此法案ハ相當效果ノアルモノ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯是マデノ需給特別會計ノ數字ノ上カラ、收支ノ計算ノ上カラ、ソレニ比較シテ大シタ效果ガアルナイト云フ議論ニナリマス、是ハ其大キナ數字カラ言ヒマス

ト、此方法ニ依ッテ直チニ過去ノ損害ヲ取返スヤウナ結果ガ直グニ生レテ來ルト云フヤウナコトハ想像致シテ居リマセヌ、又サウ云フコトハ俄ニ出來ベキコトデモナイト思フノデアリマスガ、是マデノ傾向カラ言ッテ、只今數字デ渡邊サン御自身デモ御話ニナッタヤウニ、段々々々特別會計ノ赤字ガ多クナルト云フコトニ付テ、此進行シテ行ク赤字ノ形勢ヲ防グ、斯ウ云フコトニハ慥カニ效果ガアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ是ガ農家ニ對シテ利益ガアルナイト云フコトハ、既ニ他ノ委員カラノ質問應答、又アナタトノ質問應答ニ於テモ吾々ハ其見地カラ出發シテ居ルノデアリマス、是ハ農家ニ對シテ生産者ニ對シテ相當ナ效果ノアルモノト斯ウ云フ風ニ考ヘルト同時ニ、消費者ニ對シテモ害ヲ與ヘナイ、寧ロ消費者ニ對シテモ相當ナ便宜ヲ與ヘルモノデアル、斯ウ云フ見地ニ立ッテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス

○渡邊委員 只今ノ御答辯ヲ聽キマス、ト實ハ最後ノ方デ御尋シタイト思ッテ居、タコトヲ今御聽キスル事情ガ起、タヤウニ思フノデアリマス、根本策ヲ更ニ立テルト云フコトニ付テハ、或ハソレガ立法ニ關係ノアルモノデアレバ、此冬ノ議會マデニ御出シニナル、通常議會ニ提案ナサル、或ハ之ヲ特別議會ガ濟ンデカラ直チニ何等カサウ云フ根本策ノ攷究ニ取掛ッテ、サウシテ之ヲ冬ノ議會ニ提案スルト云フ運ビマデニショウト云フ考デ居ルノデアリマス

○島田國務大臣 之ニ對シテ、私ノ申上ゲテ居ル根本策ト云フモノヲ立テ、之ヲ立案シ、之ヲ法律化スルト言ヒマスカ、サウ云フ風ニスルト云フコトハ中々サウ短日月ニ簡單ニ之ヲ御約束スルヤウナ形ニ於テハムヅカシカラウト思フノデアリマス、ソレカラ又其案ガ假ニ出來マシテモ、出來タ案ヲ實施スル——ドウ云フ案ガ出來ルカト云フコトハ別ト致シマシテ、根本ノ對案ヲ得テ、而シテ之ヲ實際ニ行フト云フコトヲ想像致シマス、ト云フト、又其實施ニ付テハ相當ナ準備手續モ要ララウト考ヘマスガ故ニ、之ヲ單ニ一時ノ便法ト云フ言葉ノ綾ヲ以テ御論ジニナルト云フコトハ、非常ニ吾々ハ御答ヲスルノニ困難ナ事情ニアルト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒ、又ソレハ渡邊君トシラモ其方ノ途ニ専門ノ方トシテ能ク御諒承下サッテ居ルコト、私ハ考ヘテ居リマス、ソレデ一時ノ便法トカ考究ト云フ言葉ニ囚ハレテ此法律ヲ短期間ニ行フナドト云フ所ニ導イテ御論ジニナラウト云フナラ

バ、ソレハ私共ノ申シテ居ルコトト大變喰違ヒガ出來ルモノデアリマスカラ、是ハ御分リ下サッテ居ルコトト思ヒマシテ其以上ハ申シマセヌ

○渡邊委員 實ハ農林大臣ノ御話ハ此議會ノ始マル前ニ一二回御懇談ヲ致シテ、其場合ニ御意見ヲ承ッタコトガアル、可ナリ重大ナ問題デアリマス、唯ソレヲ輕々シク此議會ノ席上デ申スコトハ宜クナイト思ッテ差控ヘテ置キマス、併シ此法案ガ財政上ニドウ云フ關係ガアルカト云フコトハ、目前ノ問題トシテデハナイト云フコトハ私ノ申上ゲテ居ル通りデアラウト思ヒマス、併シ今ノ如ク兎ニ角是ハ根本方策デハナイ、假ノモノデアルトシテモ、數年——一年二年ノ先ニ根本策ヲ決メテヤルト云フノデモナイト云フ御話デアレバ、ヤハリ當然吾々ノ相像スルヤウニ、是ハ米穀統制法ノ補強策トシテ實施サレルノデアリマセウ、サウスレバ二年、三年ノ後ニ大正五年ノヤウナ大買付ヲヤルヤウナコトガアルカモ知レマセヌカラ、其點ニ付テハ財政上云々ノコトハ意義ヲ成サヌカト思ヒマス、サウナルト是カラ米穀政策ノ根本ノ問題トソレカラ所謂此法ノ實施ニ依ッテ困ルト云フ產業組合ト商人ノ關係、之ニ付テハッキリ確メテ置カナケ

レバナラス、丁度米穀策ノ根本方針ニ付テハ、自分ガ自由主義ト言フタト云フノデ同僚ノ三宅君カラ何カ冷カサレマシタガ、「アダムスミス」ガドウ斯ウ言ハレマシタガ、是ハサウ云フ西洋ノ古イ學者ノ本ヲ學生時代ニ讀シタコトモゴザイマスガ、今別ニ覺エテ居ル譯デモゴザイマセス、ソコデ私ノ考ヘテ居ルノハ實際的ノ積リデ居ル、學者ノ机上論デモナイト思フノデアリマスガ、長ト申スト、是ハ根本論デアリマスカラ非常ニ長ク掛ル、先程此處デ成ベク數行ニ書イテ言フタ方ガ正確ニナルト思ッテ書イテ見マシタノデアリマスガ、何故私ガ自由的ノ傾向ノ説ヲ主張スルカト云フ根據デアリマス、別段ニ私ハ自由主義者トカ何トカ主義ト云フノハ大體嫌ナンデスガ、サウ云フ言葉ハ用ヒマセスガ、サウ云フ積リデ考ヘテ居ルノデス、ソレハ米作ノ豐凶ニ對シテ需要ヲ變化セシメ、米穀ノ過不足ヲ少ナカラシメルモノハ價格ノ變動デアアル、價格ノ變動ト云フコトハ非常ナ大切ナモノデアアルト思ヒマス、役所デサレル仕事ヨリモ此價格ノ變動ト云フモノハ非常ナ大事ナモノデアアルト云フコトヲ繰返シ申上ゲテ置キマス、此價格ノ變動ヲ人爲策ヲ以テ不自然ニ拘束スル故、需要並ニ生産ノ變化ヲ不自然ニ陷

ラシメル、需要ニ對シテハ政府ノ力デハ中ドウスウ出來ナイ、併シ生産ニ對シテハ干涉ガ出來ル、或ル程度マデ……是モ十分ニハ行カヌ、隨テ生産ニ對シテハ種々ノ不自然ナル調節又ハ獎勵ヲ行ハネバナラスコトトナッテ國費ヲ浪費スル虞ガアル、即テ價格調節ニ依ッテ國費ヲ費シテ、更ニ又生産調節ニ依ッテ國費ヲ費ス、一方ヤレバ又一方ヤラナケレバナラス、二重ノ浪費ニナル、シナイ方ガマシダ、是ガ私ノ結論デアリマス、尙ホ其他斯ウ云フヤウナコトヲヤッテ居リマスルト、植民地政策ニモ抵觸スル、或ハ國運ト云フモノニ逆フト云フコトニナッテ、何處マデヤッテ見テモ追ッ付カヌト云フヤウナ立場ニナリハシナイカト憂ヘテ居ルノデアリマス、私ノ觀方ガ善イカ悪イカハ、ソレハ御判斷ニ任セマスガ、私ノ自由ト云フノハ是デアリマス、成ベク自由ノ方針ニ向ッタ方ガ宜シイ、ソレヲ原則トシテ、ソレカラ政治的ノコトヲ考ヘナケレバナリマセヌカラ、或ル法制ニ依ッテ或ル狀態ヲ造ッテ、又間違ッタ、又足リナイト云フノデ、補強々々ト云フノデ、ヤッタモノヲ壊シテ行クト云フ、サウ云フ非常識ノコトハ吾々ト雖モ考ヘナイ、唯自由ノ行キ方ヲ硬イ自由ノ方ヘ持ッテ行クカ、或ハ軟カイ自由ノ方ニ持ッテ

行クカ、此事ハ米穀政策ヲ論ズル政治家トシテハ非常ニ重要ナル責任ガアルト思フノデアリマス、其意味ニ於キマシテ私ハ自分ノ心持ハ軟カイ自由ノ方ヘ持ッテ行キタイ考ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ此處デ申上ゲテ置キマスル、ソコデ結論トシテ米穀統制法ヲ廢止シロト云フヤウナコトハ此處デ言ハズモガナデアリマスガ、併シ臆テハ私共ハ此議會デモ濟ンダラ、モウ一遍研究シ、半年デモ出來ナイカモ知レナイケレドモ、先ヅ米穀統制法制定前ノ米穀法程度ニシテ、或ハ穀ノ貯藏トカ其他サウ云フコトデ通俗的ノ手段、机上ノ理論ノ考ヘ方デナシニ、通俗的ノ手段デ簡單ニ出來ルヤウナコトデ、或ル程度ノ調節ヲヤッテ行クト云フ程度ニ止メルト云フ、サウ云フ方針ニ進ンデハドウカト斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル農林大臣ノ御考ヲ此處デ御伺スレバ宜イノデアリマ스가、御伺スルト又色々議論ガ起ルト思ヒマスルカラ、私共ハ自分ノ考デケテ此處デ申上ゲマス、考ヲ申述べルト云フコトハ質問デハナイノデアリマセウケレドモ、併シ進ンデ農林大臣ガ御答ニナレバ承リタイ、自分ハサウ云フ考ヲ持ッテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラ尙ホ餘リ是カラ先ニナルト立入ッタコトニナリマスガ、先程モ三宅君ガ農村救済ト云フコトニ付テ——米價問題ニ付テ色々著書ヲ傾ケテ御議論ガアリマシタガ、御研究ノ緻密ナルコトト熱心サ、論旨等ニ付テハ敬服致シマシタ唯結論ニ於テハ稍々種々ノ問題ニ付テ相違ハ出テ參リマシタガ、ヤハリ米ノ最低價格ヲ保障スルト云フ人爲的ノ價格政策ヲ一ツノ大切ナルコトト考ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、其點ハ餘程違フト思ヒマス、マア此處デ討論モ出來セヌ、ソコデ自分ガ唯一言ダケ申シテ置キタイコトハ、日本ノ國勢ト云フモノト逆ッテ政策ヲヤル場合ニ、ソコニ難カシイコトガアル、私ガ産業組合ニ反抗シテ反産運動ヲヤルノト同ジダト言ハレルカモ知レマセヌガ、ソレトハ稍々違フト思ヒマス、昨日來或ハ農業ヲ重ンジロ、或ハ小賣商ノ數ガ多イカラ之ヲ制限シロト言フ方モアルヤウデアリマスガ、是ハドウモ國ノ勢ヒデ仕方ガナイ、一定ノ限ラレタ耕地デ誰モ食ッテ行カナケレバナラスト云フコトニナリマスガ、一方人口ガ殖エテ行ク、唯一ツダケノ數字ヲ申上ゲテ御參考ニ供シテ見ヨウト思ヒマス、自分ノ書イタ書物ニモ、讀マレタ方ハ御承知ノコトト思ヒマスガ、大正八

年カラ昭和五年ニ至ル約十年間ニ日本ノ農業人口ガ四十二萬殖エテ、商工人口ガ三百五十萬殖エテ居ル、即チ十倍位ニ殖エテ居ル、昭和十五年ニナレバ商工人口ガ十三倍モ農業人口ヨリハ殖エルダラウト思フノデアリマシテ、段々サウ云フ人口分布ニナル、今日農民ノ人口ハ日本ノ人口ノ當テハ四割五分ト言ハレテ居リマシタノガ、今日ハ三割五分位シカナイノデヤナイカト思ヒマスガ、結局英吉利ノヤウナ風ニ日本ガ段々ナッテ行ク、其變化ノ過程ニアル、ドウシテモ此國ハ英吉利ノヤウナ國柄ニナッテ、商工立國ニナッテ行クノデアリマス、サウデナイト此殖エテ行ク人口ハ養ヘナイノデアリマス、サウ云フコトニナル、ソレデ臺灣、朝鮮モ求メズシテア、云フコトニナル、又滿洲ガ勢力範圍ニナル、モウ少シ先考ヘマス、英吉利マデニハナリマスマイガ、英吉利ノ人口ノ中農業人口ハ僅ニ七「パーセント」シカナイ、斯ウ云フ勢ヒニ國柄ハ進ンデ行ク、ソレハ悲シムベキコトカ、宜イコトカ、何ト評シテ宜イカ知リマセヌガ、勢ヒ商工業ニ進ンデ行ク、ソレガ日本内地農村ノ狀態デアル、又目前ニ朝鮮、臺灣ガアル、少シ獎勵ガ過ギタトハ言ヘ、臺灣ハ自然ニ惠マレ

テ居ッテ年ニ二回ノ田ノ收穫ガ出來ル、昨日モ申シマシタヤウナ狀態ニ植民地ハナリ得ルノデスガ、此狹イ山國ノ日本、耕地歩合ガ非常ニ少イシ、殊ニ東北ノ如キ雪ニ閉サレル國、サウシテ災害ノ多イ國ト云フモノハ、ドウモ農家ハ惱ミ勝チダト思フノデアリマス、此大勢ニ對シテ農村救済或ハ農村ノ多數ノ人ヲ救済スルト云フコトニ付テハ、ドウモ唯米ノ値段ノ最低價格ヲ維持スルトカ云フ、サウ云フコトダケ考ヘテ居ッテ本當ニ其目的ヲ達スルカドウカ、而モ其爲ニ拂フ犠牲ハ重大ナモノ、サウシテ何億ト云フ金ヲ今マデモ使ヒ、又是カラ先キモ使フカモ知レヌ、サウシテ米ノ價格ヲ上ゲルトカ下ゲルトカ云フコトデ商人トノ爭ヒハ勿論デアリマス、或ハ消費階級ハ高クナルト文句ヲ言フカモ知レヌ、斯様ニ政治上、社會上ノ紛爭ヲ生ズルノデアリマスシ、殊ニ國民全部ノ食糧デアアル、此生産物ノ價格ニ付テ政府ガ左右スルト云フコトハ、私ハ非常ニ大膽デアリ、其責任ガ政治上社會上ニ極メテ色々ノ紛爭ヲ起スコト、思フ、昭和五六年來ノ紛爭ハ殆ド米問題ヲ中心トシテ起ッテ來テ居ルヤウニ思ヒマス、是等ノ點ハ餘程考ヘテ日本ノ國勢ニ應ジテ農村救済ヲスル、果シテドウ云フ政策ヲ以テヤッタ

ラ宜イカト云フコトヲ根本的ニ考慮スル必要ガアルト思フノデアリマス、昨日モ申シタヤウニ、私ハ唯東北振興ヲ以テ農村救済ガ出來ル、東北ダケガ困ッテ居ルトハ決シテ申シテ居ナイノデアリマス、十數年前カラ日本ノ地方ノ疲弊セル一ツノ原因ト云フモノハ、地方稅ガ惡イノダ、國ノ總支出ト地方ノ總支出ガ同ジデアアル、ソレニモ拘ラズ地方ハ家屋稅以外ノ何物モ持タヌ、地租、營業稅、資本利子稅、有ユルモノヲ皆國デハ持ッテ居ル、ソレデ地方ハ無理ヲシテソレノ附加稅ヲ三倍モ四倍モ取ルコトハ出來ナイ、ソナナ附加稅ハナイノデアリマス、即チ收益ノナイ者ニ課稅ヲスルカラ地方ノ者ハ困ル、ソコヘ戸數割、斯ウ來ルカラ、ソコデ十年來私ハ論文ニモ書イテ地方稅ノ整理ヲ絶叫シテ居ッタノデアリマスガ、今日ヤット政府ハサウ云フ御考デ、國稅地方稅ノ整理或ハサウ云フコトニ著眼サレテ來テ居ルヤウニ思フ、農會モサウ云フコトヲ騒ガレルヤウニナッタト思フガ、地方交付金ト云フコトデ整理ガ付イテ來タト思ヒマス、此點ヲ著眼サレル必要ガアル、先般私米穀政策ニ關スル圖面ヲ差上ゲテ置キマシタ、之ヲ御話スレバ數時間モ掛リマスカラ省略致シマスガ、大正八九年頃ニ米價ノ大變動

ヲ見タ、是ハ大戰爭ノ時デ、コンナコトハ又ト起ル筈ガナイノデアリマス、ソナナコトデ大正十年ニ米穀法ガ初メテ出來テ、ソレカラ今日マデノ變遷ノ經過ヲ取ッテ居ルノデアリマシテ、高橋前大藏大臣——不慮ノ死ヲ遂ゲラレマシタガ、大變大切ナ御方デアリマシタ、併シ米穀政策ニ付テハ私共聊カ遺憾ナガラ所見ヲ異ニシタト思フノデアリマス、ヤハリドウモ米價ト云フモノハ大暴騰、暴落ヲスルモノデアルカラ、ドウシテモ公定價格ヲ以テ調節シナケレバナラヌト云フコトヲ御考ニナッテ居ッテサウデアリマス、私ガ後藤農林大臣ニ會見致シマシタ時ニモ色々ノ話ノ末、高橋サンハドウモ公定米價——專賣トハ言ハレヌガ、公定價格ト云フヤウナコトヲ言ハレルカラナ、斯ウ言ハレタコトガアリマス、高橋大藏大臣ハ丁度戰時物價ガ三倍モ四倍モ騰貴シタ時代ニ、或ハ農商務大臣、或ハ大藏大臣ト云フヤウナ地位ニ就イテ居ラレテ、米騒動モ御經驗ニナラレテ、是ハ大變ナモノダト云フ御感ジカラシテ、日本ノ最近ノ米穀政策ニ對シテサウ云フ考ガ出テ來タノデヤナイカ知ラト思フ、アレダケノ老巧ナ實地經驗カラ總テ割出サレル政治家トシテハ已ムヲ得ナイコトデアリマセウガ、吾々明治三十

三年以來ノコトナラ相當分リマスガ、其經驗ニ依リマシテモ、米價ト云フモノハ物價ト同ジヤウニ動イテ居ルト云フコトヲ考ヘレバ、是ハ結局私ハ大體自由放任スベキダト思フ、此圖表ニ依リマシテモ、勿論一般物價指數ニ對シテ米價ノ動キ方が多い、是ハ總テノ物價ノ標準ト、一ツノ物品デハ異リマスケレドモ、大體ニ於テハ是ハ物價ト一緒ニナッテ居リマスカラ、私ハヤハリ自由放任ガ宜イヤウニ思ヒマス、殊ニ米價ヲ確定シテ、今度ハ物價ノ情勢等モ考慮ニハ入レマスケレドモ……

○東委員長

渡邊君、アナタノ質問ハ是デ前後三回ニ互ッテ數時間ヲ要シテ居ル、私共ハ皆敬意ヲ表シテアナタノ質問ヲ要領ヲ得ルコトニ努メテ居ルノデアリマスガ、大體質問ノ趣意ニ於テ範圍ヲ餘リ脱シナイヤウニ御願致シマス、外ノ人モマダ澤山居リマスカラ……

○渡邊委員

ソレデハ今ノコトハ是ダケニ致シテ置キマセウ、兎ニ角農村救済ニハ米價政策ヲ餘リ重シトセズシテ他ノ方面ヲ考ヘテ、サウシテ米價政策ノ爲ニ他ノ方面ニ紛糾ヲ來サヌヤウニ致シテ戴キタイ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

ソコデ扱テ此法案ニ付テ申上ゲマスコトハ(笑聲)

○東委員長

宜シウゴザイマス、ドウカ質問ノ範圍ニ於テ願ヒマス

○渡邊委員

ソコデ今ノ御伺ヲシテモ宜イノデアリマスガ、又農林大臣ノ御答辯ヲ求メルコトニナルカラ、ヤハリ米穀政策ヲ論ズルノニハ根本ノ考ヲ銘々披瀝シテ置イタ方ガ宜イダラウト思フ、諸テ此米穀自治管理法ニ關スル利害ノ點ニ付テハ段々質問シテ參リマシタ、疑問ノ點モ御同致シマシタ、ソコデ私ノ最後ニ申上ゲタイノハ、即チ今日モ昨日モ二三ノ方カラ既ニ御話ガアリマシタガ、此法案ノ實行ニ依ッテ在來ノ米ノ配給者ト云フモノガドウ云フ打撃ヲ受ケルカ、其點即チ產業組合トノ關係ノ問題——產業組合ノコトヲ申セバ、私ガ新聞デハ反產運動ノ鬭將トカ云ハレテ居リマスガ、サウ云フコトヲ本質的ニ論ジタリ、色色ノ具體的ノ例ヲ舉ゲレバ、是ハ何日掛ルカ分リマセヌカラ、ソレハ申シマセヌ、唯此法案ニ關スル限りニ於テ御同致シタイト思フ、此自治管理法ノ規定ノ中ニハ何モ販賣組合ノ規定ト云フコトハナイ、此法案ノ審議ノ模様ヲ見マスト、統制組合特別委員會ノ色々ノ記事等ヲ讀ミマスト、新シイ

組合ヲ作ッテモ二重ニナルカラ、在來アル機關ヲ使ッタ方ガ宜イダラウト云フ希望ガアル、サウシテ多クノ委員ガソレニ賛成サレタ、斯ウ云フ徑路ニナッテ居ルヤウニ私ハ承知シテ居ル、サウスルト在來ノ機關ナラ販賣機關デアル所ノ販賣組合デアル、斯ウ云フコトニナッタヤウニ私共ハ記錄ニ依ッテ承知シテ居ルノデアリマス、サウデアルトスルト、別段產業組合ノ擴大ト云フコトニモナナイカモ知レナイ、併ナガラ色々ノコトヲ綜合シテ見テ、昭和八年來ノ產業組合ノ擴大運動ニ依ッテ被害ヲ受ケテ居リマス商業者ハ、非常ニ戰慄シテ居ルノデアリマス、此法案ノ販賣組合ノ代行ト云フ規定ヲ見テ驚愕シテ居ル、其心理狀態ト私共ノ心配シテ居ル實際問題ヲ申上ゲテ御伺シテ見タイ、此販賣組合ニ代行サセルト致シマシテモ、法律ノ立前カラ言ヘバ過剩米ダケノ統制デアル、是ハ明カデアリマス、ソレダケナラ別段大騒ギニナラスト思フ、私共モ此法律ヲ見タ時ニハ別段驚カナカッタ、色色説明ヲ聽イタリ、段々時ヲ經ルニ從ッテ騒ギ出シタノデ、是ハ或ハ容易ナラヌコトニナルノデヤナイカ、斯ウ云フ心配ヲ持ッテ參ッタノデアリマス、サウシテ中村君ガ御聞キニナッタト思ヒマスガ、販賣組合ガ現

在大多數ノ町村ニアル、殊ニ昭和八年以來、私ノ見マス所デハ、政府ハ產業組合擴大運動ヲヤラレタ、サウシテ全國ニ成ベク產業組合ヲ作レト云フコトデ、サウシテ知事ヤ部長ガ大抵產業組合ノ部長トカ、顧問トカ云フモノニナル、或ハ產業組合青年聯盟ト云フモノヲ作ッテ、役人ガ其頭ニナル、ソレデ模範組合トカ云フモノヲ作ッテ、小學校生徒ニマデ宣傳サレテ居ルノデアリマス、サウ云フ運動ヲ見テ驚イテ居ッタノデアリマスガ、聽テ御承知ノヤウニ肥料商ガ配給五箇年計畫デ悲鳴ヲ舉ゲタ、雜貨配給五箇年計畫デ各種ノ商人ガ悲鳴ヲ舉ゲルト云フコトニナッタコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレカラ又私ハ米ニ關シマシテモ甚ダ迂遠デアリマスガ、私ガ反產運動ノ鬭將ト言ハレル迄中心ニナッテ居ルヤウデアリマスケレドモ、私自身ハ實ハ昨年ノ三月議會ノ途中ニ於テ初メテ米ノ方ノ販賣組合五箇年計畫ヲ知ッタノデアリマス、此販賣組合五箇年計畫ニ依レバ、昭和八年九百萬俵拔ッテ居ッタノラ二倍ニスル、即チ十二年頃ニハ千二百萬俵位販賣組合デ扱フト云フ、斯ウ云フ計畫ガアル、是デハ成程米穀商ガ斯ナ法律ガ出來ルト云フノデ大騒ギヲスルノハ尤モダト、初メテハッキリ感ジタノデアリ

聞キニナッタト思ヒマスガ、販賣組合ガ現

マスガ、最初ノ日ニ申シマシタヤウニ、國技館デ以テアレダケノ騒ギガ起ルコトハ何カナケレバナラヌト思ッテ居ッタノデアリマスガ、正シク此法律ノ出来ナイ前カラ、此法律ノ起ラヌ前カラ、販賣組合其他購買組合ノ爲ニ非常ナ打撃ヲ受ケテ居ル狀況ニアッタコトハ事實デアリマス、小麥ノ如キハ今日殆ド全滅ト云フコトデアリマシテ、事實ヲ農林大臣ニ御聽キヲ願ッテ置イタガ御參考ニナルト思フノデアリマス、一昨年ハ例ヘバ九州地方ヘ參レバ米穀商ハ一割トカ、二割潰サレタ申シテ居リマシタガ、昨年ノ暮ニ參リマス、佐賀縣地方ハ、村ニ依ッテハ八割九割、殆ド全滅ニ瀕シテ居ルト云フヤウナ悲鳴デアリマス、斯ウ云フ工合ニナリマスカラ、今度斯ウ云フ法案が出タノデ、全國的ニ騒イデ居ル、何ニ依ッテ潰サレタカト云フト、勿論産業組合ニ依ッテ潰サレテ居ルノデアリマス、三宅君其他ノ方デハ、反産運動ヲヤル者ハ——商人ノ一般的ノ苦痛ノ模様ヲ産業組合ノ活動ニ原因ヲ歸スルヤウナ者ハ間違ッテ居ル——間違ヒト迄ハ言ハレマセヌガ、サウ云フ議論ヲ誰方カ本會議デモ爲サツタヤウニ思ヒマスガ、吾々ガ産業組合ノ議論ヲシタリ、或ハ實際ニ於テ産業組合ノ行過ギヲ論ズル場合

ニ、何モ斯ウシロトカ、商人ノ苦ミガ産業組合ノ擴大カラ來ルンダ、ソナコトヲ言ッタ覺エモナケレバ、サウ云フコトヲ考ヘテ居ル者ハ一人タリトモ所謂反産運動ヲシテ居ル者ノ中ニハナイ、唯地方ノ何ニモ發言機關ノナイヤウナ、商工會議所モナイヤウナ人口三千、五千トカ、一萬トカ云フ邊陲ナ土地ニアル小サナ商人ガ産業組合ナドニ潰サレテ、ソレデ非常ニ惱ミヲシテ居ル、ソレガヤハリ地方ノ商工會議所ニ纏ッテ、其聲ガ中央ニ傳ハルト云フコトデアリマスカラ、是ハ實際産業組合ニ依ッテ直接ニ被害ヲ受ケテ居ル者ノ聲ガ反産運動ナノデアリマス、百貨店問題トモ其他ノ問題トモ何等ノ關係ノナイ問題デアリマス、コ、ニ模範定款ト云フノガアリマス、是ハ私ハ知りマセヌダシタガ、二三箇月前ニ見セテ貰ッテ、是ハ儲力聞及ブ所デハ岐阜ノ信用組合ガ作ッテ、ソレヲ中央デ採用サレタモノト認メラレマスガ、之ヲ見ルト私共ハ實ハ驚クノデアリマス、ソレデ商人方面デモ之ヲ最近ニ知ッタヤウデアリマス、昨年ノ夏頃カラ知ッテ居ルヤウデアリマス、即チ販賣ニ關スル組合デハ、農林省デ示サレタ模範定款ニ、組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニアラザレバ本組合ニ於テ扱フ物ヲ本組合ヲ通ゼズシ

テ販賣スルコトヲ得ズ、又其次ニハ、組合員前條ノ規定ニ違反シタル時ハ過怠金ヲ徴收スルコトヲ得、斯ウ云フ風ナ規定ガアリマス、購買組合ニ於テモ同様ノ規定ガアリマス、サウシテ扱フ品目ハコ、ニ舉ゲテアルヤウナ多數ノモノデアリマス、ソレト共ニ販賣組合五箇年計畫、雜貨配給五箇年計畫デ多數ノ者ガ困ッテ居ル、此規定ヲドノ程度マデ地方デ實行シテ居ルカ、農林省ガ獎勵シテ居ルカ知りマセヌガ、私ハ斯ウ云フ規定ヲ見テ愕然トシテ居ルノミナラズ全購聯、全販聯ト云フモノガ、數年前出來テ、新シイ組織ガ出來レバ、是モヤハリ商人ノコトデアリマスカラ、自分ノ商賣ノ販路擴張ヲシヨウト云フノニハ、全國ノ産業組合ヲ自分ノ系統ニ入レナケレバナラヌ、サウシテ全購聯ナドハ自分ノ手下ヲ入レテ、サウシテ相手ハ商人デアルカラ商人ヲ誹謗スル、商人ハ搾取階級ダトカ商人ノ品物ハ惡イトカ、價格ガ高イトカ、サウ云フコトヲ宣傳スル、サウ云フ方法ヲヤッテ、産業組合ノ中心機關ガ其業務ヲ發展サセルト云フヤウナ實際ノ運動ガ昭和八年以來續イテ居ル、而モ五ヶ年計畫ト云フモノヲ立テ、ヤッテ居ル、斯ウ云フ計畫ガアル、ソコヘ又斯ウ云フ法律ガ出來タ、ソレガ脅威ニナッテ居ル、此自治管

理法ノ表面ノ立前カラ云ヘバ、過剰米ダケダ、斯ウ云フコトデアリマスガ、茲ニ産業組合擴大運動ガアル、斯ウ云フ定款ノ方カラ見テ、又今日ノ日本ノ産業組合運動ハ農民ガヤッテ居ルノデナクテ、役所ガヤッテ居ル、農林省ト地方廳デヤッテ居ル、役所デヤッテ居ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其官吏ガヤッテ居ル、斯ウ云フ強力ナ權力ヲ以テ擴大運動ヲヤッテ居ラレル所ヘ持ッテ來テ、斯ウ云フ自治管理案が出タ、サウシテ表面過剰米ダケ扱フトハ言ヒ條、是ダケ販賣組合ガ擴大スレバ、其販賣組合ガ總テヲ統制スル、サウスルト今迄米ヲ扱ッテ居ラナイ組合ガ米ヲ扱フヤウニナル、過剰米ダケト云フコトデアッテモ、段々ソコニ行クヤウニ官廳ガ仕向ケルダラウ、仕向ケルニ相違ナイ、ソレカラ又何モ關係ノナイ地主ガ組合員トシテ新ニソコニ入ッテ來ルト云フ風ニ販賣組合ノ普及ト、扱ハヌ米ヲ扱フ、入ッテナイ地主ガ入ッテ來ルト云フコトニナッテ、米ノ商賣ハ全部取上ゲラレルモノダ、斯ウ云フコトヲ心底カラ憂慮致シテ居ル、ソレデ私共ハチヤント坐ッテ居リマスガ、全國カラ求メガアレバ、是ハ氣ノ毒デアリ、私以外ニヤッテ居ル者ハナイカラ何處ヘデモ行ッテ、サウシテ理論ノアル所ヲ

言ヒ、實情ヲ聞イテ參ル、斯ウ云フコトニシテ居ルノデアリマス、サウスルト此法律ガ出來レバ、又此法律ガ出來ナクテモ私ノ見ル所デハ販賣組合ノ五箇年計畫、其次ノ五箇年計畫ノ終リ頃ニ、先程三宅君モ言ハレマシタヤウニ、地方ノ仲買人ハ勿論、地方ノ米穀商ト云フモノハ、七八年ノ中ニ私ハ殆ド潰滅スルノデヤナイカト憂ヘテ居リマス、斯様ナ次第デ此法律ガ出來テ來テ、一舉ニシテ販賣組合ガ普及シ、連絡ガ地主ト附クト云フコトニナレバ、ソレガ促進サレルト云フコトデ慌テフタメイテ居ルノデアリマスカラ、此米穀商ノ脅威ニ對シテ、之ヲ救済シテ貰ヒタイト云フ希望ト云フモノハ尤モナコトト私ハ思フデ居リマス、ソレ故ニ今日ノヤウニ此米穀自治管理法案ニ對スル反對運動ノ中心ノ勢力ニ立ッテ居ルノデアリマス、其點ニ付テハ農林大臣ハ十分ニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、先ヅソレ等ニ付テ此處デ簡單ニ御伺致シテ置キタイコトハ、産業組合ノ擴大運動、現在ノヤリ方、ソレカラ殊ニソレガ米穀、肥料、薪炭——薪炭モ非常ナ打撃ヲ受ケテ居ル、最近濱松デ統制シ掛ケテ居ル、此問題ハ非常ニ激成シテ參リマシテ、茶商ト産業組合トハ殆ド血ノ雨ヲ降ラスヤウナ爭ヲシテ居ルヤウニ

聞イテ居リマスガ、サウ云フコトガ殆ド肥料カラ米、或ハ薪炭——薪炭モ五箇年間ニ大部分ヲ統制スルト云フ、統制ト云フ言葉ハ吾々カラ見レバ商人ノ商賣ヲ産業組合ニ取上ゲルト云フコトダ、サウシテ今度ハ茶、雜貨、文房具、洋服、此頃ハ風呂屋カラ洗濯屋マデヤッテ居ルト云フコトヲ聞キマス、數ハ少ナイデセウガ、地方デヤッテ居ルヤウデアリマス、サウ云フ狀態デアリマスカラ、是等ノ事情ヲ能ク農林大臣ハ御承知ニナッテ居ルカ、是ハ由々シイ事ダ、餘程徹底シタ對策ヲ講ジナケレバナラヌト云フコトヲ御考ニナッテ居ルカドウカ大體ノ御感ジヲ御伺シタイ、後デ私ハ具體的ニ御要求申上ゲル點ハハッキリ申シマスケレドモ、斯ウ云フ事情ニ付テドレ程ノ——此頃ノ言葉ヲ使ヒマスレバ、認識ヲシテ居ラレマスカト云フコトヲ一寸伺ヒタイ

其點ニ付キマシテハ、渡邊君程詳シク精密ニ事實ヲ承知致サナイカ知レマセヌケレドモ、大體ニ於テハ同一ノ認識ヲ持ッテ居ルト信ジテ居リマス、ソコデハモウ申上ゲルマデモナイコトデアリマスガ、此法案ハ之ヲ實施スル場合ハ、固ヨリ此法案トシテハ米商人ト云フモノヲ對象ニシテ考ヘル場合デアリマスガ、其他ノ事柄ニ付テモ産業組合ノ全體ニ關シテ考ヘマシテ、其考方ト致シマシテ、是ハヤハリ農林省ノ所管ニ屬シテ居リマスカラ、之ニ付テハ、自分ハ茲ニ愚念ノヤウデアリマスケレドモ、曩ニ附帶決議トシテ報告サレ、世間ニ公表サレテ居リマス條項、即チ「産業組合ノ違法及脫法行為ノ取締ヲ嚴ニシ官僚化ト營利化トヲ排除シ産業組合本來ノ使命ニ於テ其健全ナル發達ヲ計ルベシ」此趣意ヲ眞直ニ體シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、即チ産業組合自體ノ問題トシマシテ、其産業組合ヲ作り出シ、之ヲ成立セシメテ今日ニ至ッタ其根本ノ趣意ニ於テハ、無論道理ノアルコトデアリ、又之ヲ發達セシムルコトガ必要ダト考ヘテ居リマスガ、唯此行キ方ガ過ギテ、埒ヲ超エテ行ク場合、ソレニ依ッテ他ノモノト衝突ヲ起シ或ハ他ヲ害スル、斯ウ云フコトガ起リマス場合ニ、即チ此附帶

決議ノ本文ニ現ハレテ居ル事柄ニ付テ其趣意ヲ履行シテ行クヤウニ致シタイ、此法案ノ場合ニ於キマシテモ、同様な精神ヲ以テ進ミタイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、隨テ此組合ノヤリ方、又進ミ方等ニ付キマシテハ、ヤハリ其精神デアル、從來ノ當局モサウ云フ風デアッタラウ、又アルベキ筈ダト考ヘテ居リマスガ、自分ト致シマシテモ、茲ニ改メテ其精神デ進ムコトヲハッキリ申上ゲテ置キマス

○渡邊委員 附帶決議ノ事ニ付テハ度々御質問ガアリマシタ、私モ亦後デ御伺ヒシヨウト思ッテ居ッタノデアリマスガ、産業組合ノ問題ニ付テハ、私ハ實ハ本質上非常ナ疑念ヲ持ッテ居ルノデアリマス、併シ此席デハ、サウ云フコトハ申上ゲナイノデアリマスガ、一面多クノ議員ノ方モオ居デニナリマスカラ、其非常ニ疑ヲ持ッテ居ル點ヲ一言申上ゲタイ、是ハ大キナ問題デアル、産業組合ノ「リーダー」ノ人達ハ、農村ヲ更生サスノニハ産業組合ノ外ハナイ、共同經濟組織デ行キタイ、斯ウ云フコトヲ主張シテオ居デニナル、併シ今マデノ實驗ニ見デモ、産業組合ハモウ三十年モ經過シテ居ルガ、果シテ農村ヲ繁榮サセタカドウカ疑問デ、餘程缺點ガアルヤウニ思ヒマス、其點ヲ指

摘スルノハ避ケマスガ、農村ガソレデ更生シタトモ私ハ思ハナイ、サウシテ今後はデ更生サセルトモ私ハ思ヒマセヌ、私ハ逆ダト思ヒマスガ、其點ハ結論ダケヲ申上ゲテ置キマス、諸デ此産業組合ヲ非常ニ有難イヤウニ考ヘテオ居デニナリマスガ、併シア、云フ協同組織ト云フ名前デ、日本ノ農村ノ生活ヲ全面的ニ革メルト云フ意味デ此組織ヲ利用サレルナラバ、アノ産業組合法デハ行クマイト思フノデアリマス、産業組合法ノ立法ノ精神ハ御承知ノ通りデアリマス、是ガ議會デ出來マス時ニ、反對論モアツタシ、色々警告モ付イテ居ル、サウシテ産業組合ト云フモノハ自治的精神デ、相互扶助デアル、政府ニ倚賴シテハイカヌゾ、政府ハ保護ヲ與ヘテハイカヌゾ、餘リ之ヲ普及シテ暴威ヲ揮ハシテハイケナイ、是ガ商人ト競争スルヤウニナツテハイケナイト云フヤウナ、種々ノ警告ノ付イテ居ルコトヲ私共ハ調査シ、又當時ノ事カラ存ジテ居ルノデアリマスガ、ソレ以上ハ申シマセヌ、サウ云フ性質ノモノデアラウト存ズルノデアリマス、ソレデ組合員ト云フコトニ限ラレル、所ガ全面的ノ農村救済ト云フノナラ、上ノ方モ下ノ方モ皆考ヘテアゲナケレバナラヌ、産業組合ノ本旨ハ、殊

ニ購買販賣組合ト云フモノハ、農民ノ賣ル物ハ高ク賣ル、サウシテ買フ物ヲ安く買フト云フ趣旨デアリマスカラ、ソレヲ私ハ公益的デアルトハ思ヒマセヌガ、サウ云フ趣旨デアルトシテ、之ヲ以テ農村ヲ救済シタイト云フナラバ、是ハ費用ヲ拂ハウガ、拂フマイガ、總テノ者ガ其中ニ入ッテ、サウシテ同ジ利益ヲ擧ゲナケレバ理窟ガ立たヌト思フ、中農以上、或ハ大キナ人ダケガ利益ヲ受ケルト云フコトハ私ハ不公平デアルヤウニ思フ(ヒヤ／＼)デアリマスルカラ、是ハ何處ノ眞似デアルカ知りマセヌガ、獨逸ノ「コオペラチオン」或ハ伊太利ノ「コオペラチオネ」トモ言ヒマス、サウ云フ協同組織ノ眞似カ何カ知りマセヌガ、實ハ餘程違ヒマス、同業組合ニモノ生エタヤウナモノダト思ヒマスガ、兎ニ角協同經濟組織ト云フテモ、本當ニ理論ノ立前カラシテ、今日ノ日本ノ社會各層ヲ見テ、農村ヲ救済スルノニ此外ニ途ガナイト云フ確信ヲ行政首腦部ニ於テ持タレ、又各政黨デモサウ考ヘルナラバ、是ハ協同經濟組織法案或ハ協同經濟法案ト云フヤウナモノデモ議會ニ提案サレテ、ソレデオヤリニナルナラ是ハマダ理窟ガ立ツ、其可否ハ別デアリマスルガ、理窟ダケハ立ツ、然ルニ此産業組合法ト云フヤ

ウナモノデヤッテ居ル、此産業組合ト云フモノハ、何等ノ補助ヲ受クベキ私ハ筋合デハナイト思フ、之ヲ發見シテ驚イタノデアリマスガ、此産業組合ガ日本デハ官吏ガ指導シテ居ル、是ハ驚クベキコトダト思フノデアリマス、官吏ガ指導シテ居ル、而モ指導シテ居ルダケデナシニ、官廳ノ人ガ又産業組合ノ方ヘ入ッテ其仕事ヲヤッタリ、又官廳ヘ來タリ、色々農林省ト産業組合トハ親シイ關係ガアル、又地方廳ノ人ト産業組合トハ親シイ關係ガアル、補助金ヲヤッタリ、役所ヲ辭メルト其處ヘ行クトカ、丁度ニツノ樽ニ水桶ガ通ジテ居ルヤウナ關係デ、産業組合運動ヲ擴大サレルト云フコトハ、是ハ私ハ餘程見當違ヒデハナイカト思フノデアリマス、ソコデ是ハ自分ガ付ケタノデハナイノデスガ、餘程巧イ名前ヲ付ケル、官僚主義産業組合トカト云フコトヲ言ハレテ居ル、斯ウ云フ形デ、産業組合ガ進ムト云フコトハ非常ニ間違ヒデアル、又補助金ニシマシテモ、是モ猫ダト力虎ダト力言ッテ批評シマスガ、産業組合ヲ批評スルノニ、最初弱イ間、取引高ノ少イ間ハ、餘リ利益モナカラウ、農民ガヤッテ居ルコトダカラ同情シテアゲルト云フナラバ、ソレハ税金ヲ課ケヌト云フコトモ、理窟ヲ抜キニシテ特

典ヲ與ヘテモ宜カラウト思ヒマス、所ガ今日ノヤウニモウ殆ド獨占商業デス、商賣人ガ三萬二千人ト云フヤウナ御得意ヲ持ッテ居ルコトハ中々ムジカシイ、怠ケテ居タラ外ハ逃ゲテシマフ、ソレヲ産業組合ノ人ハ月給ヲ取ッテ、商賣ヲシテ、税金ハ拂フ必要ハ毛頭ナイ、サウシテ補助金ハ貰フ、更ニ低利資金ヲ借りテ、役所ガ後押ヲスル、地方ノ經濟部長ガ運動ニ乗込シテ、商賣人カラ絶對ニ買ハナイヤウニ、産業組合カラ買ッテ下サイト云フノデ、經濟部長マデ出掛ケテ行ッテ商賣ノ手傳ヲスル、此處マデニ至ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニシテ産業組合ガ官憲ノ庇護ト、有ユル特典ヲ持ッテ居ル、其特典ハ列舉シマセヌケレドモ、有ユル國稅カラ、地方稅カラ皆免除サレテ居ルト云フ狀態デ、産業組合ニ出サレル補助金ダケデモ、澤山ノ種類ガアリマス、是ハ農村救済トシテ出サレル補助金デアリマスルガ、農林省ニハ色々ノ局課ガアルカラ、皆競争デ豫算ヲ取ラレテ、又競争デ撒カレルヤウデアリマスガ(笑聲)多クハ産業組合ノ種ノ中ニ入ッテ、ソコデ又相當ニ吞マレルノデヤナイカト思フノデアリマス、相當程度ハ農村ニ效果ハアリマセウケレドモ、産業組合ヲ潤ホシテ産業組合ノ所

謂役員ト稱サレテ居ル人ダケガ得ヲスル
ト云フコトニナル、サウ云フ狀況ニ實際
ナッテ居ルノデハナイカ知ラント思フノデ
アリマス、補助金ノ名前ダケヲ茲ニ舉ゲテ
見マシテモ、肥料配給改善助成金、農業倉
庫獎勵金、農業倉庫建設獎勵金、共同倉庫
庫及び共同乾餾裝置助成金、農山漁村共同
作業場獎勵金、製絲共同施設獎勵金、副業
獎勵金、畜產物販賣斡旋及び受託販賣獎勵
金、有畜農業獎勵金、養鶏獎勵金、畜產共
同施設獎勵金、林業共同施設獎勵金、米穀
貯藏獎勵金、小麥増殖獎勵金、自作農創設
維持補助金、産業組合運動促進助成金、斯
ナモノマデアル、農村生産配給改善指導
獎勵金、産業組合自治監督指導助成金、監
査ヲスルノニマデ助成金ヲ出ス、小麥貯藏
倉庫建設助成金……(笑聲)中々名前ヲ舉ゲ
テ見テモ大シタモノデアリマスルガ、ドノ
程度ノ金額、或ハドノ組合ガドノ位貰ッテ
居ルカト云フコトハ、私共ニハ調ガ付キマ
セヌガ、何シロ大シタ助成デアリマス(「ヒ
ヤヒヤ」金額ガ少イ)ト呼フ者アリ)又縣費
ノ補助金、國費ノ補助、殊ニ縣費ノ人件費
補助金、マダ(「サウ云フモノヲ舉ゲレバ
幾ラモアリマスケレドモ(「分ッタク」)「パ
ンフレット」ヲ讀ムコトハ止メロ」ト呼フ者

アリ)例ヘバ産業組合中央會ノ補助、府縣
ノ販賣購買組合聯合會、産業組合中央會、
産業組合中央會ノ府縣支會補助、府縣販賣
購買組合聯合會補助、府縣信用組合聯合會
補助、販路調査、市況通報、出荷獎勵……
(「商業組合、工業組合ニモアルゾ」ト呼フ
者アリ)ソレハアリマスケレドモ、金額ガ
比較ニナラス、ソレハ商業組合モ百ヤソコ
ラ出來テ居ルガ、産業組合ハ一萬何千モア
ル、其一萬何千アル産業組合ト云フモノ
ハ、ソレト同ジヤウナ數ガ今迄ニ潰レテ居
ルノデアルカラ、産業組合ヲ禮讃スルノガ
イカスト私ハ言フノデアル、良イ點ハ吾々
モ助長シテ行ッテ宜シイ、産業組合ハ一萬五
千モアル、一言ニシテ譬ヘテ申シタ宜シ
イ、譬ヘテ見タラ商業組合ナドハ龜ノ子ノ
ヤウナモノデアアル、工業組合モ同ジコトデ
アリマス、産業組合ハ象ノヤウナモノデア
ル(笑聲)マルデ比較ニナラナイ、其現在ノ
規模カラ特典ノ狀況ニ依ッテ見ルト……
(「資本家ノ走狗ハ駄目ダ」ト呼フ者アリ)委
員長少シ取締ッテ戴キタイ(笑聲)

〔發言スル者多シ〕

○東委員長 靜肅ニ

〔發言スル者多シ〕

○渡邊委員 今モ資本家ノ走狗ダナドト申

サレマスケレドモ、勞働組合運動ハ如何デ
スカ(發言スル者多シ)サウ云フコトハオ互
ニ言ハナイ方ガ宜イト思ヒマス(餘計ナ事
ヲ言フナ)質問ヲヤレ」ト呼フ者アリ)此點
ニ觸レ、バ多少斯ウ云フコトモ言ハナケレ
バナラス

〔發言スル者多シ〕

○東委員長 靜肅ニ

○渡邊委員 斯様ニ非常ナ補助金ヲ得テ居

ル、ソレガ何處マデ妥當デアルカ、何處マ
デガ行キ過ギデアルカト云フコトハ此處デ
申シマセヌ、ソレハ最後ニ結論デ申シマス、
兎ニ角吾々ガ見テ——素人ト言ハレ、バ素
人デアアルカモ知レヌ、見當違ヒデアアルカモ
知レヌガ、吾々ガ二年間ノ研究カラ見テ、
ドウモ一方ニ厚クシテ一方ニ薄イト感ズ
ル、而モ原則ノ問題ガ起ラネバナラヌト思
ヒマスケレドモ、此法案ノヤウナモノガ起
ツテ、ソレニ依ッテ新ニ商人ガ脅威ヲ感ズ
ル、今マデ産業組合擴大運動、五箇年計畫
デイデメラレテ居ッタガ、此法律ガ出來レ
バ、法律ノ根據ニ依ッテ一舉ニ擴大サレテ
シマフ、之ニ依ッテ一舉ニ生業ヲ奪ハレル
ト云フコトヲ心カラ憂慮シテ居ル、是ハ事
實デアリマス、現ニ三月十五日、全國舉ッテ
米商ガ神社ニ參拜スルト云フ記事ガアルヤ

ウデアリマス、ソレマデニ心ヲ焦ダ、セテ
居ルノデアリマシテ、總テノ大會ニ於テ宮
城ヲ遙拜シ、君ケ代ヲ合唱シテカラダナケ
レバ掛ラナイト云フ狀況デアリマス、政治
ヲ御ヤリニナルニハ總テ社會ノ實情——斯
ウ云フコトハ勿論私カラ申ス迄モナク總テ
呑込ンデ御ヤリニナルコトダト思ヒマス
ガ、唯御參考ニ申上ゲルノデアリマス、サ
ウ云フ程度ニ實情ガ進ンデ居ルトスレバ、
是等ノ法案ヲ此處デ審議爲サルニ付テモ、
種々ノ前提條件ト云フモノヲ御考ヲ願ヒタ
イノデアリマス、ソコデ私ハ此處デ先程農
林大臣ノ申サレマシタ、前議會デ民政黨、
政友會カラ出シタ附帶決議ノ中ノ、特ニ政
友會カラ出サレマシタ附帶決議ノ中デ、「産
業組合ノ違法及脫法行爲ノ取締ヲ嚴ニシ官
僚化ト營利化トヲ排除シ産業組合本來ノ使
命ニ於テ其健全ナル發達ヲ計ルベシ」是ト
全ク同ジ意味デ民政黨カラ出デ居ル「産業
組合ノ指導監督ヲ徹底セシメ以テ其法規ヲ
逸スル行爲ヲ止メ産業組合本來ノ使命ニ從
ヒ健全ナル發達ヲ圖ルコト」斯様ニアリマ
スガ、此中ノ一ツ々ヲ實行サレルニ付テ、
將來色々審査サレル機關デモ出來レバ、
吾々モ意見デモ申上ゲタイト思ヒマスケ
レドモ、目前ニ御考置キ願ヒタイ具體的

ノ問題ニ付テ、農林大臣ノ御考ヲ一ツ御伺致シタイと思ヒマス

モウ一ツハ官吏ノ産業組合ノ指導者トナル件デアリマス、此點ハ前々議會デアリマシタカ、松村謙三氏ガ農林參與官ヲシテオキデニナリマシタ時ニモ、此衆議院ニ於テ、或ル議員ノ質問ニ對シテ——ソレハ良クナイカドウカト云フ質問ニ對シテ、ソレハ良クナイと思フノデ、段々廢メテ來テ居ル、今デハ四五名位シカナイト云フ御答辯ガアッタヤウデアリマスガ、現在ハサウデナイカラ、官吏ノ産業組合關與ヲ禁ズルト云フコトニ付テ、農林大臣ハソレヲ斷行スル御考ガアリマスカト云フコトガ一ツ、ソレトモウ一ツハ先ヅ違法行爲ヲ取締リタイト云フコトヲ仰セニナル農林大臣ハ、私ハ信賴致シテ居リマス、仰シヤッタコトハ必ズ斷行サレルト思ヒマスガ、其實行方法ニ付テハモウ少し具體的ニ致シテ置キタイ、即チ違法行爲ガアッタ時ニ、是ガ罰則ヲ設ケテ戴キタイ、同ジヤウナ狀態ガアル場合ニハ、何等ノ特典ノナイ——外國ニハ此日本ノ産業組合ニ似タヤウナコナ特權ノアルモノハ何處ニモアリマセヌ、ソレデモ皆違法行爲ヲヤルヤウナ場合、組合員デナイ者ニ賣ッたり、取引ヲシタリスレバ、無論ハハ

罰金刑デアリマスガ、一々罰則ガ附イテ居リマス、兎ニ角斯ウ云フヤウナ特權ノアルモノデモ違法行爲ヲ致シタモノニハ罰則ヲ設ケテ戴キタイ、之ヲ次ノ通常議會ニ御提案アランコトヲ希望致スノデアリマス、先ヅ其他ノ問題ハ他日ニ譲リマス、尙ホ希望スルノハ、全國購買組合聯合會及全國販賣組合聯合會ノ活動ヲ抑制スル必要ガアラウト思フ、其方法ハ申シマセヌガ、此三點ニ付テ——官吏ノ違法行爲ノ罰則、全國購買組合、販賣組合聯合會ト云フモノニ對シテドウ云フ觀察ヲシテ居ラレルカ、吾々トシテハ之ヲ少し抑制シタイと思フ、其手段方法モ或ル程度考ヘテ居リマスケレドモ、是等ノ點ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイ

○島田國務大臣 只今渡邊君ノ希望ト云フ意味ニ於テ述べラレマシタ三點ニ付キマシテ、先程茲ニ援用致シマシタ産業組合ノ官僚化、營利化、斯ウ云フ産業組合本來ノ使命ニ反シテ居ル點ニ付テハ、違法行爲、脫法行爲ト共ニ之ヲ矯正シ、此本來ノ目的ニ向ッテ健全ナル發達ヲ遂ゲシムルト云フ方針ノ下ニ進メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、唯、産業組合——産業組合バカリデハナイト思ヒマスルガ、産業組合ニ付テ申シマスト、産業組合ニ官吏ガ關與スルト云フ意

味、詰リハ官吏ヲシテ居ッた者ガ産業組合ノ役員ニナル、サウ云フ意味デスカ、若シサウ云フ意味デアリマセヌケレバ、官僚化、此官僚化ト云フコトニ付テハ注意ヲシテ行キタイと思ヒマス

○渡邊委員 官僚化ト云フノハ、知事トカ、部長等ガ組合長トカニナル、サウ云フヤウナコトヲ云フノデアリマス

○島田國務大臣 是ハ事實ニ付テハ、此精神ヲ實現スルヤウニ努力スルコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ此事ヲ私ハ繰返シテ申上ゲルヤウデアリマスガ、此決議ニハ民政黨カラ持出サレタモノ、政友會カラ持出シタモノ、此モノハ精神ニ於テモ字句ニ於テモ殆ド一致シテ居ルノデアリマス、ソレハ政民兩黨ノ意見ノ一致シテ居ル點デアッテ、國民ノ大多數ノ者ガ其點ニ付テハ一致シタ希望ヲ持ッテ居ル、斯様ニ考ヘテ其當時自分モ之ニ贊成ノ一票ヲ投ジタ一人デアリマス、此意味ニ於テ自分ハ此精神ニ間違ヒナイヤウニシテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キマス、何分私モ責任ノ地位ニ立ッテ居リマスガ、就任シテ尙ホ日ガ淺イモノデアリマスカラシテ、將來ノコトニ付テ是ダケ以上ノコトヲ此場合申上ゲルコトハ出來ナイ、是ダケハハッキリ申上ゲテ置

キマス

○渡邊委員 其違法行爲ノ罰則ヲ此次ノ議會ニ提案サレル考ガアリマスカ

○島田國務大臣 現在ニ於テモ違法、脫法ノ場合ニ付テハ相當ノ處置ヲ執ルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス、併ナガラ之ヲドウ云フ風ナ形ニ於テ次ノ議會ニ罰則ヲ持出スカト云フコトニ付テ、只今言明スルコトハ御宥シヲ願ヒタイ

〔此時發言スル者アリ〕

○東委員 委員外ノ方ハ發言ヲ慎ンデ貰ヒタイ

○渡邊委員 尙ホ全國的組織、全國購買組合聯合會、販賣組合聯合會ト云フヤウナモノ、是ハ獨占的ノ商業ノヤウニ思フ、是ガ餘リ發達スルト地方ノ農村ノ爲ニハ好クナイヤウニ思フ、ト申スノハ、是デ大都會カラ仕入レテ、サウシテ直接ニ産業組合ノ系統ヲ經テ配給スルト云フコトニナレバ、其網ノ商賣ハ榮エマスガ、人口二萬ヤ三萬ト云フ都會デハ鉛筆、石鹼ト云フヤウナ小サイ工業ハ興リ得ルノデアリマスガ、サウ云フモノニ影響ヲ及ボシマスノミナラズ、商人ノ系統ハ、此機關ノ活躍ニ依ッテ非常ナ打撃ヲ受ケル、然ルニ此系統ハ低利資金ヲ借入レルコトハ殆ド無限デ、五千萬圓モ、六

千萬圓モ併リラレル、サウシテ官廳ハ支持シテオキデニナリマスカラ、大變ナ勢力ヲ持ッテ居ル、之ニ對シテ此儘デヤラシテ置イテ宜イノカ、ソレトモ之ヲ抑壓シテ何等カノ制限ヲ加ヘネバナラスト御考ニナッテ居リマスカ

○島田國務大臣 全購聯、全販聯ト云フモノガ事實ドウ云フ風ナ活動ヲシテ居ルカト云フコトハ只今申上ゲマシタヤウニ、未ダ私時日ガ淺クテ實際ノ事情ヲ詳シク承知シテ居リマセヌ、ソコデ私ハ此場合ヤハリ此點ニ對シマシテハ總テ全購聯、全販聯ニ拘ラズ、産業組合ガ事業ヲヤッテ行キマス上ニ於テ營利化スル、是ガ限界ダト云フヤウニ考ヘテ居リマス、營利化スルト云フ所ニ弊害ナリ、非難ノ起ル點ガアルト云フヤウニ考ヘマシテ、其點ニ付テハソコヲ限界トシテ監督ナリ指導ナリヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○渡邊委員 全國購買聯合會ノ先般ノ肥料ノ問題ニ關スル失策等、サウ云フコトハ私共コ、デ申シマセヌ、是ハ農林大臣御承知デゴザイマセウガ、サウ云フ點トカ、只今申サレタ營利化トカ或ハ有ユル種類ノモノニ無軌道ニ進出スル等ノコトガアリマスカラ、今ノ意見ニ依ッテ、只今マデノ所御承知

ナケレバ、尙ホ十分其點ヲ御探究ノ上、是ガドウ云フモノデアルカ、是デハイケナイ、斯ウデアルト云フコトニ付テ、ドウゾ出來ルダケ早ク御決心ヲ御固メヲ願ヒタイ、ソコデ最後ニ私ガ結論ノヤウニシテ御伺シ、且ツ希望ヲ申上ゲタイト思フ點ガアリマス、私此法律ニ付テ、甚ダ諸君ニハ迷惑デアリマシタガ、三日間ニ亙ッテ色々御尋シテ參リマシテ、大體立法ノ趣旨其他ニ付テハ疑問ノ點ハ分ッタノデアリマスガ、結局私ノ見方ト致シマシテハ、ヤハリ財政上竝ニ外地米ノ統制ノ上カラ言ッテ、目前ニサウ效能ノアルモノデナイト思フ、ソレカラ又農村救済ト云フ意味ノ法案デハ勿論ナイノデアリマシテ、米穀政策ノ是正、修正ト云フ法案デアルト思ヒマスガ、此特別議會ニ強ヒテ之ヲ御出シニナルコトノ必要ガ一方ニナイト思フニ拘ラズ、本會議ノ席デ工藤氏ガ言ハレマシタヤウニ、又此席デモ屢、御話ガ出マシタヤウニ、一方此法案ノ成立シマスル前ニハ、自分達ノ商賣ガ一舉ニシテ、ト云フ譯デナクテモ、聽テ潰サレルモノガ直グ潰サレル、即チソレヲ促進スル法案デアルトシテ此様ニ全國的ニ騒イデ居ルト云フ政治上ノ實情アリトスレバ、ソレヲ考慮ニ入レテ、本會議竝ニ只今モ聲明サレマシタヤ

ウナ趣旨ヲ實現シテ、若クハソレヲ實現スルト同時ニ此法案ヲ提案サレタト云フ意味ニ於テ、私ハ此法案ノ決定ガ他日、少クトモ通常議會マデ延ビルヤウニナレバ結構ダト云フ風ナ考ヲ持ッテ居リマス、併シサウ云フコトニナルカドウカハ勿論分リマセヌ、今後ノ皆サンノ意見デドウ決ルカ分リマセヌガ、此法案ノ運命如何ニ拘ラズ私共ハ此議會ガ濟ミマシタナラバ——此點ガ私ノ一ツノ要求デアリマスガ、直ニ産業組合ノ本質及ビ其妥當ナル活動範圍ヲ檢討シテ、是ト商人トノ紛争ヲ調和セシムル方法ヲ考究スル爲メ、衆議院ヲ中心トスル——勿論貴族院ガ入ッテモ惡イト云フコトデハ決シテアリマセヌガ、帝國議會ガ中心トナル權威アリ委員會ヲ組織スル、斯ウ云フ風ナ趣旨デ何等カ此問題ノ解決ヲ速カニ圖ルコトヲシナイナラバ、若シ此法案ガ通過致シマスト、私カラ申スナラバ通過スル處ガアルト思フガ、私自身トシテハ是ノ通過セザランコトヲ希望シテ居ルノデアリマスガ、萬一此法案ガ決定ヲ見ルヤウナ場合ニハ、私共ハ世間デ言ッテ居ル反產運動ト云フモノハ益、熾烈トナルト考ヘルノデアリマスカラ、此法案ノ運命如何ニ拘ラズ、又例ヘバ此法案ガ通過シマセヌデモ、米商人ト云フモノ

ハ販賣組合ノ關係デ、七八年ノ後ノ運命ハ今ヨリ知ルベキノミト思ヒマスケレドモ、併シドウカサウ云フコトノナイヤウニ、産業組合ノ本質ト云フモノヲ探究シテ、之ヲ何トカ是正スルト云フ意味ニ於テ、寧ロ此次ノ議會ニハ法律ノ必要ナモノハ法律、其他ノ手段デ農林大臣ガ決行ノ出來ルモノハ其用意ヲスルト云フコトデ、ドウカ此議會ノ後ニ委員會ヲ作ルナリシテ欲シイ、斯ウ云フ委員會ハ私ハ必要ダト思フノデアリマスガ、御互ニ他ヲ知ラズシテ研究ガ足りナイトカ、或ハ適當ナ方策ヲ練ルノニ付テ、知識ノ足りナイ點モアルカモ知レマセヌカラ、有ユル關係方面カラ衆智ヲ集メテ、斯ウ云フ委員會ヲ作ッテ戴クト云フコトガ、一番大事ノコトデ必要ダト思フノデアリマスカラ、此點ニ付テ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 只今ノコトニ付キマシテハ議會前渡邊君ト御目ニ懸リマシタ際ニモ、私ノ意ノ在ル所ヲ申上ゲタコトガアルト考ヘマスガ、米ノ問題其他ノ農村關係、又産業組合、中小商工業者、斯ウ云フヤウナ關係ニ關シマシテ、十分ニ研究ヲシ檢討ヲ遂ゲタイト考ヘテ居リマス、而シテソレガ爲ニ適當ナル委員或ハ適當ナル機關ヲ設

ケテ、ソレハ殊ニ貴衆兩院議員、斯ウ云フモノヲ委員トシタモノヲ設ケテ、其研究ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、一應御尤モト考ヘテ居リマスカラ、是ハ十分慎重ニ考慮シテ見タイ、是ダケ申上ゲテ置キマス

○渡邊委員 只今ノ私ノ最後ノハ餘リニ具體的ナ發言デアリマシタガ、ソレハ別ニ政黨トシテ申上ゲタノデハナク、個人トシテ申上ゲタノデアリマス

○高橋委員 今渡邊委員カラ何ダカ産業組合ニ對シテノ再檢討ノ委員會ヲ開クヤウナ註文ヲシテ、大臣ガソレニ御答ニナッタヤウデアリマスガ、産業組合ノ本質ニ對シテノ再檢討デゴザイマスガ、ソレ共本質ノ使命ヲ全カラシムル爲メノ委員會ノ如キモノデアリマスガ、ソコヲ一ツハッキリ御願シタイ

○島田國務大臣 渡邊君ノ御趣意ハ、産業組合ノ本質ニ付テ檢討スルト云フヤウナ御言葉デアッタと思ヒマスガ、私ハソレニ對シテ本質ノ檢討ノ爲ニ委員ヲ設ケル、斯ウ云フ意味ノ御答ヲシタ譯ヂヤアリマセヌ、前議會、前々議會並ニ本期議會、此委員會ノ席上等ニ於テ段々問題ニナッテ居ル事柄ヲ考ヘマシテ、サウシテ是等ニ關シテ自分ト致シマシテ相當考慮研究ヲシナケレバナラス

ト思ッテ居ルノデアリマス、米ノ問題ニ關スルコトニ付キマシテハ、是ハ議會前ニ渡邊君ト個人的ニ話シタコトモアリマシテ、是ハ度々申上ゲマスヤウニ、一ツ突込シタ研究ヲスル必要ガアラウ、斯ウ云フ意味カラ今委員會云々ノコトニ付テハ考慮致シマセウト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○北委員 渡邊委員ノ先程ノ御話ハ、農村ハドウシテモ廢ッテ行クベキモノデアル、サウ云フ廢ッテ行クベキモノヲ助ケル必要ハナイト云フヤウニ私ニハ聞エタノデアリマス、ソシテ前提デヤラレルトスレバ、農民ハドウシテモ自ラヲ守ル爲ニ産業組合ヲ強化シテ行カナケレバナラスコトニナリ、是ハ商人以上ニ困ル問題デアル、商人ガ今困ルト云フ問題ドコロデハナイ、農民ノ前途ハ全クナイモノト私ニハ思ハレルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ議論ノ下ニ、サウ云フヤウナ前提ノ下ニ、今委員會デモ開カレルモノトナッタラ大問題ダと思フノデアリマス、サウナレバ吾々農民ハ大イニ考ヘナケレバナラス、ドウシテモ是ハ議會ニ出直シテ來ナクチャナラス、吾々ハソシテ積リデ議員ヲ出シテ居ルノデハナイ、ソシテコトニナルナラバ、議會ヲモウ一遍解散シ

テ貰フ、農民ガ死ンデモ構ハヌノダト云フ行キ方ヲサレテモ宜イノカ、ドウモ吾々ニ付託シテ居ル問題ト違ッテ居ルナラバ、私ハ全國ノ農村、所謂農民ノ爲ニ放ッテ置クコトノ出來ナイ問題デアルト思フ

○渡邊委員 私ノ先程話シタコトハ速記録ヲ御讀ミニナレバ分ル、只今北君ガ申サレタヤウナコトデナイト云フコトハ一目瞭然デゴザイマス、産業組合ト農民トハ全ク別デアリマス、ソコデ此産業組合ニ關スル檢討ノ委員會ノコトデ私ノ申シタ本質云々ノコトハ、ソレハ自分ノ感じガ今迄話シテ來タコトノ中ニ出タダケデアリマシテ、結論トシテ申上ゲルコトハ、今農林大臣ノ御話ノ通りデアリマシテ、商人ノ方デハ産業組合ノ發展デ困ルト言フ、又只今一寸此處ニ北君ノ言葉ガ出タヤウニ、産業組合ヲ抑ヘテドウスルノダト云フ空氣モアリマス、此儘放ッテ置ケバ益々衝突ハ劇シクナル、是ハドウシテモ政治的ニ解決シナケレバナラスノデアリマス、單ニサウ云フ意味デアリマス、ソコデ總デハ産業組合ノ本質ハドウ云フモノデアルカ、活動範圍ハドウ云フモノカト云フ議論ハ出マシタケレドモ、委員會ヲ若シ御設ケニナルトスレバ、兩者ノ紛爭ヲ政治的ニ早く解決シナケレバナラス、斯

ウ云フ趣旨デアリマス

○永山委員 只今ノ農林大臣ノ御答辯ハ附帶決議事項ノ趣旨ノ點ニ關シテ運用上ニ關スル委員會ト心得テ宜シウゴザイマス

○野中委員 私ハ大臣ニ質問シマス前ニ、所謂施行令ノ中ニ觸レルデアラウト思ハレマスカラ、先ヅ事務當局カラ一應ノ御説明ヲ得タイト考ヘマス、サウシテ根本論ニ關シマシテハ、大臣カラ御伺致シタイと思ヒマス、サウ云フ譯デゴザイマスカラ、極メテ短簡ニ——昨年モ私ハ此委員會ニ出席致シマシテ、大體ノ政府ノ意ノアル所ハ分リマシタガ、今度法律案ガ出マシタニ付テ、昨年ノ法律案ト大分違ッテ居ル、違ッテ居リマスカラ、其點ヲ簡單ニ御當局ノ方カラ御答辯ヲ願ヒマシテ、續イテ大臣ノ御答辯ヲ得タイト考ヘマス、昨年私ハ此本條ニ規定スル統制組合ニ於テ一般ノ米ヲ取扱ハシムル積リデアルカ、少クトモ此統制組合ガ出來タナラバ、取扱ハセナイ積リデアッデモ、所謂市場ニ出ヅベキ自由米ガ此統制組合、否統制組合ヲ代行スル産業組合ヲ通ジテ市場ニ出ズルデアラウト云フコトヲ質問致シマシタ所ガ、荷見政府委員ハ、或ハサウナルカモ知レヌト云フヤウナ御答辯デゴザイマシタガ、今度モヤハリ其御意見ヲ御持續

ニナリマスカドウデスカ

○荷見政府委員 甚ダ話ガ簡單デ私ニハ分
リニクカッタノデゴザイマスガ、モウ一遍要
點ダケ……

○野中委員 昨年約三十分ばかり此問題ヲ
議論シタノデスカ、餘リ時間ヲ取ッテハド
ウカト思ヒマシテ要約シテ申上ゲタノデ御
分リニナラナカッタカモ分リマセヌ、併ナガ
ラ昨年度ニ於テ、此自治管理法ガ施行セラ
レマスレバ、此自治管理法ニ依ッテ代行ス
ル組合ガアリマス、即チ是ハ販賣組合、所
謂産業組合デアルガ、其産業組合ガ代行ス
ル、サウスルト云フト、此産業組合ヲ通シテ
統制米ニアラザル米ガ出ルト云フコトガア
リハセヌカ、斯ウ云フ風ナ工合ニ昨年質問
シマシタ、サウシマシタラアナタハ、サウカ
モ知レヌト云フヤウナ極メテ不明確ナ御言
葉デハアリマシタガ、此事實ヲ肯定セラレマ
シタガ、本年モ同様ニ御肯定ニナリマスカ
ドウデスカ

○荷見政府委員 私ハ繰返シテ申上ゲテ居
ルノデアリマスガ、此米穀自治管理法案ガ
施行セラレマス際ニ、米穀統制組合ト云フ
モノヲ設ケ、而シテ其統制組合ヲ設ケル必
要ノナイ所ハ産業組合ガ代行スル、代行シ
タ時ニハ、其行動ノ範圍ハ統制組合ノ行フ

ベキ事業ノ範圍ニ限ラル、ノデアルト云フ
コトヲ、繰返シテ申上ゲテ居ルノデアリマ
シテ、從ッテ代行組合ガ代行スルガ爲ニ其
外ノ米迄モ取扱フト云フコトハ考ヘテ居リ
マセヌ

○野中委員 昨年モサウデゴザイマシタ
ガ、併シ統制組合ニ於キマシテハ、成程統
制米シカ取扱ハナイデアリマセウガ、此統
制米ヲ取扱フ所謂代行組合、其代行組合ヲ
通ジテ、從來ナラバ商人或ハ其他ノ人々ノ
手ヲ通シテ賣ルベカリシ自由米ガ、此代行
組合ヲ通シテ出ルコトハナイカアルカ、サ
ウ云フ虞ガアルカナイカ、此點デアリマ
ス

○荷見政府委員 代行組合トシテハ、外ノ
米ヲ取扱フトコトハナイト考ヘマス

○野中委員 昨年何回モ繰返ヘシタコトデ
ゴザイマスガ、併シ昨年ハ御認メニナリマ
シタカラ、一ツ速記録ヲ御覽下サイ、昨年
ノ速記録ヲ御讀ミニナレバ、私ノ今ノ質問
ト同ジ趣旨ノ御答辯ガ昨年アッタト云フコ
トハ御諒承下サルト思ヒマスカラ、其點ハ
抜キマシテ、第二十八條ノ米穀ヲ取扱フ販
賣組合——昨年ノ改正法律案、政友會民政
黨ノ妥協致シマシタ改正法律案ニ依リマス
ルト、是ハ一番初メニ農會ガ代行スル、サ

ウシテ農會ノ都合ノ惡イ時ニ於テ、米穀ヲ
取扱フ販賣組合、即チ産業組合ガ取扱フヤ
ウニナッテ居ッタノデアリマスガ、本年ハ一
番初メニ産業組合ガ代行シテ、其産業組合
ノ代行ノ後、産業組合ガナイトカ、或ハ産
業組合ガ缺點ガアルトカト云フヤウナ場合
ニ於テ農會ガ取扱フヤウナ工合ニ、此法文
上デハ認メラレマスガ、是ハドウ云フ風ナ
御意思デ御變ヘニナッタノデアリマスガ、ソ
レヲ御伺致シタイト思ヒマス

○荷見政府委員 ソレハ昨年ノ御修正モ今
回提出致シマシタ分モ全然同ジデゴザイマ
シテ、昨年御修正ニナリマシタ時ニハ、二
十八條ノ一項ト云フモノヲ第四條ノ二項ニ
御移シニナッタダケニ止ルヤウニ承知致シ
テ居リマス、而シテ是ハ條文ノ作成上カラ
致シマス、ヤハリ同ジ趣意デアリマス
ガ、條文ニ置ク所ハ二十八條ニ置キマシタ
方ガ非常ニ分リ易イノデアリマス

○野中委員 續イテ、代行致シマスル米穀
ヲ取扱フ販賣組合、是ハ特別ノ事情ガアル
時ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合ノ
事業ヲ行フト云フヤウナ工合ニナッテ居リマ
スガ、特別ノ事情ト云フモノハ、即チ此販
賣組合ガ缺點ガアルトカ何トカ云フコトヲ
意味シタノデアリマセウカ、現在ノ販賣組

合ノ中ニ於テ睡眠組合ガ澤山アルコトハ御
承知デアラウト思フ、ソレデアリマスカラ、
詰リサウ云フ不健全ナ販賣組合ニハ代行サ
セナイ、斯ウ云フ風ナ御意思デアリマセウ
カ、ドウデセウカ、ソレヲ御伺シテ置キタ
イト思ヒマス

○荷見政府委員 ソレハ販賣組合ノ中デモ
事業ノ成績ガ宜シクアリマセヌトカ、或ハ
米作地ノ大部分ヲ區域ト致シテ居リマセヌ
トカ、一定數以上ノ組合員ガナイトカ云フ
ヤウナモノニ對シマシテハ代行ト云フコト
ハ適當デゴザイマセヌ、サウ云フコトヲ制
限スル積リデ、ソレヲ勅令デ書ク豫定ニ
ナッテ居リマシテ、御手許ニ差上ゲタ次第
デゴザイマス

○野中委員 即チ此條文ニ書イテアル組合
條件ヲ具ヘテ居ナイ組合、ソレト内容ニ缺
陷ノアル組合、サウ云フモノニハヤラセナ
イト云フヤウナ積リデアルト云フ御説明デ
アリマシタカラ、ソレデ宜シウゴザイマス
ソレカラ第五十二條ノ「米穀統制組合ハ
法人トシ第一條ノ自治管理ヲ行フヲ以テ目
的トス」トアリ、而シテ此五十三條ニ於テ
「第四條第一項」ト、第一項ヲ限定シテアリ
マスガ、是ハドウ云フ風ナコトナノデアリ
マセウカ、昨年ノ法律ニ於キマシテハ、第

四條ノ全部ガ適用サレタモノデアリマスガ、本年提出ノ法案ノ中ニハ第四條第一項ダケシカ書イテアリマセヌガ、其理由ハドウ云フ風ナコトデゴザイマスカ

○荷見政府委員 是ハ其第四條ノ第二項ガ加ハリマシタノデ、ソレデ第一項ト云フノガ此處ニ書キ加ヘテゴザイマス、ト云フノハ昨年ノ第四條ノ中ニ、議會ノ御修正デ、倉庫證券ノ發行ノコトガ入リマシテ、其發行ニ關スル委任勅令ガ第二項ニ入リマシタノデ、ソレデ第一項ト云フノヲ書キマセヌトシツクリ致シマセヌノデ、第一項ト云フ字ガ入ッテ居リマス、昨年ト同ジデゴザイマス

○野中委員 昨年モ第四條ハ同ジデス、組合ニ於テ統制スベキ米穀ヲ貯藏スルコト「前號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付組合員ニ資金ノ融通又ハ其ノ斡旋ヲ爲スコト」是ハ少シモ變ッテ居リマセヌ

○荷見政府委員 是ハ第二項ト云フノハ昨年出シタ政府案ニハナカッタノデアリマス、ソレデアリマスカラ此第五十三條ノ規定ノアル第四條第一項ト云フ一項ト云フ字ヲ加ヘル必要ハナカッタノデアリマス、然ルニ今度ハ只今申上デマシタヤウニ、倉庫證券ノ規定ガ挿入サレテ、ソレニ關スル委任勅令ノ規定ガ第二項ニ出來マシタカラ、ソレデ

第一項ト云フ字ガ入ッテ居ルノデアリマシテ、昨年ト少シモ違アリマセヌ

○野中委員 サウスルト米穀商統制組合ト云フノハ、自治管理ハ致シマスルケレドモガ、第一回ノ統制以後ノ第二回ノ統制シカ出來ナイノデアリマスカ、第一回ノ統制モ爲シ得ルノデアリマスカ

○荷見政府委員 ソレハ第二回ノミデアリマス

○野中委員 ソレカラ第七條ニ強制加入ヲ政府ガ命令シテヤラセルヤウニナッテ居リマスルガ、此強制加入ヲ認メル理由ヲ一ツ聽カシテ戴キタイト思フ

○荷見政府委員 第七條デゴザイマスガ、是ハ統制組合ハ其區域内ノ、詰リ昨日モ問題ニナリマシタ自治管理法第二條ニ掲グル者ヲ以テ組合員トスルト云フコトデアリマシテ、此規定ハ強制加入ト云フ規定デハナイヤウニ思ヒマスルガ……

○野中委員 「米穀統制組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ第二條ニ掲グル者ヲ以テ其ノ組合員トス」ト云フヤウニアリマスカラ、命令ノ定ムル所ニ依リ無理ニ入レラレル譯ニナリマセウ

○荷見政府委員 是ハ私、御尋ネガアッタノヲ、御話デツイ釣込マレマシタノデアリマ

スガ、第十一條ニ「米穀統制組合成立シタルトキハ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組合員トス」ト云フコトニ書イテアリマスカラ、是ガ當然組合員ニナリマスル詰リ當然加入ノ規定ニナッテ居ルト考ヘマス、ソレハ此組合ト云フモノハ米穀ノ統制ヲ致シマス爲ニ必要ナル團體デアリマシテ、此組合ガ出來ルヤウナ場合ニ

ハ、秩序ガ案レテ目的ヲ達スルコトガ出來マセヌカラ、ソレデ此統制組合ガ成立シマシタ時ニハ、其地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ、當然加入ニナルト云フコトニ致シタノデアリマシテ、他ノ立法例ニモ種種例ノアルコトデアリマス

○野中委員 例ヲ聞イテ居ルノデハナイノデアリマス、詰リドウシテ斯ウ云フ強制規定ヲ持ッテ來タカ、他ノ立法關係ハ兎モ角モ、自治管理ト云フ名前デアアル此管理法ニ此強制規定ヲ入レタニ付テノ御意見ヲ聞イテ居ルノデアリマス

○荷見政府委員 是ハ此自治管理法ノ目的ヲ達スルニ必要デアルト云フ意見デ入レマシタ譯デアリマス

○野中委員 是カラ先ハ昨年聞イタ所デアリマスカラ質問致シマセヌ、唯、第二十二條

ニ依リマシテ、「經費ノ分賦及過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟」ガ出來マスケレドモ

ガ、是ガ他ノ場合ニハ出來ナイ時ガアル、例ヘバ役員ガ不當ナル割當ヲシタ場合、或ハ役員ノ不正ナル場合、斯ウ云フ場合ニ於テハ所謂行政訴訟ヲスルコトガ出來マセヌガ、是ハドウ云フ風ニシテ御矯正ニナル積リデアリマセウカ、例ヘバ役員ガ不當ナル割當ヲ爲シマシタ時ニ、一々自分ノ田ノ收穫量ヲ坪刈リヲシテ決メルト云フヤウナ面倒ハ一寸疑問ダと思ッテ居リマス、又一々サウ云フ坪刈ヲシテ居ッテハ迎モ間ニ合ハナイ、ソレデアリマスカラ、事實上トシテ、此場合ニ於キマシテ一寸役員ノ不當ナル場合ニ於キマシテハ、何等カノ救済方法ガナケレバナラスト思ヒマスガ、是ハドウ云フ風ニシテ救済スルコトガ出來マスカ、當該官廳ニ申告シタダケデ救済スルコトガ出來マスカドウデスカ、之ヲ御伺ヒ致シマス

○荷見政府委員 是ハ第四十五條ニ「前二條ノ割當ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フコトニナッテ居リマシテ、其場合ニ異議ノ申立等ニ付テハ命令ニ規定サレルコトニナッテ居ルト考ヘマス

○野中委員 併ナガラ一々行政官廳ニ裁決

價ニ非常ニ接近シタ場合、サウ云フ場合ニ於テ發動スベキモノダト思ヒマスガ、之ニ對スル御考ハ如何デスカ

○荷見政府委員　サウ云フ場合ガ最モ標準的ナ場合デアルト考ヘマス

シテ……米穀自治管理法案ノ發動ハ、昨日
聽キマシタラ、過剩米ガ需給計算ノ上デ出
テ來タ時ニ統制スルト云フノガ一ツノ條
件、ソレダケト思ツテ居リマシタラ、研究ス
ルト不明ナ點ガアツテ、種々質問應答ヲ重ネ
タ結果、ヤハリ價格モ一ツノ條件ニナル、

即チ最低價格以上一割、ソレ以上ニナレバ統制後ノ米ハ解除サレルンダカラ其裏カラ精神解釋カラ云ヘバ、此米價ガ最低價格ヨ

リ一割以上ノ價格——其價格ヨリ高イ所ニアル場合ニハ卽チ自治管理法ハ出動シナイノダト云フコトヲ御明答ニナツタ、ソレナレバサウ云フコトヲ一體法律ニ規定サルベキモノダト私が申シタ、併シ種々ノ事情デ法律ニハ規定シナイト言ハレタ、ソレデ最低價格ヨリ一割以上ノ所、ソレ以內ニ價格ガナラナケレバ無論自治管理法案ガ發動シナイト云フコトハ明カデアリマセウ、其點ハ速記ニアルカラ是ハ明カダトシテ私ハ茲ニ認メテ置キマス——斯ウ云フ問答デ

終ッたノデアリマスガ、只今ハ最低價格以上

一定ノ價格ト言ハレマシタガ、然ラバ此席
デ先日申サレタノハ誤リデアッタト申サレ
ルカ、或ハ此説明ノ「パンフレット」ニアリ
マスノニ、是ハ全國ノ市町村カラ警察官マ

デ五萬、六萬御配布ニナッタト云フコトヲ

開イテ居リマスガ、サウ云フコトマデシテ
宣傳サレテ最低價格ノ上値一割、ソレ以內

ノ時デナケレバ自治管理案ハ發動シナイ、

斯ウ云フコトヲ明言サレタノニ、今日ハソ
レガ少シ曖昧ニナリ掛ッテ居ルヤウデアリ

マスガ……

○荷見政府委員 曖昧ニスル必要ハ一ツモ
ナイノデアリマシテ、曖昧ニハ申上ゲナイ
積リデアリマス

○野中委員 今ノ場合ヲモウ少シハッキリ
伺ッテ置キタイ

○荷見政府委員 ソレハ一割程度ト云フコ
トハ何回モ申シマシタノデ、私分ッテ居ル
ト思ヒマシテ一定ノ程度ト申シマシタノデ
スガ……(其通り)一割ト同ジコトヲ何遍
モ繰返セバ……

○野中委員 ソレハ解除條件ノ場合ノ問題
テ、統制ノ發動條件ダト私共マダ聽イテ居
ラナカッタ、デアリマスカラ是ハ統制ノ發動
條件カ、或ハ解除條件カ、發動條件トスル

ナラバ所謂過剰米ガ最低價格ニ近イ價格ヲ

割ラントスル時ニ第一回ノ發動ガアルノデ
ヤナカラウカ、今ノ所ニ依ルト一割内外ノ
時ニ發動スルト云フコトデアリマスガ……

〔サウデヤナイヨト呼フ者アリ〕

○島田國務大臣 今ノ點ハモウ明カダと思
ヒマスガ、渡邊君ノ御話トアナタノ御話ヲ
合セ、サウシテ政府委員ノ答辯ト合セラレ

ルトハッキリシテ居ルト思ヒマスカラドウ

ゾ其程度デ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

○野中委員 宜シウゴザイマス、其程度ニ
於テ發動スルモノデアルト云フコトダケヲ
承認致シマス

○荷見政府委員 一割内外ト云フヤウナコ
トハ少シモ申シマセヌノデアリマスガ、一
割程度ニナッタ場合ニハ解除ヲ致ス時期ニ

到達スルノデアリマスカラ、左様ナ場合ニ
ハ統制ヲ命ズルコトハアリマセヌト云フコ
トハ昨日モ數回ニ互リ渡邊サンニ申シタヤ

ウニ思ッテ居ルノデアリマス、其通りニ御諒
承願ヒタイノデアリマス

○野中委員 了承致シマス——其次ニ是ハ
昨年聽イタノデアリマスカラ、モウ聽ク必
要ハナイト思ヒマスガ、念ノ爲ニ御聞キ致
シマスガ、詰リ此統制ノ發動シマス時ハ、十
二月一日以後デアルト考ヘテ居リマス、即

チ十一月一日ニ全國ノ市町村カラ集ッテ來

タ材料ニ依ッテ、過剰米ガアルト云フヤウナ
コトヲ御認定ニナッテ、而シテ此價格ト云フ
モノガ或ハ豫想サレル最低米價ヲ割ラント

スル時、サウ云フヤウナ場合ニ於テ、發動

スルノデアリマセウカラ、サウスルト此十
二月一日即チ最低米價ガ出來ル時ト、十一

月一日ニ豫想サレル最低米價——ソレハマ
ダハッキリ分ラヌガ、ソレヲ割ラントスル時

ニ出動スル、其十二月一日マデノ間ニ若干
ノ値段ノ開キガ或ハ時ニハ出來ヌトモ限ラ

ヌ、ソレハ御承認ニナリマスガ

○荷見政府委員 發動ト云フ御言葉デゴザ
イマスガ、是ハ昨日モ申上ゲマシタ通り、
十一月一日ノ現在高、ソレカラ或ハ豫想收

穫高等ヲ見テ需給推算ヲ、直チニ致シマシ
テ、サウシテ決定スルコトニナルノデアリ
マスカラ、十一月中ニ極マルノデアリマス、

尙ホ新シイ最低價格ハ十二月ノ半バニナッ
テ極マリマス、是ハ米穀生産費ノ調査ガ、十
二月ノ初ニナッテ地方廳カラ報告ニナルノ
デアリマスカラ、例年十二月ノ半バニ決定

サレルコトニナッテ居リマス、隨テ其間ニ於
キマシテハ、豊凶ノ差等ニ依ッテ價格ニ若
干ノ差ガアルコトハ考ヘラレマスケレド
モ、大體從來ノ例ヲ見マシテモ、ヒドイ差

ニハナッテ居リマセヌ

○野中委員 ソレガアルト云フコトヲ御認
メニナレバソレデ宜シイノデアリマス、私
モソレハアルガラウト思ッテ居リマスカラ、
念ノ爲ニ御伺スルノデアリマス

ソレカラ酒米、是ハドウ云フ風ナ工合ニ

御統制ニナル積リデアリマスガ、例ヘバ斯
ウ云フ風ナ一般ノ米ト違ヒマシテ、酒米ト

云フモノハ、即チ酒屋ガ仕入レマス時ニハ、
一時ニ米ヲ買フノガ普通デアル、ソレヲ此

統制法ニ依リマシテ、酒米ノ何分ガ統制ニ
ナッテ、一割以上デナケレバ解除出來ヌト云

フコトニナリマスナラバ、所謂酒ノ醸造米
ト云フモノガ時ニ或ハ不足シハシナイカ、

斯ウ云フ點ガアルノデアリマス、勿論之ニ
特殊ノ場合ニ於テハ統制ヲシナイコトガ規
定サレテ居リマスカラ、此酒米ノヤウナモ

ノハ、此統制ノ中ニ入ラヌト云フコトヲ御
考ヘニナッテ、オ書キニナッタモノデアラウ

カ、一ツ御伺シタイ

○荷見政府委員 酒米ハ統制ヲ割當テマス
時ニ、其標準ノ中カラ省ク積リデアリマ
ス

○野中委員 分リマシタ、ソレデハ農林大
臣ニ御質問申上ゲマス、マダ細カイ參考材
料ニ付テ御伺シタイと思ヒマスガ、私ガ要

求致シマシタ材料ハ、實ハマダ手許ニ入ッテ參リマセヌ、隨テホンノ有觸レタ材料シカ入ッテ參リマセヌ、併シ今ニナリマシテハ材料ノ提出モ非常ニ遲過ギルト云フコトニナリマスノデ、詰リ材料ナクシテ質問スル譯ニナッテ居ルノデアリマスガ、此政府カラ御提出ニナリマシタ産業組合ノ現況昭和九年度、此中ニ於キマシテ、販賣事業ヲ行フ組合數一萬一千二百二十、購買事業ヲ行フ組合數一萬二千八百八、斯ウ云フ風ナ工合ニ書イテアリマスガ、是ハ現在ノ組合數デアリマス、併シ此中ニハ私ハ所謂事業ヲ行ハナイ睡眠組合ト云フヤウナモノガアルト考ヘテ居リマスガ、此點ニ關シテハドウ云フ風ナ御感想ニナッテ居リマスカ

○小平政府委員 睡眠組合ト云フモノガदन位アルカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ調査甚ダ困難デアリマシテ、今月事業ヲ停止シテ居リマシテモ、來月直グ始メルト云フ風デアリマシテ、非常ニ困難デアリマシテ、正確ニハ御答申上ゲ兼ネル次第デアリマス

○野中委員 答辯ハ出來ナイカ、アルト云フ事實ハ御認定ニナリマスカ、ナリマセヌカ

○小平政府委員 多數ノ組合デアリマスカ

ラ、其中ニハ事業ヲ停止シテ居ル組合モアリマスシ、殆ド事業ヲヤッテ居ラナイ組合モアル譯デアリマス

○野中委員 所謂睡眠組合ヲ御認定ニナッタンデアリマスカラ宜シイノデアリマシタガ、其「パーセント」ハ私共ガ持ッテ居リマス材料ニアリマス率ト、アナタ方ノ御調査トハ違フデゴザイマセウカラ、其點ニ付キマシテハ私ハ是ハ彼此レ申上ゲマセヌ、併シ兎ニ角睡眠組合ガアルト云フ事實ダケハ、御承認ニナリマシタカラ、ソレデ宜シウゴザイマス

ソレカラ根本的ノ問題ト致シマシテ、私ハ農林大臣ニ御質問申上ゲマス、私ハ本會議ニ於キマシテ、此自治管理法案ヲ繞リマシテ、所謂國內紛爭ト同ジヤウナ意外ナ爭ガ起ッテ居ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ、而シテ斯ウ云フ風ナ事柄ハ日本ノ國策ノ上カラ見テモ、或ハ時ニ國防上カラ見テモ、洵ニ憂慮スベキ問題デアアル、ソレデアルカラ斯ウ云フ風ナ事柄ハ成タケ起ラナイヤウニシナケレバナラス、而シテ起ッタ場合ニ於テハ、之ヲ如何ナル方法ニ依ッテモ、所謂妥協ナリ鎮撫ナリヲシナケレバナラス、斯ウ云フ風ナ見地カラ致シマシテ、農林大臣ノ本法律案ヲ提出致シマシタ理由竝ニ動機ノ間

題ダケヲ承ッタンデアリマス、併シ其際ニ於

ケル農林大臣ノ御意見、所謂説明ト云フモノハ、マダ私ニハ十分デハアリマセヌガ、併シ私ハ今更ソレヲ繰返サウトハ考ヘナイ、ソレハ認識ガ違ッテ居ルカモ知レナイ、或ハ時ニ考ガ違ッテ居ルカモ知レナイ、ソレデアリマスカラ、其理由ハ言ハナイ、言ヒマセヌガ、要スルニ此自治管理法案ヲ繞リマシテ、紛タル色々ナル議論ガアルコトハ事實デアル、時ニ或ハ此管理案ハ直ニ通過セシムベシト云フヤウナ意見ヲ有ッテ見テ居ル人モアリ、或ハ知ッテサウ云フ意見ヲ言フノカ、或ハ知ラズシテ言フノカ知ラヌガ、兎ニ角此管理案ハ直ニ通過セシムベシト云フヤウナ口調ヲ以テ動イテ居ル人ガアルト云フコトハ事實デアリマス、同時ニ此自治管理案ハ所謂階級闘争的ナ爭ヲ起スモノデアアル、ソレデアルカラ斯ウ云フ風ナモノハ、成ベク止メナケレバイケナイ、撤回シナケレバイカスト云フヤウナ氣持ヲ持ッテ居ル人モアル、或ハ此管理案自體ニ對シマシテハ、マダ文句ハ言ハヌケレドモ、併シ此管理案ノ次ニ來ルベキ問題ニ付テ非常ナ恐怖ノ眼ヲ以テ反對ヲシテ居ル人モアル、サウ云フ風ナ工合ニ、兎ニ角社會問題トシテ此米穀自治管理法案ハ、一昨年ノ冬カラ日本ノ政治界

ニ投出サレタ問題デアリマス、而シテ其反對ノ理由、贊成ノ理由ハ別ト致シマシテモ、原案ヲ通過セシムベカラズト云フ議論ヲ私共ガ大別ヲ致シテ見マスト、大體四ツニ分ケラレルノデハナイカト考ヘラレル、而シテ之ニ對シテ農林大臣ノ説明ナリ或ハ當局ノ説明ナリガ肯定スベキ問題デアルトスルナラバ、恐ラク其反對ノ一部分ハ解消スルカモ知レヌ、併ナガラ若モ大臣ノ御答ニシテ、或ハ答辯ニシテ、或ハ意見ニシテ、此人々ノ意見ヲ更ニ確メル、所謂確固ニスルコトガアリトスルナラバ、此問題ハ由々シキ社會問題トシテ尙ホ將來ニ於テ、先刻渡邊サング言ハレマシタ通り、本案ガ通過シタ場合ニ於テ、容易ナラヌ問題ガ起ラデアラウト云フコトヲ言ハレマシタガ、私共モ同ジヤウナ氣持デ之ヲ見ナケレバナラスノデハナイカト考ヘマス、要約ヲシマスト、此法案ニ對スル反對ハ今言ウタ通り四ツノ理由デアリマス、私共ハ政府ト共ニ、或ハ政府ト離レテ、斯ウ云フ反對ヲ成ベク解消スル、否此本案ヲ適正ニ發動スルヤウナ風ニセナケレバナラスト思フ、是ガ政府ノ言ハレタ一ツノ理由デアリマスル、即チ國庫ノ負擔ヲ減ズルト云フコトハ、私共ハ先ヅ承認ヲ致シマス、大體反對者ノ中ニ於キマシテハ、

政府ノ負擔ハ決シテ僅少ニハナラナイト云フ理由ヲ以テ反對ヲスル人ガアリマスルカモ知レナイガ、先ヅ今マデノ質問應答ニ依リマシテモ、大體ニ於テ政府ノ言ハレマシタ、詰リ平常時ニ於ケル國費ト云フモノハ幾ラカ、成程今マデトハ違ッテ減ルカモ知レナイ、併ナガラ其他ノ反對ノ問題ニ對シマシテハ、依然トシテマダ私共ハ腑ニ落チナイコトガ多イノデアリマス、ソレデアリマスカラ、其理由ニ付キマシテ農林大臣ノ責任ノアル御答辯ヲ得テ、或ハ時ニ蒙ラ啓イテ行キタイト考ヘルノデアリマス、併シ私ハ昨年モ本委員會ノ委員ヲ致シテ居リマスルカラ、重複シタ問題ハ御聽キ致シマセヌ、而シテ新シイ事柄ニ付テ、而モ又反對ノ人々が最モ恐レテ居ル問題ニ付テノミ、農林大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

反對ノ第一ト致シマシテ、此本法案ニ依ッテ小農ハ救ハレナイト云フヤウナ意味カラ反對ヲナサル方ガアルノデアリマス、即チ此法律案ト云フモノハ、大體産業組合ノ代行ガ中心デアル、而モ産業組合ニハ實行組合トシマシテ幾分ノ人々ハ入ルカモ知ラヌガ、大體農村ノ産業組合ハ小地主以上ノ人デアル、ソレダカラ本案ニ於テ利益ヲ得ル、少クトモ損失ヲ免レル人々ハ、即チ小

地主以上デアッテ、本當ノ貧農階級ト云フモノハ依然トシテ救ハレザルモノデアルト云フ意味合カラ、此法案ニ反對ノ氣持ヲ持ツ人モアルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、私ハ農林大臣ニモウ一遍是等ノ本案ノ所謂組合員トナルベキ人ノ内容ニ付キマシテ意見ヲ確カメテ置キタイト考ヘルノデアリマス、今マデ政府ノ答辯ニ依リマスレバ、此統制組合ニ加入スル者ハ、即チ自作農ニシテ、五反歩以上、小作農ニシテ一町歩以上、是シカ加ハラナイノデアリマスルガ、果シテ此外ノ人ハ加ハルコトガ出來ナイノカドウカ、之ヲ御伺シタイト考ヘマス

○荷見政府委員 ソレハ此前ノ御修正ニ依リマシテ出來ルコトニナッテ居リマス、第十一條第二項ニ「第二條ニ該當スル者ニシテ第七條ノ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員タル資格ヲ有セザルモノハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ米穀統制組合ニ加入スルコトヲ得」是ハ昨年ノ議會ノ御審議ノ際ニ、其一定資格ガナイ者デモ、本人ガ希望スル場合ニハ定款ノ定メニ依ッテ加入セシメテ宜イデハナイカト云フ御趣意デ、此一項ハ加ヘラレテ居ルノデアリマス、此修正ノ結果ヲ私共ハ立案致シテ居ルノデアリマスルカラ、左

様ナ者モ加ヘ得ルコトニナッテ居リマス
○野中委員 成程今ノ命令ニ依ッテソレハ定メ得ルガ、是ハ所謂實行組合ト云フヤウナモノヲ作ラナケレバ加ヘルコトガ出來ナイノデアリマセウカ、單獨ニ加ハルコトガ出來ルノデセウカ

○荷見政府委員 ソレハ實行組合ヲ作ル必要ハゴザイマセヌ

○野中委員 第二ノ問題ト致シマシテ、是ハ富吉君以下其他ノ人々カラ言ハレタコトデアリマスルガ、本當ノ貧農階級ト云フモノハ其米ヲ庭先デ賣ル、或ハ青田デ賣ル、或ハ黒田デ賣ル、或ハ今日初メテ聽イタ言葉デアリマスルガ、白田デ賣ルト云フヤウナコトデアリマス、サウ致シマスト云フト、十一月ノ末日ニ初メテ統制命令ガ出ルトシマスレバ、即チ十二月初メカラ統制ガ始マルトスルナラバ、此前ニ出來タ早稻米ヲ持ッテ居リマスル、或ハ早稻米ヲ作ッテ居ル者ハ、此統制法ニ依ッテ救ハレナイ人々ト見テ宜イノデアリマセウカ、ドウデセウカ
○荷見政府委員 ソレハ過剩米ガアルカドウカト云フ推算モ出來ナイ以前ノ問題デアリマスケレドモ、斯ウ云フヤウナ制度ガ立チマシテ、假令米ガダブツイテモ米價ガエライ暴落ヲスルコトガナカラウト云フ制度

ガ立チマスレバ、米價ガ前以テ下ルコトガゴザイマセヌカラ、餘程有利ニ維持サレルコトニナルト思フノデアリマス

○野中委員 假令、米價ガ下ルマイト思フダラウガ、下ル場合モアリ得ル、同時ニ又上ル場合モアリ得ル、何レニ致シマシテモ、此人々ハ金融ガ非常ニ逼迫ヲシテ居ル、ソレガ爲ニ今言ッタヤウナ次第ニ依リマシテ、米ヲ賣ルノデアル、サウスルト、統制法ノ發動ガナイトスルナラバ、此人々ト云フモノハ所謂其米ヲ此統制法ノ利益ニ浴スルコトハ出來ナイ、ソレデアリマスカラ、即チ之ニ依ッテ所謂、庭先デ米ヲ賣ルヤウナ、貧農ノ人ハ、此統制法ノ利益ニ浴セナイト見ナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、之ニ對スル御意見ハ如何デアリマスカ

○島田國務大臣 是ハ三宅君ノ御質問中ニモアリマシタコトデ、此自治管理法ノミヲ以テ左様ナ問題ヲ悉ク解決ヲスルト云フコトハ、是ハ企圖シテモ居ラズ、出來難イコトデアリマス、デ此早稻ノ間ニマダ刈取ヲシナイデ既ニ賣ル、或ハ青田デ賣ルト云フヤウニ、其以前ニヤルト云フコトハ、更生部長ガ申シマシタヤウニ、是ハ農民ノ窮迫狀態デ、別ナ關係カラ之ニ對スル對策ヲ講

シル必要ガアル、即チマア主トシテ金融ノ問題デアリマスガ、斯ウ云フコトニ付テハ別ノ見地、別ノ立前カラ、之ニ對スル對策ヲ講ジナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○野中委員 勿論ソレハ別ノ對策デアリマシテ、此本法ニ依ッテハソレハ救ハレナイ、斯ウ見ナケレバナラスト考ヘマス、之ヲ間違ヘマシテ、通過ヲ希望スル人ニ依リマシテハ、本法ニ依ッテソレガ直グニ救ハレルカノ如キ誤解ヲ以テ贊成ラシテ居リマス人モアリマスカラ（「ノウ／＼」）サウ云フコトハ即チ本法ニ依ッテ救ハレナイ、本法ニ依ッテ救ハレル者ハ斯ウ云フヤウナ庭先ノ賣買ノ人々ニハアラズシテ、他ノ人デアルト云フコトガ分リマス、勿論農林當局ト致シマシテハ、他ノ方法ヲ以テ斯ウ云フ人々ヲ御救済ニナルコトヲヤルデアラウト私共ハ考ヘマスルガ、兎ニ角本法ニ依ッテハサウ云フ人々ハ關係ガナイノデアルト云フ點ダケハ之デ明瞭ニナッタト私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ今ノ政府ノ負擔輕減ノ問題デアリマスガ、是ハ劈頭ニ申シマシテ通り、政府ノ言ッテ所ハ間違ヒハ先ヅ少イ、或ル意味合ニ於キマシテハ、財政上ニ於ケル政府ノ缺損ハ幾ラカ通レルコトガ出來マス、

併ナガラ今言ウタ通り、凶作時デナクテ豐作時、豐作時ガ年々續クヤウナ場合ハ――

是モ豫想サレルノデアリマスガ、其場合ニ於キマシテハ、所謂雜費ト申シマスルカ、或ハ品損ミトカ、天災デアルトカ、鼠デアルトカト云フヤウナ雜費ハ、是ダケハ生産者ガ損失ヲスルモノデアアル、斯ウ見テ宜シウゴザイマセウカ、此點ヲ一ツ承リタイ

○荷見政府委員 是ハ貯藏ヲサレマシタ時ニハ、品損ミヤ何カナイヤウニ、燻蒸手入費ト云フモノヲ補助金トシテ交付スルト云フヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、

サウ云フヤウナ手入ヲ致シマスレバ、サウ云フ風ナ減損ナシニ參ル筈デアリマス

○野中委員 燻蒸ナドヲシマシテモ、現ニ政府ノ燻蒸シマス米デモ若干ノ品損ミノアルコトハ事實デアリマス、程度ハ減少スルカ

モ知レマセヌガ、品傷ミヲスルト云フ事實ハ免レルコトハ出來マセヌ、ソレデアリマスカラ、其點ノ一部分ノ缺損ハ勿論アルデセウ、併シハ他ノ方法ニ於テ――特ニ國家ノ財政ニ關係ノアルコトデナク、又特別ニ農民ニ負擔ヲ加重セシメルト云フ問題デアリマセヌカラ、其問題ニ付キマシテハ前ニ申シマシタ通り、此程度ノ所ニ致シマシテ、先ヅ政府ノ意見ヲ肯定スルノデアリ

マス、ソレカラ反對ノ理由ト致シマシテ、此法律ハ今渡邊サンガ言ハレマシタ通り、

背後ニ何カ關係ガアルノデハナカラウカ、即チ直言シテ言フナラバ、産業組合強化運動デハナカラウカト云フヤウナ考ヲ持チ

マシテ、之ニ對シテ猛烈ナル反對ラシテ居ルノデアリマス、即チ今マデノ自由主義的大資本ニ壓迫ヲセラレマシタ商人ガ、此自由主義的大資本ニ代ルベキ、所謂官僚ト一部ノ下層農民階級ノ名ニ於テ現レテ來テ居ル産業組合ノ壓迫ニ依ッテ、自分達ノ生活ガ脅カサレルノデハナカラウカ、或ハ自分達ノ生存權ガ脅カサレルノデハナカラウカト云フヤウナ見地カラ、本案ニ對シテ反對スル人ガ相當アリマス、相當デハナイ、私カラ見マスレバ、是ハ根本的ナ問題ダト考ヘマス、ソレデアリマスカラ、今渡邊サンカラ幾分産業組合ノ問題ニ付キマシテ御話ガアッタノデアリマスルカラ、私ハ補足ノ意味カラ、此問題ヲ質問致シタイノデアリマス、勿論私ハ何モ此米穀自治管理法案ヲ通ジマシテ、反産運動ヲ行ッテ居ルノデアリマセヌ、公正ナル日本ノ所謂政治ノ討論セラルベキ國府ニ立チマシテ、正シイ意味カラ、所謂公平ナ立場カラ、産業組合ニモ加擔セズ、或ハ商人ニモ加擔セズ、更

ニ一步上ニ立ッテ日本ノ國民相ヲ直視シテ、サウシテ此問題ノ是非ヲ定ムベキガ至當ト考ヘルノデアリマスガ、本日産業組合ノ新聞ノ中ニ「反産運動ノ闘將野中徹也君ガ議事引延シノ爲ニ」云々ト云フヤウナコトヲ書イテ居リマスガ、斯ウ云フ批評ハ何トモ考ヘナイ、考ヘナイガ、兎ニ角私ハ反産運動デハナイ、今言ッテ通り公正ナル立場ニ立ッテ

本案ヲ審議ショウト云フノデアリマスカラ、其意味合カラ、今反對者ノ側ニアリマスル人々ガ、本案ノ後ロニハ大キナ黒イ幕ガアルノデハナイカ、其黒イ幕ノ後ニ所謂魔者ガ居ルノデハナイカ、ソレガ即チ産業組合デハナイカト云フヤウナ意味合ヲ以チマシテ、此案ニ反對ヲ爲サルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、能ク／＼此問題ニ付テハ考ヘテ見ナケレバナラス、實ハ此團體的經濟闘争ト云フモノハ、農林大臣ハ先刻本質論的ニ於キマシテハ御肯定ニナリマシタノデスガ、私ハ疑問ヲ持ッテ居ル、所謂團體的經濟活動ト云フモノガ、果シテ終局ノ利益ヲ齎スモノデアアルカドウカ、非常ニ疑問ニ思ッテ居ル、現ニ團體活動ト云フモノハ、利益ヲ齎スモノデアルトスルナラバ、今私ノ手許ニアルヤウニ、例ヘバ此産業組合ノ中ニ睡眠組合ガ出來ル譯ハナイ、勿論

信用組合ノヤウナ工合ニ、銀行ノ代理ヲシテ居リ、或ハ高利貸ノ眞似ヲシテ居ル、サウ云フ風ナ所謂堅實ナル組合デアリマスレバ、是ハ睡眠組合ハ少イ、併ナガラ商賣ヲヤツテ居ル、商行爲ヲヤツテ居リマスル所ノ組合ト云フモノハ、非常ニ睡眠組合ガ多イ、昨年はハ質問シタノデアリマスカラ、今更繰返シマセヌ、繰返シマセヌガ、兎ニ角此睡眠組合ガ或ハ四〇%、或ハ三六%ト云フ工合ニアルト云フ現實カラ見ル時ニ於テ、所謂團體經濟活動ト云フモノハ、終局ノ利益ヲ齎スモノデアルカドウカ、若シ是ガ個人的ナ損害デアリマスルナラバ、恐ラク個人ノ没落デ済ム、併ナガラ團體ノ經濟活動ニ於テ、若シ其活動ニ於テ缺損ヲ生ジタ場合ニ於テハ、其跡始末ハ容易ナコトデハナイ、現ニ政府ガ御考ニナツテ居ル通り、モウ御經驗ノ通り、乾繭組合ト云フモノガ出來テ居リマスルガ、此乾繭組合ガ、成程時ニハ良イ成績ノモ無論アリマス、併ナガラ殆ド大部分ハ意外ナル缺損ヲシテ居ル、意外ナル缺損ヲシマシテ、辛ウジテ借入金ニ於テ、或ハ助成金ニ於テ、或ハ補助金ニ於テ生活ヲシテ居ル、體面ヲ保ツテ居ルト云フノガ事實デアル、斯ウ云フヤウナコトカラ考ヘテ見ル時ニ、又睡眠組合ガ現實ニアル

所カラ見ル時ニ、私共ハ經濟團體活動ト云フモノハ、終局ノ利益ヲ齎スモノデアルカドウカ、所謂人々ガ言フガ如ク、之ニ依ッテ本當ニ更生サレルカドウカ、農村ガ更生サレルカドウカ、私ハ理論的ニ疑問ヲ持ッテ居ル、併シ事實問題トシテ是ガ日本ノ法制トナリ、大部分ノ人ガ此組合ニ加入シテ居ル現實ニ於テ、此組合員ヲドウシヨウ、或ハ斯ウシヨウト云フ考ハ毛頭アリマセヌ、又此組合ヲ外國ノ產業組合ト比較致シマシテ、所謂特別ノ恩典ニ浴シテ居ル、ソレガ善イカ惡イカ、サウ云フコトハ私ハ此處デハ論ジマセヌ、併ナガラ兎ニ角此經濟團體活動ト云フモノガ果シテ善イカ惡イカ、非常ニ疑問デハアリマスガ、本日ハ先ヅ其問題ハ後ノ問題トシマシテ、產業組合ノ人々ガ豫想スル程善イモノデハナイト考ヘラレマス、又此點ニ對シマシテ、本質論的ニハモウ農林大臣ハ既ニ之ヲ助長セシメル考デアルト云フコトヲ言ハレマシタカラ、再ビ繰返ス必要ハナイトハ考ヘマスガ、學問的ニ見マシタ場合ニ於キマシテ、或ハ斯ウ云フ風ナ團體活動ヲドウ云フ風ニ御覽ニナツテ居ラレルカ、其御意見ヲ一寸伺ヒタイト思フ

○島田國務大臣 全體トシテ經濟ノ問題ニ

付テ、團體活動ノ善シ惡シト云フコトニ付キマシテハ、私ハ淺學ナ者デアリ、又其點ニ付テ深キ經驗モナイ者デアリマスカラ、之ニ關シテ野中君ノ御參考ニ供スベキヤウナ意見ヲ述ベルコトハ差控ヘタイト思ヒマス、併ナガラ政府トシテ現ニ存在シテ居ル產業組合ノ活動——產業組合ニ對シマシテハ、繰返シテ申上ゲマスヤウニ、曩ノ議會ニ於テ附帶決議セラレタル趣意ニ從ッテ指導監督ヲ致シタイ、斯ウ云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス

○野中委員 政府ノ大臣トシテノ御答辯ハ、ソレ以上ニハ出來ナイト思フ、又本當ニ此庶政一新ト云フヤウナ氣持ヲ持ッテスルナラバ、再檢討ヲ爲サツテモ差支ナイノデアリマスガ、併シソレハ中々現在ニ於テハ難カシイコトダラウト考ヘマスカラ、其事柄ニ付キマシテハ大臣ノ御意見ハ再ビ求メマセヌ、併ナガラ此產業組合ハ、現在ニ於テ睡眠組合ノ數ガ多ク、此睡眠組合ガ此自治管理法ニ依ッテ復活スルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲ非常ニ惧レテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、私ハ先刻事務當局ノ御意見ヲ聽キマシテ、即チ現在ノ市町村ニ於キマシテ、不良ナル組合ニハ代行ヲサセナイト云フ御答辯ヲ得テ居ルノデ

アリマスガ、兎ニ角此睡眠組合ノ數ガ相當ニ多ウゴザイマスカラ、施行ニ當リマシテハ、餘程農林大臣ハ嚴重ナル監査ヲ必要トスルガ、今日ニ於ケル產業組合ノ監査ガ、果シテ正當ニ行ッテルカドウカ、私共ハ非常ニ疑問ニ思フ、農林省ハサウデモアリマセヌガ、縣廳ノ役人ガ入リマスガ、事實上ニ於テ今渡邊サンガ指摘サレタ通り、此產業組合ノ聯合會長ガ知事デアリ經濟部長デアル、ソレデアリマスルカラ其下ノ官吏ト云フモノハ、此產業組合ニ假令不正アリトシ或ハ缺陷アリトシテモ、之ヲ摘發シマセヌ、ソレデアリマスカラ、例ヘバ睡眠組合ノヤウナモノデアリマシテモ、正當ニ活動シテ居ルカノ如ク報告ガアル、或ハ不正ナルコトハドウカトシマシテモ、少クモ不當ナル事實ニ對シテモ、中々申告ヲシナイト云フノガ、恐ラク今日ノ全國ニ於ケル狀態デハナイカト私共ハ考ヘル、ソレデアリマスカラ、渡邊サンモ言ハレマシタシ、大臣モ或ハ訂正スルト云フ御意思ヲ御示シナリマシタカラ、私ハ重ネテハ言ヒマセヌ、言ヒマセヌガ、兎ニ角官吏ガ之ニ關與スルコトハ、神聖ナル組合活動ヲ助成スル所以デハナイト思フ、ソレデアリマスルカラ、本法ガ施行サレル場合ニ於キマシテハ、農村當局タル

モノハヨク、組合ノ内容ヲ見テ、其内容ニ依ッテ代行セシムルト云フヤウナ工合ニシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此問題ニ對シテ重ネテ農林大臣ノ大體ノ御意見ヲ伺ッテ置キマス

○島田國務大臣 此法案ト致シマシテハ、産業組合、農會、是等ガ代行致シマス場合ニハ、許可ヲスルノ方針ヲ執ッテ居リマス、即チ組合ノ許可ヲスル場合ニ事情ヲ研究致シマシテ、サウシテ適當ナル場合ニ於テ許可スルノ方針ヲ執ッテ居リマス、唯此産業組合ノ事業ノ建設或ハ監督、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、現在ノ農林省ノ得テ居リマス豫算カラ申シマス、此建設監督ノ費用ト云フモノガ非常ニ少イノデス、産業組合ノ數ガ非常ニ多クナッテ割合ニ少イノデアリマスカラ、之ニ付テハ豫算總會ニ於テモ質問ニ對シテ御答フシテ、是ハ大藏當局モ其點ハ肯定シテ居リマス、相當此點ニ付テ、現在アル産業組合ノ數ニ應ジテ、相當ナ時機ニ適當ナ建設監督ノ出來ルヤウニ、機關ノ充實ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、ソレハ尙ホ出來ルダケノ努力ヲ致シマシテ、サウシテ經費ニ關スル事柄ハ、出來レバ之ヲ次ノ機會ニ要求シ、御協賛ヲ得ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○野中委員 ソレデ結構デゴザイマス、併シ反對ヲスル人ト言ヒマス、或ハ誤解スル人ト申シマス、其人々ノ中ニハ、此産業組合ノ中ノ睡眠組合ヲ、本法ニ依ッテ復活ヲセシメルノダト云フ意見ヲ有シテ居ル者ガアリマス、即チ本法ニ於キマシテハ、先ヅ大體ニ於テ從來ノ産業組合ノソレト違ヒマシテ、殆ド各組合ト云フモノガ缺損ハ無イ、何シロ米ノ格差ニ對シテハ、之ニ對シテ政府ガ補償スル、保管料ハ拂フ、金利モ拂フ、又出來ルダケノ金額ヲ貸シテヤル、サウ云フヤウナコトデアリマスルカラ、此組合ハ實ハ缺損ハ無イ、私ハ無イト思フ、併ナガラ之ニ伴ヒマシテ、斯ウ云フ風ナコトヲ爲ス虞ガアルノデアリマスルカラ、是ハ事務當局カラデ宜シイノデアリマスルガ、例ヘバ寄託米、統制米ト言ッテモ宜シウゴザイマス、此統制米ニ對スル金融ハ、組合ニ金融ヲナサイマスルカ、ソレトモ組合員、即チ統制組合員自體ニ直接金ヲ貸スト云フヤウナ工合ニ致シマスルカ、斯ウシマセヌト斯ウ云フ危險ガアルノデアリマス、詰リサウ云フ睡眠組合ハ、此米ヲ何箇月カノ間政府ノ命令ニ依ッテ統制ヲサレル、統制米ヲ預カル、是ハ解除スルコトガ法律上ニ於テ規定サレテ居リマスルカラ、

此解除條件ガ發生シナイ間ハ、此米ノ貯藏ハ解除シナイ、サウスルトソレダケノ金ヲ自分ガ現實ニ持つテ居ル、ソレデアリマスルカラ、若シモ是ガ個人ニ直接ニ渡スコトナクシテ、組合ニ渡サレルヤウナコトガアリマスルナラバ、或ハ惧レル、即チ組合ガ自分ノ名ニ於テ、政府カラ米穀資金ダケヲ融通シテ貰ッテ、サウシテ今マデノ缺損ニ振向ケルト云フ、非常ナ危險性ガ茲ニ起ッテ來ヤシナイカト思ヒマス、之ニ對シテ政府ハドウ云フ考ヲ持つテ居リマスルカ、若シ持つテ居ルトスルナラバ、斯ウ云フ事件ヲ防止スル爲ニ、ドンナ風ナ御考ヲ持つテ居リマス、ソレヲ御伺シタイト思ヒマス

○荷見政府委員 此自治管理法ノ規定デハ、御承知ノ通り第四條ノ第一項ノ第三號デ「前號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付組合員ニ資金ノ融通又ハ其ノ斡旋ヲ爲スコト」ト云フコトニナッテ居リマシテ、組合ガ資金ノ融通ヲ受ケテ行ッテ、ソレヲ米ニ對シテ組合員ニ融通シテヤルト云フノガ一ツ、又ハ他カラ組合員ガ借りヨウトスル場合ニ其斡旋ヲ爲スコトガアルノガ一ツ、此二ツノ場合ニナッテ居リマシテ、兩方ノ途ガ付クコトト考ヘテ居リマス

○野中委員 ソレダカラ中々重要ナノデア

リマシテ、是ハドウシテモ——勿論其前ニ睡眠組合ノ憂慮アルモノ、或ハ缺損組合ト云フモノガ能ク監督セラルレバ、ソレハサウ云フ缺陷ハ少イ、サウ云フ不正ハ少イ、併ナガラ是ノ監督ヲ怠ルト云フト、所謂睡眠組合ノ役員デ、殆ド農村ノ農民ト云フモノハ、此處デ申上ゲルコトハ甚ダドウカトハ思ヒマスルケレドモ、大部分ノ人ハ餘リサウ云フコトニ頓著シナイ、ソレデ或ハ産業組合ナリ或ハ農會ナリ、サウ云フ風ナ指導者ノ言フコトヲ其儘鵜呑ニシテ、安心ヲシテ居ル人ガ多イノデアリマス、ソレデアルカラ此統制組合ガ出來タ場合ニ於テ、又代行サセルヤウナ場合ガアルトスルナラバ、政府ハ嚴重ナ監督ヲシタイト云フト、意外ナ問題ヲ起シハシナイカ、私共ハ斯ウ云フ風ナ問題ハ、或ハドウモ起ッテ來勝チデヤナイカト思フ、起ルンデヤナイカト心配スル、ソレデスカラ能ク此事ニ對シマシテハ、政府ハ私共ノ氣持ノアル所ダケハ御酌ミ下サイマシテ、嚴重ナル監督ヲスルニアラズンバ、或ハ本法令ハ折角或ハ良イト云フ氣持ヲ以テ提案サレタカモ知レナイガ、反對ノ現象ガ起ラヌトモ限ラヌ、ソレデアリマスカラ其點ニ付キマシテハ、殊ニ現在睡眠組合ガアリ、活動ガ十分デナ

イ、今日ノ農村當局ニ私ハ自分ノ私見ヲ申上ゲ、且ツ私共ノ知ッテ居ルコトヲ申上ゲテ居ルノデスカラ、直接嚴重ナ活動ヲシテ欲シイト思フノデアリマス、ソレカラ第三番目ハ、即チ米穀商ノ生活ノ問題デアリマス、所謂米穀商ガ自分ノ生活ガ之ニ依ッテ脅威サレハシナイカ、少クトモ自分ノ生業ト云フモノガ、是デ奪ハレハシナイカト云フヤウナ心配デ以テ、非常ニ此法案ニ對シテ反對ヲ致シテ居ルノデアリマス、此反對ノ理由ハ、渡邊サンカラ申シタノモアリマス、其他ノ諸君カラモ申サレタノデアリマスガ、私ハ其反對ノ理由ハ、又後カラ言ハレルデアリマセウカラ、特ニ其人々ノ反對ノ理由ヲ此處デ申シタクハナイ、唯農林大臣ガ本會議ニ於テ、斯ウ云フ風ナ人々ト協調ヲシテ、成ベク色々ナ面倒ナ事柄ハシタクナイ、起サナイヤウニ奮闘スル積リダ、サレバコソ附帶決議ノ趣旨ヲ體シタト云フヤウナ御意見ガアリマシタガ、私ガ考ヘマスコニ、ドウモ此米穀商ノ所謂懼レテ居ル所ヲ察シマス、斯ウ云フ點ガ最モ懼レテ居ルノデハナイカ、前ニ一寸申シマシタ通り、政府委員カラ速記録ヲ見テ意見ヲ確メテ貰フコトニナッテ居リマス、詰リ統制組合ト云フモノガ出來ル、サウスルト單ニ其統

制組合ハ、過剩米ヲ統制スルバカリデハナイ、取扱フノハ唯過剩米バカリデハナイ、ソレデ普通ノ米ガ此統制組合ヲ通ジテ市場ニ出サレルノデハナカラウカ、サウスルト自分ノ生業ノ幾部分カガ奪ハレル、ソレダカラ此過剩米ニ對スル今マデノ取扱ハ自分達ハヤッテ居ラナイ、勿論幾ラカハヤッテ居タ、買入ノ場合ニ於テ、現在三百萬石ノ過剩米ガアルカラト云ッテ、政府ガソレヲ買入レル、買入レマス時ニハ、或ハ農會ノ手ヲ通シ、或ハ産業組合ノ手ヲ通シ、或ハ商人ノ手ヲ通ジテ買ッテ居ッタ、ソレデアリマスカラ、過剩米ニ對シテノ問題ヲ云々スル人ガ少シ懼レテ居ルノハ、此過剩米ヲ統制スルコトニ依ッテ、アトデ自由米ノ賣捌ト云フモノガ幾ラカ邪魔サレルノデハナカラウカ、ソコデ自分ノ生業ガ奪ハレルノデハナカラウカト云フコトヲ非常ニ懼レマス、同時ニ又其自由米ガ一般ノ、所謂産業組合ノ手ニ依ッテ取扱ハレルコトニナルト、自分ノ最モ生業ノ主要ナル部分デアアル白米ノ小賣ト云フヤウナコトモ、ドン／＼ヤラレルニ相違ナイ、而モ多イ率ヲ以テヤラレルニ相違ナイ、ソレデハ自分ハ非常ニ困ル、成程政府ノ方デハ、商業組合ヲ擴大スレバ宜イデハナイカト云フ氣持ヲ持ッテ居ルケレ

ドモガ、商業組合ノ實際ト云フモノハ、産業組合トハ性質上ニ於テ違フ、商人ト云フモノハ、大體ニ於テ自分ノ立場々々ヲ以テ利害關係ト云フモノガ違ッテ居ル、ソレデアルカラ商業組合ヲ拵ヘテモ、之ヲ利用スル人ハ非常ニ少イ、所ガ農民ト云フヤウナ階級ハ、利害關係ガ非常ニ簡單デアアル、ソレデアアルカラ利害關係ノ同一者ガ非常ニ多イ、ソレガ爲ニ此産業組合ノ利用ハ出來ルガ、事實上ニ於テ、商業組合ガ幾ラ政府ガヤレト言ッタ所デ、商業組合ノ實際活動ト云フモノハ中々出來ナイ、ソレダカラソシナノヨリハ、寧ロ、自分達ノ生活ヲ脅威スルカラ、白米ノ小賣ナリ何ナリヲ禁止シテ貰ッテ、ソレヲ自分デヤッタ宜イ、或ハ政府ノ統制米ノ取扱ニ對シテ自分達ガ其中ヘ加ハッテ、サウシテ統制米ノ取扱ニ加ハルナラバ、今マデト同ジヤウナ狀態デアアルカラ、ソレ程自分ノ生活ハ苦シクハナラナイト云フヤウナ理由デ、現在ノ米穀商ノ人々ガ反對シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、斯ウ云フ風ナ點ニ於テ、即チ農林大臣ノ氣持ハ、商人ノ人ト共同ト云フ言葉ハ變デアリマスケレドモ、少クモ協調ヲ保ッテ、共存共榮ノ立場ニ立ッテ行キタイト云フ氣持ナラバ、ドウ云フ風ナ御考ヲ以

テ、此商人ノ人々ト協調セラレル考デアリマス、其御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 只今野中君ノ御述ニナリマシタ事柄ハ、十分其趣意ヲ了解シマシテ、是ハ實行ノ場合ニ參考トシテ、十分ノ注意ヲ以テ致シタイト思ヒマス、尙ホ此米穀商ノ問題ニ付キマシテハ、度々御答ヲ申シタ所デアリマスガ、協調ノ方針トシテ米穀商ニ、成ベク此組合ノ扱ヒマス所ノ米ヲ米穀商ヲ通シテ扱フ、斯ウ云フヤウナ方針ヲ以テ行キタイ、斯様ナ考ヲ持ッテ居ルノデス、サウシテ此配給調整ノ協議會ニ於キマシテモ、ヤハリサウ言ッタヤウナ事柄ヲ方針トシテ、協議ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、ソレニ依ッテ其成案ガ直チニ悉ク徹底ノ行ハレルカドウカト云フコトハ、尙ホ餘地ノアルコトデアリマスケレドモ、併ナガラ其方針ヲ以テ政府トシテハ臨ミタイト、斯ウ云フ氣分ヲ濃厚ニ持ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○野中委員 農林大臣ガ其御氣持デアアルナラバ洵ニ結構デアリマス、同時ニ之ヲ早ク本法案ノ審議ニ移ル前ニ、具體的ナ問題トシテ、御聲明ナリ或ハ何ナリヲ爲スッデ戴キタイト考ヘマス、ソレカラマダ一寸言落シマシタガ、此産業組合ニ對シマシテ商人

ガ恨レテ居リマス理由ハ、最近商人ノ人々ハ、米穀商バカリデハアリマセヌ、餘リ産業組合ノ人々ガ品數ヲ多ク取扱ヒ過ギル、私ハアトデ農林大臣ニ御質問スル積リデアリマセヌ、兎ニ角品ガ多イノデ、現在ノ農村ニ於キマシテハ米屋ガ反對スルバカリデハアリマセヌ、色々ナ人々ガ之ニ反對ヲシテ居ル、或ハ小間物商ガ出來ル、或ハ醫療施設ニ對シテ醫者ガ反對スルト云フヤウナ工合デ、色々反對シテ居ルノデアリマスカラ、ソレ等ハ所謂取扱品目ガ私共カラ見マスカラバ多イ爲ニ、サウ云フ風ナ色々ノ、反對ヲシテモ宜イヤウナ人々マデモ共鳴ヲシテ、反對スルヤウニナツタンデハナカラウカ、現ニ私ガ見ルト、成程ビックリスルコトガ澤山アル、是ハ全購聯企業週報ト云フデアリマスカラ、是ハ全國購買組合聯合會ガ發行シテ居ル新聞ニ相違ナイ、此中ヲ見マスルト云フト、色々取扱品目ガアル、驚クベキ多數デアル、此中ニハ是等ガ農村デ果シテ必要カドウカ、或ハ必要デアルト云フ人ガアルカモ知レマセヌガ、私共ガ常識論カラ考ヘテ見テ、斯ウ云フ贅澤品ガ農村ニ入ッデ、果シテ生活ガ良クナルカドウカ、否、惡クナルコトハ必然ダト思フヤウナモノガアリマス、組合田植

靴、田植スルノニ靴ヲ穿イテヤッテ居ル、今マデノ農民ハ大體裸足デヤッテ居ル人ガ多イ、勿論皆裸足デヤッテ居ル、或ハ十二指腸蟲デアルトカ、蛔蟲デアルトカ云フ風ナ、所謂傳染病防止ノ爲カモ知レマセヌガ、斯ウ云フ風ナモノマデモ入ッテ居ル、是ナドハ私共ハ所謂當事者トシテハ、餘程考ヘナケレバナラヌノデハナカラウカト考ヘルノデアリマスカラ、農林大臣ノ御意見ヲ承リタイ

○島田國務大臣 産業組合ノ扱フ品目ガ多過ギルト云フ意味ノ御尋デアリマスカラ、是ハヤハリ其組合ノ實際ニ於テノ事情ト對照ヲシテ考ヘナケレバナラヌコトデアリマシテ、單ニ抽象的ニ品目多シト云フコトデ以テ、之ニ對スル掣肘ヲ加ヘルトカ加ヘナイトカ云フコトノ答ハ出來兼ネルト思フ、又扱フ品目ニ付キマシテハ、ヤハリ地方ノ事情、組合員ノ狀況カラ、段々ニソコニ至ッテ居ルモノデアラウト思ヒマスカラ、唯此場合ニモ、度々繰返サヤウデアリマスカラ、此組合ノ品目如何ニ拘ラズ、組合ノ仕事ノヤリ方ガ營利化シテ行ク、官僚化スル一方ニナル、斯ウ云フ場合ニ對シテ、當局トシテハ其點ヲ嚴重ナ一ツノ境トシテ、之ニ對スル監督指導ヲ行フ、斯ウ云フ言葉ヲ以テ御

諒承ヲ願ヒタイ

○野中委員 農林大臣トシテノ御答辯ハソレダケダラウト思ヒマス、ソレ以上ハ言ヘナイモノダラウト思ヒマスカラ、諒承致シマス、内務省關係ノ人ハオ出デニナッテ居リマスカ

○東委員長 豫算ノ第二分科ニ大臣ハ居リマスカ、大臣デスカ、大臣デナクテモ宜シイデスカ

○野中委員 少クトモ次官以上デナケレバイカスト思ヒマス、是ハ米穀管理案ニ關係シマシタ、農村問題トシマシテ重要ナル問題デアリマスカラ、一ツ保留シマシテ明日デモヤリマセウ、サウシテ農林大臣ニ質問スル點ダケヲ質問シマシテ、内務大臣或ハ内務省關係ノ人ニ伺フコトハ、他日ノ機會ニ讓ラシテ戴キタイト思ヒマス、農林大臣ニ御質問申上ゲマス、農林大臣ハ此自治管理法案ヲ農村更生ノ爲ニ御出シニナツタ云フ御意見デアリマシタ、併シ私共ハ農村更生ノ爲デアリマスカラ、外ニモアルノデヤナイカ、モット根本的ナ問題ガアルノデハナカラウカ、勿論米ニ依ッテ若干配給機關ノ利益ヲ取ル、或ハ米ノ高低ヲ之ニ依ッテ幾ラカ狭メル、又農村ニ於テ現實ノ金ヲ幾ラカ餘計ニ取り得ル、サウ云

フ風ナコトニ依ッテ農村ノ問題ニ好イ影響ガアルト云フコトハ、是ハサウダラウト思フ、併ナガラ是ヨリ以上ニ農村ニ對シテ直接政府側デ手ヲ染メテモ宜イ位ノ事ガアルノデハナカラウカ、現在農林大臣ハ農民ノ窮乏シテ居ルノハ是ハ米ノ故デハナイ、詰リ米穀統制法ノ故デハナイ、ソレダカラ端境期ニ於ケル所ノ新米ノ出盛リノ農村ニ對スル對策トシテハ外ニ考究スルト云フコトヲ言ウテ居ラレル、ソレデアルカラ恐ラクソレハ農村ニ於ケル窮乏ト云フモノハ、是ハ單ニ米穀政策ノミニ依ッテ更生スルモノデハナイト云フコトハ、農林大臣ハ御承知ダト思フ、ソコデ私ハ御質問ヲシタイ、即チ米穀政策ノ中デモ、マダ私共カラ言ハセルナラバ、モウ少シ改メテ宜シイコトガアルノデハナイカ、即チ農村ノ窮乏ヲ救フノ一面ニ於テハ收入ヲ増大シ、一面ニ於テハ支出ヲ少ナクスル、此根本的ノ問題ハ是ハ内務大臣方來タ時ニ御伺シタイト思ヒマスカ、精神上ノ問題デアルト思フ、所謂精神上ニ於ケル農村救済運動、言葉ヲ換ヘテ言フナラバ、サウ云フ風ナ意味ニナリマスカ、是ガ此際ニ必要ナモノデハナイカト思フノデアリマスカ、内務大臣ガ居リマセヌカラ、ソレハ本日ハ申シマセヌ、ソレデ單ニ

經濟上ノコトノミデ以テ農村ハ救ハレナイ、如何ニ更生策ガ出來、或ハ農林省ガ頑張りマシテモ、唯經濟運動ダケデハ農村ハ救ハレナイト云フコトヲ私共ハ考ヘテ居ル、此問題ニ關シマシテハ内務大臣ノ所見ヲ求メタイノデアリマスカラ、内務大臣ガ來マシタ場合ニ、農林大臣ト立會ノ上デ、私ハ御質問ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、其根本的ノ問題デナイ、即チ收入ヲ從來ヨリ餘計ニスル、或ハ支出ヲ少ナクスル、此問題ニ對シテハマダ色々アルダラウト思フ、米穀統制法ノ運用ニ付テモ、マダ私共ハ政府トシテ御考究ニナルベキコトガアルノデハナイカト考ヘル、例ヘバ最低米價ノ決定ニ付テモ、私ハ相當考慮シナケレバナラヌダラウト思フ、本當ニ農村ノ更生ヲ圖ルナラバ、米價ノ決定條件ソレ自身ヲモウ少シ御考慮ニナラナケレバナラヌダラウト思フ、現在ノ米價ノ決定條件トシテハ、昭和八年十月二十三日ノ勅令二百八十號ニ依ッテ、米穀統制法施行令ガ出來テオリマス、併シ是ダケデハ私共ニ言ハセルナラバ宜クナイ、而モ此中ニ於キマシテハ常ニ中庸ナル價格、此中ニハ多少ノ利潤デアルトカ、或ハ色々モノガ加ッテ居リマスケレドモ、併シナガラ生産費ハ中庸ノモノヲ

採ッテ行カナケレバナラヌ、此中庸ノモノヲ採ッテ行カレルト云フコトハ、即チ此政府デ決定致シマシタ最低米價デハ損失ヲシテ居ルモノガアルト云フコトヲ以テ面ニ言フノデハナカラウカト思フ、成程暖國ノ方デ、收穫量ノ多イ方面ニ於キマシテハ、最低米價ハ此決定ヨリモ、ソレ程惡クハナイデセウ、殊ニ臺灣朝鮮ト云フヤウナ、特殊ノ生産條件ニ惠マレテ居ル所デハ、是ハ恐ラク其生産費ハ農林省ノ調査ニ於キマシテモ最低デアリマセウ、併シナガラ此米價ヲ定メマス時ハ中庸ノ米價デ決マッテ居ル、私共ハ此中庸ノ米價ガ決マッテ居ルノニ、一面ニ於テハ是デ缺損ヲスル米價ガアルト云フコトヲ肯定シナケレバナラヌト思フ、ソレデアリマスカラ此米價ヲ決定スル方針ヲ今ヨリ改メテ定メルナラバ、時ニ或ハ消費階級ニ云々ノ言葉ガアルカモ知レナイ、併ナガラ農民ノ缺損ニ於テ、商人或ハ消費階級、サウ云フヤウナ人々ガ自分ノ意見ヲ挾ムコトハアルマイト考ヘル、ソレデアリマスカラ政府ニ於キマシテ、此中庸ノ米價ヲ制定スル所ノ定メ方ヲ變更スル御意思ガアリマスカドウカ、若シモ是ハ最高トハ申シマセヌガ、少クトモ九〇%乃至九五%見當ノ所ニ米價ノ基準ヲ置クナラバ、日本ノ農民階

級ノ大半ハ所謂此米價ニ依ッテ損失スルコトナシニ終ル、所ガ此中庸價格ニ依リマシテハ半々ニナッテ居ッテ、上モ半分デアリ下モ半分デアル、ソレダカラ生産條件ニ惠マレヌ東北デアルトカ、北海道デアルトカ、或ハ關東デハ此米價デハ年々歳々缺損ヲシテ居ル、恐ラク東北方面ハ凶作ニ依ッテ今日ノ貧困ヲ來シタノカモ知レナイ、併ナガラ此米穀統制法自體ノ價格決定條件ガ、知ラズ識ラズノ間ニ東北ヲ貧困ナラシメタト言ッテモ、私共ハソナニ酷イ意見デハナイト考ヘル、ソレデアリマスカラ、政府ハ此農家ノ收入ヲ増ス意味カラ、米穀統制法ノ價格決定條件ヲ幾分考慮スル考アリヤ否ヤ、之ヲ訂正スル考アリヤ否ヤ、農林大臣ノ所見ヲ求メタイト思ヒマス

○島田國務大臣 價格決定ノ條件ヲ變更スルト云フコトニ付テハ、只今考慮ヲ致シテ居リマセヌ、尙ホ中庸ノ米價ヲ定メルト云フコトノ爲ニ、或者ハ利得ヲシ、或者ハ缺損ヲスルト云フコトハ、是ハ中庸ト云フコトニ伴フ當然ノコトデアリマス、ソコデ條件ノ惡イモノ、サウ云フヤウナモノニ對シテ、ソレガ爲ニ或ハ貧困ヲ増ス、サウ云フヤウナ事情ニ付キマシテハは一括シテ所謂農村問題、斯ウ云フ點カラ觀察致シマシテ、ソレニ對スル適切ナ方策ヲ講ズルノ外ハナカラウ、サウ云フヤウナコトノ見地カラ、之ニ對スル對策ヲ立テ、行カナケレバナラヌ問題デアル、斯様ニ考ヘテ、米穀法ノ關係法規ノ立前カラ、只今御話ノヤウナ中庸ノ米價ノ現在ノ定メ方ニ付テ、變更ヲ加フルト云フコトニ付テハ考慮ヲ致シテ居リマセヌ

○野中委員 ソコガモウ一段ノ御奮發ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此農村ノ生産物ノ價格ト云フモノハ、農村自體デ決メルコトハ殆ドナイ、工業製產品ト違ヒマシテ、農業生産品ノ價格ハ相手方ニ依ッテ定マルコトガ多イ、ソレデアリマスカラ農家ハ或ハ自分ノ本意デナクトモ、相手方ガ決メタ所ノ價格ニ依ッテ賣ラナケレバナラヌト云フ狀態ニアル、是ハ私共ガ幾多ノ農民ノ苦情ヲ聞キマシテモ、先ヅ殆ド口ヲ揃ヘテ此價格決定ノ條件ノ惡イコトヲ言ハナイ者ハナイ、工業製產品デアアルナラバ、殊ニ「カルテル」ナリ或ハ「トラスト」ニ於テ製産スル工業製產品デアリマスカラバ、是ハ自分デ利潤ヲ定メテ其價格ヲ決定スル、所ガ農家ノ利潤ト云フノハ其生産スル分量カラ見ルナラバ、非常ニ少ナイ、資金ヲ繰廻スニ付キマシテモ、東北方面或ハ私共ノ

方カラ北ノ方ニハ米八年ニ一回、代作ヲ致シマシテモ殆ド代作ハ出來ナイ、ソレデアリマスカラ此收穫デ金ヲ得ル時期ト云フモノハ一年ニ一回シカナイ、ソレガ今度ハ幾分南ノ方ニ行キマス、麥作ヤラ色々アリマシテ二回ニナリマスガ、東北方面ハ殆ド一回デアアル、ソレデアリマスカラ、サウ云フヤウナ所ニ於キマシテハ、餘程條件ヲ考ヘナケレバナラス、米穀統制法デ彼方カラ百人、此方カラ百人ト云フ日本中カラ成程農家ノ試験サレル所ノ人々ノ材料ヲ集メテ參リマスガ、サウ云フモノヲ中斷シテ眞ニ二ツニ割ッテ、米價ヲ決メラレタノデハ、是デハ條件ニ恵マレナイ連中ハ堪ラス、ソレデアリマスカラ私共ハ大膽ニ、寧ロ米穀統制法自體ノ價格ヲ御檢討ニナッテ、決定スル條件ヲ改メテ、サウシテ實際上ニ於テ困窮シテ居ル、又困窮シツ、アル東北ナリ或ハ生産條件ノ惡イ農家ノ收入ヲ幾分デモ増シテヤルヤウニスルノガ、最モ適切ナルヤリ方デハナイカト考ヘマス、是ハ意見デアリマシテ農林大臣ノ氣持ハ既ニ聞キマシタカラモウ言ヒマセス、農林大臣ハ是モ直シテ貰ヒタイ、サウシテ此決定條件ヲ、モウ少シ之ニ因ハレズニ、東北方面ニ於ケル米價ヲ最高ノモノニ決メルトカ、或ハ

條件ノ好イ關西方面ノ米價ハ或ハ九〇%ノ所ニ決メル、勿論現在ニ於テモ多少ハサウ云フコトニ決ッテ居リマセウ、又埼玉縣ノ米價ト茨城縣ノ米價ハ違ッテ居ル、其率ヲ變更スルヤウナ工合ニシテヤッテ貰ヒタイ、(質ガ違ッテ居ル)ト呼フ者アリ成程質ハ違ッテ居リマセウガ、私ノ言フノハ率デス、埼玉縣ト茨城縣、或ハ千葉縣ノ米價ト静岡縣ノ米價ト云フモノハ、米穀統制法ノ下ニ於テモ價格ガ違フ、ソレデスカラ算定スル方法トシテハ、サウ云フ氣持ヲ以テヤッテ貰ヒタイ、而シテヤル場合ニ於テハ特ニ東北方面ノモノハ「パーセント」ニ於テ決定スルヤウニシテ米價ヲ定メテ貰ヒタイ、農林大臣ノ御意見ハ聞キマシタカラ、私ハ唯私ノ考ダケヲ申上ゲマス

以上申シタノハ收入ノ問題デアリマスガ、次ニ支出ノ問題デアリマス、支出ノ問題ニ付キマシテハ、近頃餘リ贅澤ナモノガ入ッテ來テ居ル、斯ウ言ッたら前ノ方カラ御叱リガ出タ、農民ダッテ人間ダト云フ御叱リヲ受ケマシタガ、成程農民モ人間デアリマス、人間デアリマスカラ、農民デモ彌ガ上ニモ良イ生活ヲ希望スルノハ當然デアリマス、併シ吾々が生活スルニハ收入ニ依ッテ支出ヲ計ラナケレバナラス、國家經濟ト

ハ違ヒマシテ、個人經濟ニ於テハ、收入ヲ計ラズシテ支出ヲスルナラバ、結局借金ヲシナケレバナラス、其爲ニ遂ニハ自分ノ有ユル財産ヲ投出シテ、遂ニハ夜逃ヲシナケレバナラスヤウナコトニモ陥ル、ソレデアリマスカラ、農民ノ個人經濟ニ於テハ、先ヅ收入ヲ見テ支出ヲ計ラナケレバナラス、然ルニ現在ノ狀態カラ見マス、吾々ノ公正ナ眼ヲ以テ見テ、不必要ダト思ハレルヤウナ品物ガ、大キナ喇叭ノ宣傳ノ下ニ販賣セラレルト云フヤウナコトガアルライシ、有ルカ無イカ知ラナイガ、有ルカモ知レヌ、ソレデ私共ハ一定ノ收入シカナイ農民ニ飢細工ノ行商人ノヤウナ宣傳ヲ以テ、必要以外ノ品物ヲ買ハセルヤウニスルコトガ、農村ノ支出ヲ増大セシメ、農村ヲ疲弊ニ陥ラシムル因デアルト考ヘル、ソレデスカラ今言ッた通りデ、又叱ラレルカモ知レナイガ、又叱ラレテモ仕方ガナイガ、ソレダケシカ收入ガナイノデアルカラ、收入ヲ増大セシメル方法トシテ茲ニ方法ガアルカラソレヤラナケレバナラスガ、ソレヲヤル前ニ、即チ收入ト云フモノハ一定ノモノニ限定サレル、其限定サレタ收入デ、餘分ノ支出ヲスルヤウニナッタナラバ、農民ハ衰ヘル、ソレデ目ノ前ニ人ノ嗜好ト云フカ興味ト云フ

カ、サウ云フ風ノモノデ段々支出ヲ増大セシメルヤウナモノガアルナラバ、餘程農林大臣トシテモ考ヘナケレバナラス、内務大臣トシテモ考ヘネバナラス、私ノ内務大臣ニ伺ヒタイト思ッタノハ是デアリマス、兎ニ角農林省ノ關係ニ於テ若シサウ云フモノガアルナラバ、支出ヲ減少セシメル意味合カラ農林大臣ハ之ニ付テ考ヘナケレバナラスト思フガ、農林大臣トシテハ如何ナル御考ヲ有セラレルカ伺ヒタイ

○島田國務大臣 農民ニ限リマセズ、國民トシテ個人生活ニ無駄ヲ省ク、是ハ何人モ異論ノナイコトデアラウト思フ、同時ニ農村ノ實情ニ付キマシテ農村ハ窮迫シテ居ル、收入モ少イ、故ニ尙更儉約ヲシ、贅澤ヲシナイヤウニシナケレバナラス、無駄ヲ省カナケレバナラス、斯ウ云フヤウナコトハ抽象的ノ議論トシテハ固ヨリ肯定セザルヲ得ナイコトデアアル、併シ國民全體ノ發達進歩ト云フコトカラ考ヘマシテ、サウシテ其議論ヲ唯文字通りニ外部ニ及ボシテ行クト云フコトノ出來ナイコトハ、是ハ野中君モ十分御諒承ノコトト思フノデス、ソコデ政府トシテ贅澤品ヲ購入スルトカ、或ハ無駄ヲ獎勵スルトカ云フヤウナコトハ、固ヨリ是ハ反對ノ事柄デアリマスカラ、是ハ左

様ナコトニ進ンデ行クコトヲ避ケナケレバ
ナラヌト云フコトハ當然デアリマスケレド
モ、併シ全體ノ社會ノ進歩ニ伴ヒマシテ、
昔ナカッタ物ガ出來タ場合ニ、ソレヲ使フコ
トニ於テ便利ヲ得、又其使ツタコトノ爲ニ能
率ヲ上ゲル、斯ウ云フヤウナ事情カラシ
テ段々所謂俗ニ言フ文明ノ利器、斯ウ云フ
モノガ社會百般ニ用ヒラレテ行ク、擴ガ
テ行クト云フコトハ、是ハドウモ已ムヲ得
ナイコトデアル、ソレガ爲ニサウ云フモノ
ヲ用フルカラ貧困ニナルノダ、斯ウ云フ論
法ヲ以テ行クコトハ餘程私ハソコニ見解ノ
相違ガ起ツテ來ルト思フノデス、其點ニ付
テハ度々申シマスヤウニ、又別ノ見地ヨリ
シテ之ニ對スル對策ヲ考ヘナケレバナラ
ヌ、之ヲ一ト纏メニシテ申シマスレバ、今日
ノ農村ニ對スル對策、中小商工業ニ對スル
對策ト云フコトハ、一ツノモノヲ標準ニシテ
論ズルコトハ出來ナイ、一ツノモノヲ行ッテ
モ總テヲ救フコトハ出來ナイト云フ結論ニ
ナツテ來ルカラ、ソコニ大キナ產業對策、
農村對策、商工業ノ對策ト云フモノガ生レ
テ來ベキモノデアラウ、斯ウ云フ風ニ綜合
シテ此對策ノ結論ニ到達シナケレバナラヌ
モノデアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○野中委員 氣持ハ分リマシタガ、再々農

林大臣ハ別ノ方カラ、別ノ方カラト云フ御
意見デアリマスカラ、何カ別ノ方ノ具體的
ノ御考デモ御持ニナツテ居リマスカ、之ヲ
一ツ序ニ御伺シタイト思ヒマス

○島田國務大臣 別ノ方法ト申シマシテ、
米ノ問題ニ對シテノ別ノ方法、斯ウ云フコ
トヲ申シテ居ルノデハアリマセヌ、大キク
言ヘバ今日政府ノシテ居ル事、小サク申シ
マシテハ農林省ノシテ居ル事、商工省ノシ
テ居ル事、凡ソ國民生活ニ直接關係シテ居
ル政府ノ活動ノ總テノコトハ内閣ノ政策ト
シテ朝宗スベキモノデアル、ソコヘ重點ヲ
置イテ行クベキモノデアル、ソレガ綜合シ
テ國民生活ノ安定ヲ具現セシムルヤウニ進
マナケレバナラヌ、斯様ナ意味デ申上ゲル
ノデ、別ノ對策ト言ヒマスコトハ、具體的
ノ一ツノモノニ付テハ、ソレダケデハナイ、
他ノ總テノモノヲ合セテソコニ至ルノデア
リマス、斯ウ云フ意味ニ申上ゲテアル次第
デアリマシテ、名案ガアルカラ之ヲヤレバ
宜シイ、ソレハ次ノ議會ニ出ス、斯ウ云フ
ヤウナ具體的ナモノヲ申シテ居ル譯デハナ
イノデアリマス

○野中委員 具體的ノ問題デナク、矢張抽
象的ノ問題デモ——朝宗スベキモノト云フ
農林大臣ノ御話デゴザイマスカラ、先ヅ私

共ハ姑ク農林大臣ノ御ヤリニナツテ居ルコ
トヲ見テ、ソレカラ餘ハ是ガ果シテ例ノ朝
宗的ノ問題ナリヤト云フコトヲ考ヘテ見タ
イト思ヒマス、御意見ヲ伺ツタダケニ致シ
マシテ、後ハ内務大臣、或ハ内務當局ニ出
席シテ戴イテ御伺ヒスルコトニ致シマス
○東委員長 ソレデハチヨツト御諮リ致シ
マスガ、明日ハ午前中休ミマス、是ハ各派
ノ委員ノ間ニ多少打合等ガアルサウデス、
ソレデアリマスカラ午前中ヲ休ミマシテ、
午後正一時カラ開會スルコトニ致シマス、
左様御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是デ散會致
シマス

午後五時二十一分散會

昭和十一年五月十三日印刷

昭和十一年五月十四日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社